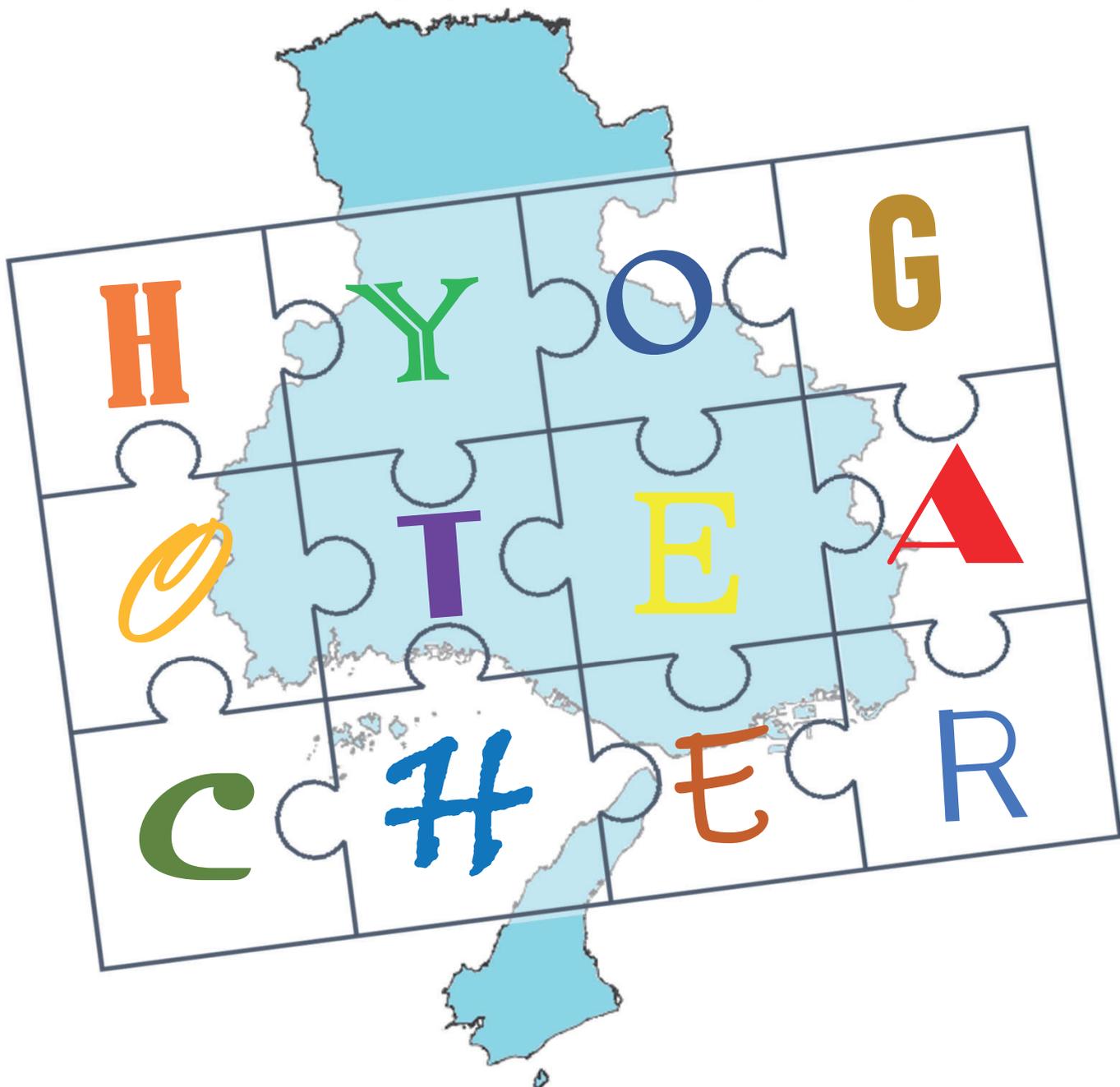


令和6年度

教職員研修のしおり

全ての子どもたちの
可能性を引き出す



兵庫県立総合教育センター

目 次

巻頭	令和6年度兵庫県教職員研修計画	1
	兵庫県管理職資質向上指標	2
	兵庫県教員資質向上指標	3
	ICT活用指導カステップアッププログラム	4
1	年次研修	
	1 小・中・義務教育学校 年次研修概要	6
	2 高等学校 年次研修概要	12
	3 特別支援学校 年次研修概要	18
2	担当者等研修一覧	24
3	選択研修一覧	25
4	講座情報の読み方	27
5	担当者等研修	
	1 情報担当者研修	28
	2 新任特別支援学級担当者研修	29
	3 通級指導担当者研修	32
	4 リーダー研修	34
6	選択研修	
	校内リーダー養成研修	
	1 危機管理	36
	2 学校組織マネジメント	36
	専門研修	
	1 教科指導	38
	2 生徒指導・心の教育	58
	3 課題教育	62
	4 教育の情報化	65
	5 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	72
7	eラーニングを活用した研修	79
8	教職員研修管理システムを利用した研修の申込方法等	
	1 受講申込期間	80
	2 受講手続きの流れ	80
9	受講における留意事項	
	1 選択研修の修了認定について	81
	2 私用自動車による来所	81
	3 欠席・遅刻・早退の手続き	81
	4 その他	81
10	特別警報発表等非常時の対応について	82
11	サポート研修	
	1 サポート研修の内容	83
	2 サポート研修の申込方法等	87
12	自由研修・マイプラン研修	
	1 自由研修	88
	2 マイプラン研修	88
様式	サポート研修依頼書	89
	サポート研修報告書	89
	自由研修依頼書	90
	マイプラン研修依頼書	90

令和6年度 兵庫県教職員研修計画

基本方針	グローバル化をはじめICTやAI等の技術革新等、社会情勢の激しい変化が続く中、子どもたち一人一人が自ら「在りたい自分」や「在りたい社会」を描き、新たな価値を創造する力を身に付けていけるよう、「兵庫が育むこころ豊かで自立する人づくり」の基本理念のもと、「『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力」の育成に取り組んでいく。									
種別	目標	(経験年数) 1 2 3 5 10 15 20 25 30 35 (年目) 								
I	年次研修・職務研修	経験年数や職務に応じて、必要な資質・能力の向上を図る。 								
II	担当者等研修	担当者対象の研修等を行い、各学校の課題対応力の向上を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育担当研修 ○人権教育担当研修 ○防災教育研修 ○保健担当研修 ○新任特別支援学級担当研修 ○特別支援教育IT/コーディネーター研修 ○道徳教育研修 ○生徒指導担当研修 ○カウンセリング・マインド研修 ○不登校担当研修 ○通級指導教室担当研修 ○特別支援教育IT/コーディネーター研修 ○特別支援教育コーディネーター研修 ○特別支援教育担当研修 ○英語指導力向上研修 ○教務担当研修 ○情報教育研修 ※高校生の政治的教養を高める等の目的別研修や、学科に関する研修、スマートワークス～わたしを生かす働き方～研修等、本庁各課主催の研修を含む								
III	選択研修	教科、領域等の指導に必要な資質・能力の向上を図る。 								
IV	その他の研修	学校や個々の教職員の課題に応じて、資質・能力の向上を図る。 								
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての研修機会を通して、授業や校務における教職員のICT活用力の向上を図る。 ○学校管理職は、教職員の研修ニーズや学校での役割、研修等に関する記録を踏まえ、研修の受講奨励等、資質向上に関する指導助言を行う。 ○各学校において教職員の実践的指導力を育てるため、効果的な校内研修を実施し、OJTの充実を図る。 ○学校が抱える様々な課題解決に向け、女性教職員の早期からの研修受講を推奨し、女性管理職の育成や学校的意思決定過程への女性の参画促進を図る。 ○教員としての高い倫理観の保持と児童生徒・保護者の一層の信頼確保に向け、不祥事防止に関する研修を拡充する。 ○小中学校教職員等の研修については、県教委と市町組合教委が連携し、地域の教育課題を踏まえた研修を実施する。 									

兵庫県管理職資質向上指標

		<p>グローバル化をはじめICTやAI等の技術革新等、社会情勢の激しい変化が続く中、子どもたち一人一人が自ら「在りたい自分」や「在りたい社会」を描き、新たな価値を創造する力を身に付けていけるよう、「兵庫が育む ところ豊かで自立する人づくり」の基本理念のもと、「『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力」の育成に取り組んでいく。</p>	教	校
<p>管理職としての資質</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○教育に対する信念と高い見識をもち、めざすべき学校像を掲げることができる。 ○自ら法令や服務規律を遵守し、教職員に対して適切な服務管理ができる。 ○多様な価値観、思想、文化などを認め、広い視野に立って判断することができる。 ○学校内外の資源を活用し、学校組織全体の改善を図ることができる。 ○保護者、地域、関係機関等に対して、説明責任を果たしながら信頼関係を構築することができる。 ○自らの言動や行為を省察し、自己の職能成長に努めることができる。 	頭	長
分野	資質	管理職としての資質の向上に関する指標	研修種別	
教育課題への取組	兵庫の教育課題への対応	1 グローバル化や共生社会の実現、DXの推進等、新しい時代に求められる資質能力を育む教育を推進することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		2 豊かな人間性の育成に向けて、地域の多様な教育資源を活用し、兵庫型「体験教育」やふるさと意識を醸成する教育を推進することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		3 社会的・職業的自立の基盤となる能力や態度の育成に向け、兵庫版「キャリア・パスポート」及びキャリアノートの活用等教育活動全体を通じた体系的・系統的なキャリア教育の推進体制を整備することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		4 いじめ、不登校等の教育課題の緊急性や重要性を踏まえ、家庭・地域・関係機関と連携協力し、組織的な対応力を向上させることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		5 生徒の多様な学習ニーズに対応した教育の充実を図るなど、学びたいことが学べる魅力・特色ある高校づくりを推進することができる。 【高等学校】	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		6 阪神・淡路大震災の記憶が風化することを防ぐとともに、その経験と教訓を活かし、主体的に判断し実践する力や共生の心を育む「兵庫の防災教育」を組織的に推進することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		7 安全で安心な地域社会における学校の役割を明確にし、地域の防災拠点としての防災体制を充実させることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		8 「教職員の勤務時間適正化推進プランー児童生徒と向き合う時間の確保と、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けてー」に基づき、勤務時間を適切に把握した上で、働きがいのある職場づくりを推進することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	へ必要特別に対応する児童生徒を	9 共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育を組織的に推進することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		10 特別支援学校のセンター的機能を発揮し、地域の学校園等への支援の充実を図ることができる。 【特別支援学校】	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ICTや情報活用	11 「兵庫県教育情報セキュリティ対策基準」に基づき、学校の情報セキュリティ実施手順等を策定して教職員に周知し、適切に管理・運用することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		12 教育の情報化に向け、教職員全体での組織的な取組を推進することができる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
学校教育目標達成に向けた基盤形成	現状認識と目標の構想	13 新しい時代に対応するために、自校の教育のあり方を短期的、中・長期的視野に立って考えることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		14 法令等に規定された学校の使命並びに自らの学校の強み・弱みや学校教育を取り巻く課題等を把握・整理・分析し、教職員の共通理解を図りながら学校づくりに生かすことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		15 めざすべき学校づくりに向けに目標を重点化し、教職員全体で共有するとともに、学校内外に説明することができる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		16 PDCAサイクルにより、学校教育目標の実現状況を絶えず検証し、教育活動の見直しを図ることができる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	風土づくりの構築と	17 学校教育目標の実現に向け、カリキュラム・マネジメントの視点から協働的な校内体制を組織し、効果的に運用することができる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18 教職員間の言動や関係性に注意しながら、ハラスメントのない職場づくりに努め、学校の課題解決に向けて情報を共有し合い、協働的に取り組む教職員を育成することができる。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
19 質の高い教育を実現するために、教職員の同僚性を高め、積極的に研修に取り組める環境を整えることができる。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
チーム体制づくり	家庭・地域と連携・協働	20 家庭や地域社会の学校への理解の向上を進めるために、教育活動や学校経営に関する情報を発信し、開かれた学校づくりを推進することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		21 学校・家庭・地域が連携・協働するための組織的・継続的な仕組みをつくり、家庭や地域の意見、要望を学校経営に反映させ、教育活動の質的改善に生かすことができる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		22 自校の教育課題に応じて、教科等に関する専門家や部活動指導者、心理や福祉に関する専門家、地域人材等の外部人材を活用することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	管理職	23 安全・安心な教育環境を整えるとともに、外部機関と連携した組織的な危機管理体制を構築し、危機発生時には明確な方針を示した上で対応することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24 情報を適正に管理する体制を確立するとともに、情報の一元化や教育委員会、関係機関との情報共有を図ることができる。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
資質を高める	人材育成	25 自らの人権意識を高め、教職員の人権意識の高揚を図るとともに、信頼し合える教職員の関係性を醸成することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		26 教職員のメンタルヘルスの保持・増進に向け、勤務状況に応じて助言するなど、適切に支援することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		27 教職員自らの研修ニーズや学校での役割、研修等に関する記録を踏まえ、資質の向上に向けた指導助言を行うなど、教職員の職能成長を支援することができる。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		28 「男女共同参画教職員支援ひょうごプラン」などを踏まえ、教職員のワーク・ライフ・バランスの実現、女性管理職の育成や学校の意思決定過程への女性の参画促進に向け、適切に支援することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※1 【 】は、対象とする校種である。

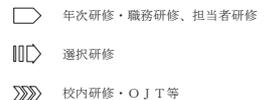
管理職研修

OJT・自己研鑽等

兵庫県教員資質向上指標

分野	資質	教員としての資質の向上に関する指標	教	養	栄	主	キャリアステージ											
							【第1期】採用～5年目 実践的な指導力を伸ばす。 【第2期】6年目～20年目 職務に応じて専門性を伸ばす。 【第3期】21年目以降 より高い力を身に付け後進の育成に生かす。			求められる資質			重点的に研修に 取り組む時期			位置付ける 研修種別		
							第1期	第2期	第3期	第1期	第2期	第3期	第1期	第2期	第3期			
教育課題への取組	兵庫の教育課題への対応	1 地域の人的・物的資源を活用し、発達段階に応じて兵庫県「体験教育」を実践することができる。	○	○	○		☆	☆	☆	○			◇	◇	◇			
		2 国際社会で活躍する意欲や態度を育成するなど、グローバル化に対応した教育を実践することができる。	○	○	○		◇	☆	☆	☆	○	○	○	◇	◇	◇		
		3 伝統や文化を尊重し、ふるさと兵庫を愛する態度を養うことができる。	○	○	○		○	☆	☆	☆	○			◇	◇	◇		
		4 「参画と協働が拓く兵庫の未来」等の指導事例集や副教材を活用し、児童生徒の政治的教養を高め、主体的に社会の形成に参画し協働しようとする態度を養うことができる。	○	○	○		◇	☆	☆	☆		○	○	◇	◇	◇		
		5 阪神・淡路大震災の記憶が風化することを防ぐとともに、その経験と教訓を活かし、主体的に判断して実践する力、助け合いやボランティア精神等共生の心を育む「兵庫の防災教育」を推進することができる。	○	○	○		○	☆	☆	☆	○			◇	◇	◇		
		6 幼小中高大の新たな接続・連携に伴う変化に対応し、さらなる充実をめざした取組を行うことができる。	○	○	○		○	☆	☆	☆		○	○	◇	◇	◇		
		7 部活動の実施に当たっては、安全に配慮しながら生徒の自主性、協調性、責任感、連帯感などを育てることができる。 【中・高】	○	○	○		○	☆	☆	☆	○			◇	◇	◇		
		8 教科書及び「兵庫版道徳教育副読本」等を用いて、他者や自己との「対話」により、自己の生き方や人間としての生き方についてさらに考えを深める道徳の授業を実践できる。 【小・中】	○	○	○		○	◇	☆	☆	☆	○	○	○	◇	◇	◇	
		9 豊かなスポーツライフを継続する資質・能力の育成をめざし、児童生徒が主体的に体力・運動能力向上を図る態度を育てることができる。 【小・中高(保体)】	○	○	○		○	◇	☆	☆	☆	○			◇	◇	◇	
		10 インクルーシブ教育システムの理念を理解し、全ての児童生徒等に分かりやすいユニバーサルな授業づくりや互いに認めえ合合う集団づくりができる。	○	○	○		○	○	☆	☆	☆	○	○	○	◇	◇	◇	
		11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。	○	○	○		○	○	☆	☆	☆	○			◇	◇	◇	
		12 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別的教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。	○	○	○		○	○	☆	☆	☆	○			◇	◇	◇	
学習指導	ICTや情報活用・教育	13 Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。	○	○	○		○	☆	☆	☆	○			◇	◇	◇		
		14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。	○	○	○		○	☆	☆	☆	○			◇	◇	◇		
		15 各校の情報セキュリティ実施手順等に基づき、校内の情報を適切に管理し、取り扱うことができる。	○	○	○	◎	○	☆	☆	☆		○			◇	◇	◇	
		16 学習履歴等のデータを活用し、児童生徒の学習の改善を図ることができる。	○	○	○		○	☆	☆	☆		○			◇	◇	◇	
		17 学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。	○	○	○		○	☆	☆	☆	○				◇	◇	◇	
		18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。	○	○	○		○	☆	☆	☆	○				◇	◇	◇	
学級・HR経営、生徒指導	集団を高める力	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。	○	○	○		○	☆	☆	☆	○			◇	◇	◇		
		20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。	○	○	○		○	☆	☆	☆	○				◇	◇	◇	
		21 児童生徒や地域の実態に応じた教材を開発するなど、効果的な教科カリキュラムを編成することができる。	○	○	○		○		☆	☆	☆	○			◇	◇	◇	
		22 全国学力・学習状況調査結果等各校の課題を分析し、組織的・体系的な学力向上の取組ができる。	○	○	○	◎	○		☆	☆	☆	○			◇	◇	◇	
チームで職務を担う体制づくり	協働性・自覚性	23 自他の生命を尊重し、多様性を認め、様々な人権課題を解決しようとする実践的な行動力を育成することができる。	○	○	○	◎	○	☆	☆	☆	○			◇	◇	◇		
		24 体験活動や実践活動を通して、児童生徒の道徳性の育成に努めている。	○	○	○		○	☆	☆	☆	○				◇	◇	◇	
		25 いじめ、不登校等の教育課題の緊急性や重要性を理解し、他の教職員や関係機関と連携しながらその予防・解決に取り組むことができる。	○	○	○	◎	○	☆	☆	☆	○	○	○		◇	◇	◇	
		26 学校教育目標の実現に向け、学級経営案やホームルーム計画の立案・実行・改善ができ、児童生徒が安心して過ごせる学級づくりに取り組むことができる。	○	○	○		○	☆	☆	☆	○				◇	◇	◇	
		27 児童生徒との適切な距離を保ちながら、生活背景や内面の理解に努め、カウンセリングマインドをもって、児童生徒と接することができる。	○	○	○		○	☆	☆	☆	○				◇	◇	◇	
		28 社会的・職業的自立の基盤となる能力や態度の育成等を通して、児童生徒のキャリア発達を促すことができる。	○	○	○	◎	○	☆	☆	☆		○			◇	◇	◇	
		29 児童生徒が自らのよさや可能性を認識し、多様な他者と協働する力を身に付けられるよう指導することができる。	○	○	○	◎	○	☆	☆	☆	○	○			◇	◇	◇	
		30 児童生徒の健康課題を的確に捉え、それを解決するための保健教育や保健指導ができる。	○	○	○		○	☆	☆	☆	○				◇	◇	◇	
		31 偏食傾向や肥満傾向、食物アレルギー等の健康課題を抱える児童生徒に対し、個別の相談指導ができる。	○	○	○		○	☆	☆	☆	○				◇	◇	◇	
		組織的対応力	協働性・自覚性	32 「教職員の勤務時間適正化推進プラン」に基づき、児童生徒と向き合う時間の確保と、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、計画的に仕事を進めることができる。	○	○	○	◎	○	☆	☆	☆	○	○	○	◇	◇	◇
33 児童生徒への指導等に関して、同僚・先輩や管理職等に相談し、指導に生かすことができる。	○			○	○		○	☆	☆	☆	○				◇	◇	◇	
34 豊富な知識や経験を基に、若手教員に対し個性や特性に応じて支援するとともに、同僚と協働して学校の課題に取り組むことができる。	○			○	○	◎	○		☆	☆	☆	○			◇	◇	◇	
35 課題解決に向け、校内の共通理解を図り、家庭・地域・関係機関等と連携して取り組むことができる。	○			○	○	◎	○		☆	☆	☆		○		◇	◇	◇	
36 学校教育目標の達成に向け、主体的、積極的に学校運営に参画することができる。	○			○	○	◎	○		☆	☆	☆		○		◇	◇	◇	
37 校内における自分の役割を認識し、校務分掌を的確かつ効率的に遂行できる。	○			○	○	◎	○		☆	☆	☆	○			◇	◇	◇	
38 家庭や地域社会と連携し、開かれた学校づくりに努めている。	○			○	○	◎	○		☆	☆	☆	○	○		◇	◇	◇	
39 学校の危機管理マニュアルを理解し、事件や事故、トラブルに適切に対応することができる。	○			○	○	◎	○		☆	☆	☆	○	○		◇	◇	◇	
40 学校教育目標や学校保健目標の具現化を図るため、学校医、関係機関等と連携した保健室経営ができる。	○			○	○		○		☆	☆	☆	○			◇	◇	◇	
41 栄養管理や衛生管理等の学校給食の管理と、食に関する指導との一体的な展開を行うことができる。	○			○	○		○		☆	☆	☆				◇	◇	◇	
自律性を高める	資質向上管理	42 日頃から、ストレスマネジメントに努めるとともに、教員として自覚ある行動をとることができる。	○	○	○		○	☆	☆	☆				◇	◇	◇		
		43 適切な言動を心がけ、児童生徒や保護者等からの信頼確保に努めている。	○	○	○		○	☆	☆	☆	○				◇	◇	◇	
		44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。	○	○	○		○	☆	☆	☆	○				◇	◇	◇	
		45 日々の実践等を振り返り、主体的に自らの教育活動の工夫・改善に努めている。	○	○	○		○	☆	☆	☆	○				◇	◇	◇	

※1 教諭・養護教諭・栄養教諭の○は、関係する職種である。
 ※2 主幹教諭の◎は、主幹教諭に、より求められる指標である。
 ※3 養成段階の◇は、大学等で身に付けておきたい基礎的、基本的な知識や技能の指標である。
 ※4 求められる資質の☆は、その時期に求められる資質である。
 ※5 重点的に研修に取り組む時期の○は、その資質を身に付けるために重点的に研修を行う時期である。
 ※6 【 】は、対象とする校種・特別支援学校の学部や教科である。



ICT活用指導カステップアッププログラム

1 趣旨

児童生徒一人一台の学習用端末・通信ネットワークなど、学校のICT環境を活用して、情報活用能力をはじめ、問題発見・解決能力等、子どもたちの学習の基盤となる資質・能力を育成していくことが求められています。

そこで、当総合教育センターにおいては、全ての教員を対象に、個々のICTの活用スキルに応じて受講できる「ICT活用指導カステップアッププログラム」や、効率的にICT活用に関する校内研修を実施できる「校内研修パッケージ」を提供しています。

2 ステップアッププログラムの御利用方法

県立総合教育センタートップページのICT活用指導カステップアッププログラムのバナーをクリックした後、右記マークをクリックして受講ページへログインする。(アカウント名: hyogoICT パスワード: Step2021)



県立総合教育センタートップページ
<https://www.hyogo-c.ed.jp/~kenshu/>



【ステップアッププログラム受講ページ】

3 ステップアッププログラム(動画コンテンツ)のメニュー

タブレット端末等機器の操作、クラウドサービスの利用、ソフトウェアの活用の3つの区分でレベル別(ステップ0~2)に動画コンテンツを準備していますので、目的やスキルに応じて動画を選択し、各自のペースで研修を進めることができます。都合のいい時間に繰り返し視聴するなど、ICT活用指導力の向上に役立ててください。

ステップ0

授業・校務でICTを使うための基本操作が自分でできるようになる

ステップ1

授業・校務でICTを活用するための基本的なスキルを身につける

ステップ2

授業・校務でICTを効果的に活用するための汎用的なスキルを身につける

ICT活用指導カステップアッププログラム

【オンライン研修型】

	機器の操作・情報モラル			クラウドサービスの利用		ソフトウェアの活用		
	Windows	Chrome OS	iPad OS	Office365 Education	Google Workspace for Education	文章作成 (Word、ドキュメント)	表計算 (Excel、スプレッドシート)	プレゼンテーション (PowerPoint、スライド)
ステップ0	・機器の起動と終了 ・端末とプロジェクターの接続	・機器の起動と終了	・機器の起動と終了 ・電子黒板の接続			Word I ・ページレイアウトの設定 ・文字入力と編集 ・文字の配置とインデント	Excel I ・シートの操作 ・データ入力 ・連番入力とコピー ・範囲指定と印刷	PowerPoint I ・スライドの操作 ・テキストボックスの設定と文字入力・編集 ・オブジェクトの配置
ステップ1	情報モラル ・学校における情報モラル教育 ・アカウントの取扱い ・インターネット上の書き込み			Teams I ・起動とチームの作成	Classroom I ・起動とクラスの作成	Word II ・イラストや写真の挿入 ・表やグラフの作成や編集	Excel II ・関数の利用① ・グラフの作成・編集	PowerPoint II ・イラストや写真の挿入
	・インストール・アンインストール	・インストール・アンインストール	・インストール・アンインストール	Teams II ・課題の配布と回収	Classroom II ・課題の配布と回収	ドキュメントII ・イラストや写真の挿入 ・表やグラフの作成や編集	スプレッドシートII ・関数の利用① ・グラフの作成・編集	スライドII ・イラストや写真の挿入
ステップ2				Teams III ・生徒、保護者への連絡・案内の送付	Classroom III ・生徒、保護者への連絡・案内の送付	Word III ・差し込み印刷	Excel III ・関数の利用②	PowerPoint III ・アニメーションの設定
				・Whiteboard (複数同時編集機能)	・Jamboard (複数同時編集機能)			スライドIII ・アニメーションの設定
				・Forms (情報の収集)	・Forms (情報の収集) ① ・Forms (情報の収集) ②			
			・Teams (Web会議ツール)	・Google Meet (Web会議ツール)				

4 ステップアッププログラム(校内研修パッケージ)のメニュー

「学級活動・校務での活用」「授業での活用」「オンライン授業での活用」の3つの区分で具体的な活用場面を取り上げた研修例を掲載しています。

「校内研修パッケージ」の一覧から、コンテンツをクリックしていただくと、研修担当者資料をダウンロードすることができます。その資料には、校内研修に必要な準備や進行例、動画コンテンツやデジタルデータ等へのリンクを記載しています。学校内の全教職員対象の研修から教科単位で行う少人数の研修まで、ICT活用指導力の向上をめざした校内研修に御利用ください。

ICT活用指導カステップアッププログラム（校内研修パッケージ）

児童生徒1人1台端末の活用のためには、校内の全教員のICT活用指導力を一定のレベルまで向上させることが不可欠です。そこで、限られた時間で効率的に校内研修が実施できるよう、ICT活用指導カステップアッププログラムの動画視聴（5～15分）と演習・協議を組み合わせた校内研修パッケージを作成しました。研修担当者用資料には、校務や学級活動、授業における具体的な活用場面を想定した研修の進行例と必要な準備、動画コンテンツへのリンクを掲載しています。校内研修の企画・運営に活用してください。

対象クラウド：Google Workspace for Education

※時間は目安です。
複数の内容を組み合わせて実施することも可能です。

<p>I 学級活動・校務での活用 児童生徒1人1台端末の活用に向け、教員が基本的な操作や授業の準備等について研修を行う。</p>	<p>(1)クラスの作成と利用 (Classroom) 50分 (2)クラス内の連絡等 (Classroom、ドキュメント等) 40分 ①休校等の連絡 ②学級通信等の配布 (3)児童・生徒や保護者への連絡、アンケート調査 (Forms) ①学校行事の振り返り 30分 ②健康観察 30分 ③面談希望日時調整 30分 ④保護者へのアンケート 30分 (4)ファイル共有 (Classroom、GoogleDrive) 50分 ①職員会議資料等の共有 ②職員会議資料等の配布 (5)スケジュール管理 (Googleカレンダー) 50分</p>
<p>II 授業での活用 児童生徒が授業で1人1台端末を用いて学習活動を行うための汎用的なアプリの活用について研修を行う。</p>	<p>(1)アンケート・小テスト (Forms) ①前時の確認や本時の振り返りでの活用 30分 ②小テストの実施と採点 50分 (2)個別学習 (Jamboard、ドキュメント、スプレッドシート、スライド 他) ①調べ学習 30分 ②課題学習と答え合わせ 50分 ③実験実習の記録 30分 (3)協働学習 (Jamboard、ドキュメント、スライド 他) ①他者との意見交換 50分 ②意見の取りまとめと発表 50分 ③協働制作 50分 (4)一斉学習 (Classroom、GoogleDrive) ①資料の表示 30分 ②資料の配布 30分 (5)情報モラル (アカウントの取扱い、ネット上の書き込み等) 60分</p>
<p>III オンライン授業での活用 遠隔授業を行うためのWeb会議システムの活用について研修を行う。</p>	<p>(1)オンライン双方向型での活用 (Meet) 50分 ・教員と児童生徒 (各家庭)をつなぐ (2)ハイフレックス型での活用 (Meet) 50分 ・教室での授業と各家庭をつなぐ</p>

※下線は、担当者用資料へのリンクあり

校内研修パッケージの基本的な研修の流れ（例）

1 校内研修の準備

- ・研修用クラスの作成
- ・機材・教材等の準備

2 校内研修の実施

- (1) ICT活用指導カステップアッププログラムの動画視聴
- (2) 班別での演習・協議
 - ・Classroom等での操作演習
 - ・教師画面と生徒画面での動作確認
 - ・各教科での利用方法を協議・検討
- (3) ポイント整理

1

令和6年度 年次研修

1 小・中・義務教育学校 年次研修概要

初任者研修

趣旨	教育公務員特例法第23条に基づく研修として実施するもので、新任教員の自主性、自発性を踏まえ、豊かな人間性と教育力に富む教員の育成を図る。
対象者	新任教員
実施日数等	・校外研修22日 ・校内研修300時間
校外研修概要	・一般研修1日 ・全県研修2日 ・宿泊研修3日 ・教科指導研修8日 ・地区別研修1日 ・授業実践研修2日 ・設置者別研修3日 ・社会体験研修2日

2 年次研修

趣旨	初任者研修の成果を踏まえ、授業を充実させる力や生徒指導を行う力の習得を図るとともに、心の健康を保ちつつ学び続ける教員としての基礎となる資質を高める。
対象者	前年度に初任者研修を修了した者 前年度に初任者・2年次研修を修了していない者
実施日数等	・校外研修4日
校外研修概要	・教科指導研修1日 ・地区別研修1日 ・授業実践研修2日

3 年次研修

趣旨	2年間にわたる研修の成果を踏まえ、主体的な研修を通じた実践的な指導力の習得を図るとともに、学び続ける教員としての基礎となる資質を高める。
対象者	前年度に2年次研修を修了した者 前年度に2年次・3年次研修を修了していない者
実施日数等	・校外研修2日
校外研修概要	・教科指導研修1日 ・授業実践研修1日

5 年次相当研修

趣旨	各学校における相応の経験を踏まえ、教員としての資質を高め、時代の変化に対応する実践的指導力の向上を図る。
対象者	3年次研修を修了し、以下のいずれかの条件を満たす者 ・初めて教諭等として採用されて5年目を迎えた者 ・初めて教諭等として採用されて4年目を迎えた者のうち受講を希望する者 ・前年度までに5年次相当研修を修了していない者
実施日数等	・校外研修1日
校外研修概要	次の研修から自己の課題に応じて1日の研修を選択し、受講する。 ・県教育委員会事務局本庁関係課が実施する職務研修及び担当者研修 ・県立総合教育センターが実施する担当者研修及び選択研修 ・県教育委員会事務局地方機関が実施する研修 ・市町組合教育委員会が実施する研修、研究発表会 ・市町組合立学校長会が実施する教科等部会研究会 ・教職員支援機構兵庫教育大学センターが実施する研修

中堅教諭等資質向上研修

趣旨	教育公務員特例法第24条に基づく研修として実施するもので、個々の教諭等の能力、適性やニーズに応じて必要な事項に関する研修を実施し、指導力の向上等、教諭等としての資質の向上を図る。
対象者	教諭等としての在職期間が10年に達した者 当該年度に中堅教諭等資質向上研修を修了していない者
実施日数等	・校外研修10日程度 ・校内研修20日程度
校外研修概要	・共通研修4日 ・選択研修6日程度

15年次相当研修

趣旨	各学校における相応の経験を踏まえ、信頼される学校づくりを推進する上で中核となる教員としての資質を高め、時代の変化に対応し得る実践的指導力の向上を図る。
対象者	中堅教諭等資質向上研修を修了し、以下のいずれかの条件を満たす者 <ul style="list-style-type: none"> ・初めて教諭等として採用されて15年目を迎えた者 ・初めて教諭等として採用されて12～14年目を迎えた者のうち受講を希望する者 ・前年度までに15年次相当研修を修了していない者
実施日数等	・校外研修1日
校外研修概要	次の研修から自己の課題に応じて1日の研修を選択し、受講する。 <ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会事務局本庁関係課が実施する職務研修及び担当者研修 ・県立総合教育センターが実施する担当者研修及び選択研修 ・県教育委員会事務局地方機関が実施する研修 ・県高等学校教育研究会が実施する教科等部会研修会 ・市町組合教育委員会が実施する研修、研究発表会 ・市町組合立学校長会が実施する教科等部会研究会 ・教職員支援機構兵庫教育大学センターが実施する研修

20年次研修

趣旨	各学校における相応の経験を基盤として、時代の変化に対応し得る実践的指導力の向上を図る。
対象者	15年次相当研修を修了し、初めて教諭等として採用されて20年目を迎えた者
実施日数等	・ビデオオンデマンド(VOD)による研修 + 校外研修1日
校外研修概要	県教育委員会事務局教職員人事課が実施するビデオオンデマンド(VOD)による「非違行為防止研修」を受講するとともに、次の研修から自己の課題に応じて1日の研修を選択して受講する。 <ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会事務局本庁関係課が実施する職務研修及び担当者研修 ・県立総合教育センターが実施する担当者研修及び選択研修 ・県教育委員会事務局地方機関が実施する研修 ・市町組合教育委員会が実施する研修、研究発表会 ・市町組合立学校長会が実施する教科等部会研究会 ・教職員支援機構兵庫教育大学センターが実施する研修

小・中・義務教育学校 初任者研修・2年次研修・3年次研修日程及び主な内容

【令和6年度採用者】

年次研修概要

回	区分	形態	期日等	主な内容	主な指標	
1	一般研修	集合	4月3日(水) (各教育事務所主催)	講 義 兵庫の教育	1, 2, 3, 5, 7, 10, 13, 25	
				講 義 今日的な教育課題		
				講 義 教職員としての心構え①(社会人のマナー)		38, 43
				講 義 教職員の服務		32, 33, 37
2	全県校外 (第1回)	集合	5月14日(火) 〈神戸文化ホール〉	講 話 初任者に期待すること	42, 43, 44, 45	
				講 話 「縦横連携」によりさらなる充実を図る特別支援教育	6, 10, 11, 12	
				講 義 教職員としての心構え②(非違行為の防止)	32, 42, 43	
				講 義 兵庫の防災教育	5, 39	
				講 義 心の健康教育(自殺予防等)	25, 27, 39	
3	校種別 (第1回)	集合	小A 5月28日(火) 小B 5月29日(水) 中 5月21日(火)	講義・演習 自己を知る(教員としての自身の展望と研修の見通し)	44, 45	
				講 義 教科指導等における1人1台端末の活用	13, 14, 15	
				講 義 資質・能力を育む教科の授業づくり	10, 11, 14, 18, 19, 20	
				演 習 本時のねらいに基づく授業構想		
4	校種別 (第2回)	オンライン (VOD)	小A 6月12日(水) 小B 6月11日(火) 〈勤務場所〉	講 義 算数科授業づくり①	14, 18, 19, 20	
				講 義 国語科授業づくり①		
				講 義 「特別の教科 道徳」授業づくり①		3, 8, 18, 19, 24
			中 6月5日(水) 〈勤務場所〉	講 義 学校事故への対応	35, 39	
				講義・演習 各教科授業づくり①	14, 18, 19, 20	
				講 義 「特別の教科 道徳」授業づくり①	3, 8, 18, 19, 24	
5	校種別 (第3回)	集合	小A 6月25日(火) 小B 6月26日(水)	演 習 算数科授業づくり②	14, 18, 19, 20	
				演 習 国語科授業づくり②		
			中 6月18日(火)	演 習 「特別の教科 道徳」授業づくり②	3, 8, 18, 19	
				演 習 各教科授業づくり②	14, 18, 19, 20	
6	地区別	集合	小中A 7月3日(水) 小中B 7月2日(火)	講義・実習 教育相談①(カウンセリングマインド等)	25, 27, 43	
				講義・演習 生徒指導(いじめ、不登校等への対応)	25, 27, 33	
7 8 9	全県宿泊	集合	a 7月24日(水)~26日(金) b 7月31日(水)~8月2日(金) c 8月7日(水)~9日(金) 〈県立南但馬自然学校〉	講 義 兵庫型「体験教育」の意義	1, 3, 24, 28	
				講義・演習 教育相談②(不登校児童生徒への支援)	25, 26, 27, 33	
				演 習 体験活動プログラム	1, 24, 28, 29, 39	
				講義・演習 一人一人の教育的ニーズに応じた集団づくり (体験活動を生かした特別活動の充実)	11, 24, 26, 28, 29, 45	
10	校種別 (第4回)	オンライン (VOD+双方向)	小A 9月17日(火) 小B 9月18日(水)	講 義 理科授業づくり①	14, 18, 19, 20	
				講 義 社会科授業づくり①		
				講義・演習 特別支援教育		10, 11, 12, 29
			中 9月11日(水)	講義・演習 各教科授業づくり③	14, 18, 19, 20	
				講義・演習 各教科授業づくり④		
				講義・演習 特別支援教育	10, 11, 12, 29	
11	校種別 (第5回)	集合	小A 10月2日(水) 小B 10月1日(火)	演 習 社会科授業づくり②	14, 18, 19, 20	
				演 習 「特別の教科 道徳」授業づくり③	3, 8, 18, 19	
				演 習 児童生徒や保護者からの信頼確保に向けて① (学年・学校内の共通理解と連携した対応)	25, 27, 33, 35, 45	
			中 9月25日(水)	演 習 各教科授業づくり⑤	14, 18, 19, 20	
				演 習 各教科授業づくり⑥		
				演 習 児童生徒や保護者からの信頼確保に向けて① (学年・学校内の共通理解と連携した対応)	25, 27, 33, 35, 45	

初任者研修

初任者研修	12	校種別 (第6回)	集合	小A 10月15日(火) 小B 10月16日(水)	講義・演習 外国語科授業づくり 演 習 理科授業づくり②	2, 14, 18, 19, 20 14, 18, 19, 20
				中 10月9日(水)	演 習 各教科授業づくり⑦ 演 習 各教科授業づくり⑧ 演 習 「特別の教科 道徳」授業づくり③	14, 18, 19, 20 3, 8, 18, 19
	13	校種別 (第7回)	集合	小A 10月30日(水) 小B 10月29日(火) 中 10月22日(火)	講義・演習 特別活動(学級活動の充実) 講 義 人権教育 演 習 授業実践研修に向けた事前研究①	26, 29, 45 23, 29 10, 11, 14, 18, 19, 20
	14	授業実践 (第1回)	集合	小A 11月19日(火) 小B 11月20日(水) 中 11月13日(水)	参 観 公開授業①・事後研究①・事前研究② 演 習	10, 11, 14, 18, 19, 20, 45
	15	全県校外 (第2回)	集合	1月14日(火) 〈姫路市市民会館〉	講 義 キャリア教育 講 義 児童生徒や保護者からの信頼確保に向けて② (子どもの人権を尊重した教育活動) 講 義 健康教育 講義・演習 児童生徒のコミュニケーション力を育む ー平田オリザ氏から学ぶー	6, 28, 29 42, 43 9, 30, 31, 40, 41 2, 19, 29, 45
	16	授業実践 (第2回)	集合	小A 1月29日(水) 小B 1月28日(火) 中 1月21日(火) (授業者の所属校)	参 観 公開授業②・事後研究②・授業実践交流 演 習	10, 11, 14, 18, 19, 20, 45
	17	校種別 (第8回)	集合	小A 2月12日(水) 小B 2月13日(木) 中 2月5日(水)	演 習 児童生徒や保護者からの信頼確保に向けて③ (被害者・加害者の心理について理解を深め、 自身の心を振り返る) 発 表 防災教育の実践交流 発表・演習 1年目のまとめと次年度に向けた課題の整理 講 話 学び続ける教員になるために①(先輩に学ぶ)	42, 43, 45 5, 39, 45 10, 11, 14, 18, 19, 20, 45 42, 44, 45
	18	社会体験		初任者ごとに設定	実 習 社会体験研修(防災教育)	5, 43, 44
	実 習 社会体験研修(初任者の課題に応じて)					
	20	設置者別		市町組合ごとに設定 (各教育委員会主催)	地域課題に応じた教育①(地域学習等)	3, 6, 7, 13, 25, 35, 43
	21				地域課題に応じた教育②(学習指導等)	
	22				地域課題に応じた教育③(小中連携等)	

※「校種別」「地区別」「授業実践(第1回)」研修の会場は、県立総合教育センターです。(オンラインの形態を除く)

【令和5年度採用者】

回	区分	形態	期日等	主な内容	主な指標
1	地区別	集合	小中A 6月7日(金) 小中B 5月31日(金)	講義・演習 生徒指導・学級経営の充実 (特別支援教育の視点を生かす)	10, 11, 25, 26, 35
				演 習 児童生徒や保護者からの信頼確保に向けて④ (アンガーマネジメント)	42, 43
				講義・実習 教職員のストレス及びその対処法(コーピング)	32, 33, 42
2	校種別	集合	小A 8月5日(月) 小B 8月6日(火) 中 7月29日(月)	講義・演習 資質・能力の育成をめざす学習過程① (単元・内容のまとまりを意識した授業づくり)	13, 14, 17, 18, 19, 20
				演 習 授業実践研修に向けた事前研究①	10, 11, 14, 18, 19, 20
3	授業実践 (第1回)	集合	小A 10月11日(金) 小B 10月4日(金) 中 9月27日(金) (授業者の所属校)	参 観 公開授業①・事後研究①・事前研究② 演 習	10, 11, 14, 18, 19, 20, 45
4	授業実践 (第2回)	集合	小A 11月29日(金) 小B 11月22日(金) 中 11月15日(金) (授業者の所属校)	参 観 公開授業②・事後研究②・授業実践交流 演 習	10, 11, 14, 18, 19, 20, 45

【令和4年度採用者】

回	区分	形態	期日等	主な内容	主な指標
1	校種別	集合	小A 8月21日(水) 小B 8月22日(木) 中 8月19日(月)	講 話 学び続ける教員になるために② (教職員としてのキャリア形成)	36, 37, 44, 45
				演 習 児童生徒や保護者からの信頼確保に向けて⑤ (スクールコンプライアンス)	42, 43, 45
				講義・演習 資質・能力の育成をめざす学習過程② (教科等のつながりを意識した授業づくり ー総合的な学習の時間を通してー)	13, 14, 17, 18, 19, 20, 21
				演 習 授業実践研修に向けた事前研究	10, 11, 14, 18, 19, 20
2	授業実践	集合	小A 11月1日(金) 小B 11月8日(金) 中 10月25日(金) (授業者の所属校)	参 観 公開授業・事後研究・授業実践交流 演 習	10, 11, 14, 18, 19, 20, 45

小・中・義務教育学校 中堅教諭等資質向上研修

—全体図—

校外研修（10日程度）

< 共通研修（4日） >

○教員としてのキャリア形成等

- ・義務教育の現状と課題
- ・教員としてのキャリア形成
- ・児童生徒や保護者からの信頼確保に向けて（非違行為の防止）
- ・生徒指導、教科指導等、研修のテーマ設定

○教科指導等

- ・全国学力・学習状況調査を活用した授業改善の手法
- ・授業実践力・授業改善力の向上に向けて（グループ別実践交流）

○生徒指導等

- ・いじめの未然防止
- ・不登校の予防と支援の充実にに向けて
- ・学校における危機管理
- ・学校の課題をチームとして解決するために（グループ別実践交流）

○教育課題

- ・授業のユニバーサルデザイン化推進に向けて
- ・情報モラル教育の充実にに向けて

< 選択研修（6日程度） >

- 各受講者のニーズに応じて、県立総合教育センターが実施する研修講座をはじめ、各研修機関等が実施する研修を6日程度選択し、受講する。

※詳細は、「令和6年度中堅教諭等資質向上研修ガイド」、「校外研修講座一覧」を参照すること。

校内研修（20日程度）

- 研修計画に基づき、校内研修を実施する。
- 校内研修（20日程度）の実施については、研修区分のバランスに留意すること。

【実施方法（例）】

授業研究等	14日程度
特定課題研究	6日程度

※詳細は、「令和6年度中堅教諭等資質向上研修ガイド」を参照すること。

※全体の日数については、校外研修10日、校内研修20日を下回らないようにすること。

小・中・義務教育学校 中堅教諭等資質向上研修日程及び主な内容

回	区分	形態	期日等	主 な 内 容	主な指標
1	共通研修Ⅰ (教員としてのキャリア形成等)	集合	小A 4月24日(水) 小B 4月25日(木) 中 4月23日(火)	講 義 義務教育の現状と課題	2, 10, 13, 22, 25
				講 義・演習 教員としてのキャリア形成	34, 36, 37, 44, 45
				講 義・演習 児童生徒や保護者からの信頼確保に向けて (非違行為の防止)	42, 43, 45
				協 議 生徒指導等、教科指導等研修のテーマ設定	11, 14, 19, 20, 25, 26, 35, 44, 45
2	共通研修Ⅱ (教育課題)	オンライン (双方向)	小中A 6月28日(金) 小中B 6月21日(金) 〈勤務場所〉	講 義・演習 授業のユニバーサルデザイン化推進に向けて	10, 11, 12, 21
				講 義・演習 情報モラル教育の充実に向けて	13, 15, 25, 39, 44
3	共通研修Ⅲ (生徒指導等)	集合	小中A 8月26日(月) 小中B 8月27日(火)	講 義 いじめの未然防止	25, 26, 27, 35
				講 義 不登校の予防と支援の充実に向けて	25, 26, 27, 35
				講 義・演習 学校における危機管理	35, 38, 39
				交 流 学校の課題をチームとして解決するために	10, 11, 12, 25, 26, 27, 29, 34, 35, 38, 44, 45
4	共通研修Ⅳ (教科指導等)	集合	小A 11月28日(木) 小B 11月27日(水) 中 11月26日(火)	講 義・演習 全国学力・学習状況調査を活用した授業改善 の手法	16, 18, 19, 20, 22, 34
				交 流 授業実践力・授業改善力の向上に向けて	11, 13, 14, 18, 19, 20, 21, 34, 44, 45

※会場は全て、県立総合教育センターです。(オンラインの形態を除く)

2 高等学校 年次研修概要

初任者研修（1～2年目） ※2年目は「2年次研修」と表記する

趣旨	教育公務員特例法第23条に基づく研修として実施するもので、豊かな人間性を高め、教員としての実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させる。
対象者	新任教員
実施日数等	・校外研修25日 ・校内研修300時間以上
校外研修概要	(1年目(令和6年度採用者)) ・全体研修18日 ・自主研修1日 ・テーマ別研修1日 (2年目(令和5年度採用者)) ・全体研修5日

3年次研修

趣旨	2年間にわたる研修の成果を踏まえ、実践的指導力の向上を図るとともに、学び続ける教員としての基礎となる資質を高める。
対象者	初めて教諭等として採用されてから3年目を迎えた者 当該年度に3年次研修を修了していない者
実施日数等	・校外研修3日
研修概要	・全体研修2日 ・教科別研修1日

5年次相当研修

趣旨	各学校における相応の経験を踏まえ、教員としての資質を高め、時代の変化に対応する実践的指導力の向上を図る。
対象者	3年次研修を修了し、以下のいずれかの条件を満たす者 ・初めて教諭等として採用されて5年目を迎えた者 ・初めて教諭等として採用されて4年目を迎えた者のうち受講を希望する者 ・前年度までに5年次相当研修を修了していない者
実施日数等	・校外研修1日
研修概要	県立総合教育センターが実施する教職員研修（選択研修）のうち指定された教科指導に関する研修

中堅教諭等資質向上研修

趣旨	教育公務員特例法第24条に基づく研修として実施するもので、個々の能力、適性、役割等に応じて、中堅教諭等としての職務を遂行する上で必要とされる資質の向上を図る。
対象者	教諭等としての在職期間が10年に達した者 当該年度に中堅教諭等資質向上研修を修了していない者
実施日数等	・校外研修10日 ・校内研修20日
校外研修概要	・共通研修3日 ・教科指導研修4日 ・教育課題研修3日

15年次相当研修

趣旨	各学校における相応の経験を踏まえ、信頼される学校づくりを推進する上で中核となる教員としての資質を高め、時代の変化に対応し得る実践的指導力の向上を図る。
対象者	中堅教員等資質向上研修を修了し、以下のいずれかの条件を満たす者 ・初めて教諭等として採用されて15年目を迎えた者 ・初めて教諭等として採用されて12～14年目を迎えた者のうち受講を希望する者 ・前年度までに15年次相当研修を修了していない者
実施日数等	・校外研修1日
研修概要	次の研修から自己の課題に応じて1日の研修を選択し、受講する。 ・県教育委員会事務局本庁関係課が実施する職務研修及び担当者研修 ・県立総合教育センターが実施する担当者研修及び選択研修 ・県教育委員会事務局地方機関が実施する研修 ・県高等学校教育研究会が実施する教科等部会研修会 ・市教育委員会が実施する研修、研究発表会（市立高等学校教員のみ） ・教職員支援機構兵庫教育大学センターが実施する研修

20年次研修

趣旨	各学校における相応の経験を基盤として、時代の変化に対応し得る実践的指導力の向上を図る。
対象者	15年次相当研修を修了し、初めて教諭等として採用されて20年目を迎えた者
実施日数等	・ビデオオンデマンド(VOD)による研修 + 校外研修1日
校外研修概要	<p>県教育委員会事務局教職員人事課が実施するビデオオンデマンド(VOD)による「非違行為防止研修」を受講するとともに、次の研修から自己の課題に応じて1日の研修を選択して受講する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会事務局本庁関係課が実施する職務研修及び担当者研修 ・県立総合教育センターが実施する担当者研修及び選択研修 ・県教育委員会事務局地方機関が実施する研修 ・県高等学校教育研究会が実施する教科等部会研修会 ・市教育委員会が実施する研修、研究発表会（市立高等学校教員のみ） ・教職員支援機構兵庫教育大学センターが実施する研修

高等学校 初任者研修・2年次研修・3年次研修日程及び主な内容

【令和6年度採用者】

年次研修概要

回	区分	形態	期日等	主な内容	主な指標
1	全体研修	集合	4月4日（木）	講 話 初任者に期待すること	44, 45
				講 義 教職員の服務と公務員としての心構え	32, 42, 43
				講 義 人権尊重の理念	23
				演 習 教員としての学びのデザインⅠ（自己を知る）	42, 43, 45
2	全体研修	オンライン（VOD）	4月11日（木）～4月24日（水） （勤務場所）	講 義 高等学校学習指導要領でめざす学び	17, 18, 19
				講 義 生徒指導の意義（生徒指導提要）	25, 26, 27, 39, 43
				講 義 人間関係を円滑にする接遇の基本	43
3	全体研修	集合	4月18日（木）	講 義 兵庫県の高等学校教育	1, 2, 3, 25, 28
				講 義 伝える力Ⅰ（言語コミュニケーション）	27, 33, 43
				演 習・協 議 教員としての学びのデザインⅡ（めざす教員像）	37, 43, 44, 45
4	全体研修	集合	5月9日（木）	講 義 兵庫を知る	1, 3
				講 義 教員としての自己管理（ストレスマネジメント・アンガーマネジメント）	33, 42
				演 習・協 議 教科指導研修①（教科指導の基礎）	17, 18, 19, 20
5	全体研修	オンライン（双方向）	5月23日（木） （勤務場所）	協 議 勤務校への理解を深める	36, 37, 38
				演 習・協 議 ホームルーム経営（政治的教養の基礎となる合意形成の在り方）	4, 26, 27
6	全体研修	オンライン（VOD）	5月30日（木）～6月12日（水） （勤務場所）	講 義 カウンセリングマインド①	27, 33, 43
				講 義 学校安全	7, 30, 39
				講 義 情報セキュリティと情報モラル	13, 15, 39
7	全体研修	集合	6月6日（木）	講 義・演 習・協 議 教科指導研修②（指導と評価の一体化）	17, 18, 19, 20
8	全体研修	集合	6月20日（木）	講 義 保護者との連携と信頼関係の構築	25, 43
				講 義 生徒の自殺予防	25, 27, 43
				演 習・協 議 いじめの早期発見・早期対応	25, 27, 43
9	全体研修	集合	6月27日（木）、7月4日（木） のいずれか	演 習・協 議 東日本大震災被災地に学ぶ防災教育研修 南三陸ラーニングセンター 「災害時シミュレーションプログラム」	5
				演 習 伝える力Ⅱ（非言語コミュニケーション）	27, 29, 43
10	自主研修	各自	2月初旬まで	体 験 教員としての学びのデザインⅢ（学校訪問） ※報告書を提出し、第20回演習・協議で共有	44, 45
11	全体研修	集合	7月25日（木）	演 習 カウンセリングマインド②	27, 33, 43
				演 習・協 議 教科指導研修③（学習指導計画と教材研究の方法）	17, 18, 19, 20
12	全体研修	集合	8月1日（木）	発 表 実践発表	13, 14, 36, 44
				実 習 校務に生かすICTの基礎	13, 14, 16
				演 習・協 議 教科指導研修④（ICTを活用した授業づくり）	13, 14, 18, 19, 20
13	全体研修	集合	9月5日（木）、9月26日（木） のいずれか （県内防災関連施設）	体 験 県内防災関連施設見学	5
14	全体研修	集合	9月12日（木）	演 習・協 議 教員としての学びのデザインⅣ（教員の責任と役割）	37, 43, 44, 45
				演 習・協 議 教科指導研修⑤（授業改善につながる考査の在り方）	17, 18, 19, 20
15	テーマ別研修	集合	10月3日（木）、10月10日（木）他 のいずれか （定時制高校、特別支援学校、 各専門機関）	体 験 多様な生徒への対応① 定時制高校、特別支援学校及び不登校支援、非行問題、特別支援教育に関する専門機関訪問 ※訪問先を1つ選択していずれかの日程で1日実施	11, 12, 27, 29, 35
16	全体研修	集合	10月17日（木）	講 義 国際理解教育	2
				発 表 実践発表	36, 37, 44
				演 習・協 議 教科指導研修⑥（生徒が主体的に学ぶ授業）	14, 17, 18, 19, 20

初任者研修

初任者研修	17	全体研修	集合	10月24日（木）	講 義	定時制・通信制高等学校の教育実践	27, 28, 29
					講 義・協 議	多様な生徒への対応②	11, 12, 27, 29, 35
					演 習・協 議	人権教育	23
	18	全体研修	オンライン(VOD)	11月7日（木）～ 11月20日（水） （勤務場所）	講 義	道徳教育	24
					講 話	社会福祉	35
	19	全体研修	集合	2月6日（木）	講 義	キャリア教育	28
					講 義	高等学校における特別支援教育（一人一人の教育的ニーズに応じた支援）	10, 11, 12
					演 習・協 議	教科指導研修⑦（ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり）	10, 11, 18, 19
	20	全体研修	集合	2月20日（木）	発 表	実践発表	17, 36, 37, 38, 44
					演 習・協 議	総合的な探究の時間の充実	17, 18, 21, 38
					演 習・協 議	教員としての学びのデザインⅤ（1年目の評価と今後の目標設定）	37, 43, 44, 45

【令和5年度採用者】

2 年次 研 修	回	区分	形態	期日等	主 な 内 容	主な指標	
	1	全体研修	集合	6月17日（月）	演 習・協 議 教科指導研修①（授業改善と専門性向上の取組）	17, 18, 19, 20, 44	
	2	全体研修	集合	7月23日（火）	演 習・協 議 教科指導研修②（ICTを活用した授業づくり）	13, 14, 17, 18, 19	
	3	全体研修	集合	8月28日（水）	演 習・協 議	ホームルーム経営で直面する課題と対応	26, 27
					演 習・協 議	生徒指導上の諸課題への対応	25, 27, 43
	4	全体研修	集合	10月21日（月）他	演 習・協 議 教科指導研修③（専門性向上のための取組） ※芸術、家庭、情報、農業、商業、水産、 看護、福祉については備考を参照	17, 18, 19, 20, 44	
5	全体研修	集合	2月3日（月）	講 義	学校における危機管理	33, 39	
				演 習・協 議	教科指導研修④（教科指導の評価と今後の目標設定）	17, 18, 19, 20, 45	
				演 習・協 議	教員としての学びのデザイン（2年目の評価と今後の目標設定）	37, 43, 44, 45	

【令和4年度採用者】

3 年次 研 修	回	区分	形態	期日等	主 な 内 容	主な指標	
	1	全体研修	集合	7月8日（月）	発 表・協 議	生徒の自己肯定感を高める生徒指導の取組	25, 27, 39
					演 習・協 議	教科指導研修①（研究授業の在り方と指導力向上のためのコミュニティづくり）	17, 18, 19, 20, 44
	2	教科別研修	集合	9月～10月 （県立高等学校等） 他	〈高等学校訪問〉 教科指導研修②（研究授業） ※芸術、家庭、農業、商業、看護、福祉 については備考を参照	14, 18, 19, 20, 45	
	3	全体研修	集合	1月30日（木）	演 習・協 議	教科指導研修③（継続的な授業改善）	17, 18, 19, 20, 45
					演 習・協 議	教員としての学びのデザイン（3年間の評価とキャリアプラン）	37, 44, 45
講 義					教職員の服務と公務員としての心構え	32, 42, 43	

備考	2年次研修第4回 3年次研修第2回	芸術、家庭、情報（2年次研修）、農業、商業、水産、看護、福祉については、次の日程の選択研修講座（〇〇科教育講座）で実施 音楽（7月26日）、美術（8月9日）、書道（7月30日）、家庭（7月31日）、情報（11月7日）、 農業（2年次研修10月11日、3年次研修8月9日）、商業（2年次研修8月上旬予定、3年次研修10月上旬予定）、 水産（10月11日）、看護（9月13日）、福祉（9月11日）
----	----------------------	---

高等学校 中堅教諭等資質向上研修

－ 全体図 －

校外研修(10日)

共通研修(3日) 全員が受講する。 ※うち1.5日は勤務場所におけるオンライン

県立総合教育センター

- ・高等学校教育の現状と課題 ・教員の学びのサイクル ・教育公務員の職務
- ・教員としての自己管理 ・教職員としての倫理観 ・職場におけるこれからの役割 等

教科指導研修(4日) 教科別に全員が指定された研修を受講する。

県立総合教育センター 他

- ・指導と評価の一体化 ・探究的な学習 ・授業研究 ・授業改善の視点 ・ICTの効果的活用
- ・主体的・対話的で深い学びの実現 ・教科の専門性向上及び重点課題への取組 等

教育課題研修(3日)

各自の能力・適性や勤務校での役割等に応じて、職務を遂行する上で必要とする資質・能力を高めるための研修を選択して受講する。

※うち1日は県立総合教育センターにおける研修、2日は県内の大学・教育施設における研修

県立総合教育センター、県内の大学・教育施設 他

- ・生徒指導
教育相談、生徒理解、学級経営、いじめ・不登校問題への対応、心の危機対応、ストレスマネジメント 等
- ・特別支援教育 ・人権教育 ・防災教育 ・キャリア教育 ・情報教育 ・グローバル教育
- ・リーダーシップ ・総合的な探究の時間 等

校内研修(20日)

合計20日、校外研修において修得した知識や経験を基に、原則として校内において主体的に計画・実施する。

	研修項目	日数
1	教科指導 実地研修Ⅰ－主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善－ (例) 授業形態の工夫、ICTの効果的活用、評価方法の改善、探究的な学習	10日
2	教科指導 実地研修Ⅱ－授業研究を通して－ 公開授業(研究授業)と授業研究会(研究協議)の準備・実施	3～5日
3	生徒指導 実地研修－生徒指導上の課題への組織的対応－ (例) いじめ・不登校の予防や対応、多様な生徒への対応などの研究・取組	2～5日
4	職務に応じた専門性向上研修－校務分掌に関連する能力の向上、課題解決－ (例) 避難訓練の企画・運営、校内研修会の企画・運営などの取組 ※教科指導を除く	2～5日

※1～4については、研修項目に該当する県立総合教育センターの選択研修の受講をあててもよい。

ただし、中堅教諭等資質向上研修の校外研修(教科指導研修、教育課題研修)として受講する講座は除く。

※1については、教科指導に関する研究会(高等学校教育研究会研究発表大会等)などへの参加をあててもよい。

※4については、県教育委員会が実施する職務研修(担当者研修)への出席をあててもよい。

高等学校 中堅教諭等資質向上研修日程及び主な内容

回	区分	形態	期日等	主 な 内 容	主な指標
1	共通研修	オンライン (VOD)	4月17日(水)～4月26日(金) (勤務場所)	オリエンテーション 中堅教諭等資質向上研修の目的、 受講に関する諸注意等	
			5月20日(月)～5月31日(金)	講 義 高等学校教育の現状と課題	2, 25, 28, 44, 45
	集合	4月30日(火)	講 義 「教員の学びのサイクル」①	45	
			演 習・協 議 各自の能力・適性等の評価と研修課題の設定	37, 44, 45	
2	共通研修	オンライン (VOD、双方 向)	6月11日(火) (勤務場所)	講 義 教育公務員の職務	32, 34, 42, 43
				講義・演習・協 議 教員としての自己管理 (アンガーマネジメントの理論と実際)	33, 42
				演 習・協 議 教職員としての倫理観	34, 42, 43
3	共通研修	集合	A 9月19日(木) B 9月20日(金)	演 習・協 議 職場におけるこれからの役割 (ミドルリーダーとして活躍するために)	34, 35, 36, 37
				演 習・協 議 研修の評価とキャリアプラン	37, 44, 45
				講 義 「教員の学びのサイクル」②	45

回	区分	形態	期日等	主 な 内 容	主な指標
1	教科指導研修	集合	A 6月24日(月) B 7月1日(月)	演 習・協 議 指導と評価の一体化	17, 18, 19, 20, 44
				演 習・協 議 探究的な学習	17, 18, 19, 20, 21, 44
2	教科指導研修	集合	A 8月7日(水) B 8月8日(木)	演 習・協 議 教科別研修①	14, 17, 18, 19, 20, 21, 44
3	教科指導研修	集合	A 10月7日(月) B 10月8日(火)	演 習・協 議 教科別研修②	14, 17, 18, 19, 20, 21, 44
4	教科指導研修	集合	A 11月5日(火) B 11月6日(水)	演 習・協 議 教科別研修③	14, 17, 18, 19, 20, 21, 44

回	区分	形態	期日等	主 な 内 容	主な指標
1	教育課題研修 (中堅研独自の 研修)	集合 (一部オン ライン)	複数期日 (神戸女子大学 神戸親和大学 武庫川女子大学 関西学院大学 兵庫教育大学 甲南大学 関西国際大学 県立但馬やまびこの郷 県立神出学園 JICA関西) (予定)	生徒指導、 特別支援教育、 グローバル教育 等	2, 6, 10, 11, 12, 23, 25, 26, 27, 28, 29, 39, 42, 43, 44, 45
3	教育課題研修 (選択研修)	集合 (一部オン ライン)	複数期日 (県立総合教育センター等)	学校組織マネジメント、 生徒指導・心の教育、 教育の情報化 等	5, 6, 10, 11, 12, 13, 14, 17, 18, 19, 21, 23, 25, 26, 27, 28, 29, 32, 34, 35, 36, 37, 39, 44

3 特別支援学校 年次研修概要

初任者研修

趣旨	教育公務員特例法第23条に基づく研修として実施するもので、新任教員の自主性、自発性を踏まえ、豊かな人間性と教育力に富む教員の育成を図る。
対象者	新任教員
実施日数等	・校外研修22日 ・校内研修300時間
校外研修概要	・一般研修1日 ・全県研修2日 ・宿泊研修3日 ・校種別で行う研修〔特〕8日 ・地区別研修1日 ・授業実践研修2日 ・設置者別研修3日 ・社会体験研修2日

2年次研修

趣旨	初任者研修の成果を踏まえ、授業を充実させる力や生徒指導を行う力の習得を図るとともに、心の健康を保ちつつ学び続ける教員としての基礎となる資質を高める。
対象者	前年度に初任者研修を修了した者 前年度に初任者・2年次研修を修了していない者
実施日数等	・校外研修4日
校外研修概要	・全体研修2日 ・授業実践研修2日

3年次研修

趣旨	2年間にわたる研修の成果を踏まえ、主体的な研修を通じた実践的な指導力の習得を図るとともに、学び続ける教員としての基礎となる資質を高める。
対象者	前年度に2年次研修を修了した者 前年度に2年次・3年次研修を修了していない者
実施日数等	・校外研修2日
校外研修概要	・全体研修1日 ・授業実践研修1日

5年次相当研修

趣旨	各学校における相応の経験を踏まえ、教員としての資質を高め、時代の変化に対応する実践的指導力の向上を図る。
対象者	3年次研修を修了し、以下のいずれかの条件を満たす者 ・初めて教諭等として採用されて5年目を迎えた者 ・初めて教諭等として採用されて4年目を迎えた者のうち受講を希望する者 ・前年度までに5年次相当研修を修了していない者
実施日数等	・校外研修1日
校外研修概要	次の研修から自己の課題に応じて1日の研修を選択し、受講する。 ・県教育委員会事務局本庁関係課が実施する職務研修及び担当者研修 ・県立総合教育センターが実施する担当者研修及び選択研修 ・県教育委員会事務局地方機関が実施する研修 ・市町組合教育委員会が実施する研修、研究発表会（市立特別支援学校教員のみ） ・市町組合立学校長会が実施する教科等部会研究会（市立特別支援学校教員のみ） ・教職員支援機構兵庫教育大学センターが実施する研修

中堅教諭等資質向上研修

趣旨	教育公務員特例法第24条に基づく研修として実施するもので、個々の教諭等の能力、適性やニーズに応じて必要な事項に関する研修を実施し、指導力の向上等、教諭等としての資質の向上を図る。
対象者	教諭等としての在職期間が10年に達した者 当該年度に中堅教諭等資質向上研修を修了していない者
実施日数等	・校外研修10日程度 ・校内研修20日程度
校外研修概要	・共通研修4日 ・選択研修6日程度

15年次相当研修

趣旨	各学校における相応の経験を踏まえ、信頼される学校づくりを推進する上で中核となる教員としての資質を高め、時代の変化に対応し得る実践的指導力の向上を図る。
対象者	中堅教諭等資質向上研修を修了し、以下のいずれかの条件を満たす者 <ul style="list-style-type: none"> ・初めて教諭等として採用されて15年目を迎えた者 ・初めて教諭等として採用されて12～14年目を迎えた者のうち受講を希望する者 ・前年度までに15年次相当研修を修了していない者
実施日数等	・校外研修 1日
校外研修概要	次の研修から自己の課題に応じて1日の研修を選択し、受講する。 <ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会事務局本庁関係課が実施する職務研修及び担当者研修 ・県立総合教育センターが実施する担当者研修及び選択研修 ・県教育委員会事務局地方機関が実施する研修 ・県高等学校教育研究会が実施する教科等部会研修会 ・市町組合教育委員会が実施する研修、研究発表会（市立特別支援学校教員のみ） ・市町組合立学校長会が実施する教科等部会研究会（市立特別支援学校教員のみ） ・教職員支援機構兵庫教育大学センターが実施する研修

20年次研修

趣旨	各学校における相応の経験を基盤として、時代の変化に対応し得る実践的指導力の向上を図る。
対象者	15年次相当研修を修了し、初めて教諭等として採用されて20年目を迎えた者
実施日数等	・ビデオオンデマンド(VOD)による研修 + 校外研修 1日
校外研修概要	県教育委員会事務局教職員人事課が実施するビデオオンデマンド(VOD)による「非違行為防止研修」を受講するとともに、次の研修から自己の課題に応じて1日の研修を選択して受講する。 <ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会事務局本庁関係課が実施する職務研修及び担当者研修 ・県立総合教育センターが実施する担当者研修及び選択研修 ・県教育委員会事務局地方機関が実施する研修 ・県高等学校教育研究会が実施する教科等部会研修会 ・市町組合教育委員会が実施する研修、研究発表会（市立特別支援学校教員のみ） ・市町組合立学校長会が実施する教科等部会研究会（市立特別支援学校教員のみ） ・教職員支援機構兵庫教育大学センターが実施する研修

特別支援学校 初任者研修・2年次研修・3年次研修日程及び主な内容

【令和6年度採用者】

年次研修概要

回	区分	形態	期日等	主 な 内 容	主な指標
1	一般研修	集合	4月2日(火)	講 義 兵庫県の特例支援教育	10
				講 義 教職員としての心構え①(社会人のマナー)	43
				講 義 教職員の服務	32, 33, 35, 37, 38
				オリエンテーション 初任者研修の目的、受講に関する諸注意等	
2	全県校外 (第1回)	集合	5月14日(火) 〈神戸文化ホール〉	講 話 初任者に期待すること	42, 43, 44, 45
				講 話 「縦横連携」によりさらなる充実を図る特別支援教育	6, 10, 11, 12
				講 義 教職員としての心構え②(非遵行為の防止)	32, 42, 43
				講 義 兵庫の防災教育	5, 39
				講 義 心の健康教育(自殺予防等)	25, 27, 39
3	校種別 (第1回)	集合	5月22日(水)	講 義 兵庫県の特例支援教育	10
				講 義・演習 特別支援学校の教育課程	11, 18, 20, 29
				実 践 発 表 先輩教員としてのアドバイス	33, 42, 45
				協 議 教員としての1か月を振り返って	42, 45
4	校種別 (第2回)	集合	6月4日(火)	講 義・演習 気になる子どものアセスメント(気付きと対応)	10, 12, 35, 44
				講 義・演習 個別の指導計画と自立活動	10, 11, 12, 18, 44
5	設置者別 (第1回)	オンライン (双方向)	6月18日(火) 〈勤務場所〉	講 義 小・中・高等学校における特別支援教育の推進に向けて	6, 10, 44
				実 践 発 表 高等学校における通級による指導	6, 10, 44
				講 義 情報セキュリティ	13, 15
				講 義・協 議 相互理解を深める交流及び共同学習	19, 35
6	地区別	集合	7月2日(火)、7月3日(水) のいずれか	講 義・演習 教育相談①(カウンセリングマインド等)	25, 27, 43
				演 習・協 議 生徒指導(いじめ、不登校等への対応)	25, 27, 33
7	校種別 (第3回)	集合	7月9日(火)	講 義・演習 家庭と学校との連携(信頼関係づくりに向けて)	35, 38, 43
				講 義・演習 学校における子どもの安全(保健室事例等から学ぶ)	30, 39
				協 議 安全・安心な学校とは	30, 39
8 9 10	全県宿泊	集合	a 7月24日(水)~26日(金) b 7月31日(水)~8月2日(金) c 8月7日(水)~9日(金) 〈県立南但馬自然学校〉	講 義 兵庫型「体験教育」の意義	1, 3, 24, 28
				講 義・演習 教育相談②(不登校児童生徒への支援)	25, 26, 27, 33
				演 習 体験活動プログラム	1, 24, 28, 29, 39
				講 義・演習 一人一人の教育的ニーズに応じた集団づくり (体験活動を生かした特別活動の充実)	11, 24, 26, 28, 29, 45
11	設置者別 (第2回)	集合	8月20日(火)	講 義・協 議 障害のある子どもの消費者教育・主権者教育・金融教育	4
				講 義・協 議 自己選択・自己決定を育てるための指導・支援	10, 11, 19, 28
12	校種別 (第4回)	集合	9月10日(火)	講 義・演習 授業計画と指導案	17, 18, 19, 20
				演 習・協 議 授業研究について①	17, 18, 19, 20
13	校種別 (第5回)	集合	9月24日(火)	講 義・演習 各障害に応じた指導の工夫①(知的障害、発達障害)	10, 11, 12, 44
				講 義・演習 各障害に応じた指導の工夫②(肢体不自由、重複障害)	10, 11, 12, 44
14	校種別 (第6回)	各会場校	10月中旬に1日	授 業 実 践 研 修 会場校初任者による研究授業①	11, 18, 19, 20
				研 究 協 議 授業改善に向けて①・授業研究について②	11, 18, 19, 20
15	校種別 (第7回)	各会場校	11月中旬に1日	授 業 実 践 研 修 会場校初任者による研究授業②	11, 18, 19, 20
				研 究 協 議 授業改善に向けて②・よりよい授業づくりに向けて	11, 18, 19, 20
16	校種別 (第8回)	集合	12月3日(火)	講 義・演習 授業づくりについて(授業実践研修を踏まえて)	20, 45
				実 践 発 表 特別支援学校のセンター的機能	6, 10, 35, 44
				協 議 関係機関との連携	6, 10, 35, 44
17	校種別 (第9回)	集合	12月17日(火)	実 践 発 表 自立と社会参加のためのICT活用	11, 13
				講 義・演習・協 議 障害のある子どもへのICTを活用した指導支援	13, 14

初任者研修

初任者研修	18	全県校外 (第2回)	集合	1月14日(火) 〈姫路市市民会館〉	講 義	キャリア教育	6, 28, 29
					講 義	児童生徒や保護者からの信頼確保に向けて② (子どもの人権を尊重した教育活動)	42, 43
					講 義	健康教育	9, 30, 31, 40, 41
					講 義・演習	児童生徒のコミュニケーション力を育む ー平田オリザ氏から学ぶー	2, 19, 29, 45
	19	設置者別 (第3回)	集合	1月28日(火)	講 義	職業リハビリテーションについて	10, 28, 29, 35
					実 践 発 表	外部専門家の助言を生かした実践的段階的作業学習	11, 19, 20, 28, 29, 35
					講 義・協 議	発達段階に応じた進路指導とキャリア教育	11, 19, 20, 28, 29, 35
	20	校種別 (第10回)	集合	2月14日(金)	講 義	これからの教員に求められること	37, 44, 45
					発 表・協 議	一年の成果と信頼される教員をめざして (体験発表をとおして互いに学び支え合う)	10, 44, 45
	21	社会体験		初任者ごとに設定	実 習	社会体験研修(防災教育)	5, 39
22			実 習		社会体験研修(初任者の課題に応じて)	43, 44	

※「設置者別」研修は、県立特別支援学校教員のみ対象です。

【令和5年度採用者】

回	区分	形態	期日等	主 な 内 容	主な指標	
1	全体	集合	5月24日(金)	講 義	インクルーシブ教育システムの構築 若手教員のメンタルヘルス	10, 32, 42
				演 習	保護者・関係機関の連携	35, 38, 43
2	全体	集合	8月23日(金)	講 義・演習	個に応じた指導と集団による学び	10, 25, 26, 27, 43
				講 義・演習・協 議	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり 学習指導案の検討及び授業研究	11, 18, 19, 20
3	授業実践 (第1回)	集合	10月実施予定	研 究 授 業	会場校2年次教員による研究授業①	11, 18, 19, 20
				班 別 協 議	指導の充実、改善に向けて①	
4	授業実践 (第2回)	集合	11月実施予定	研 究 授 業	会場校2年次教員による研究授業②	11, 18, 19, 20
				班 別 協 議	指導の充実、改善に向けて② 2年次研修の総括	

【令和4年度採用者】

回	区分	形態	期日等	主 な 内 容	主な指標	
1	全体	集合	6月28日(金)	講 義	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり 自立と社会参加に向けた指導の充実	11, 18, 19, 20
				協 議・演習	授業の工夫及び学習指導案検討	
2	授業実践	集合	10月～11月実施予定	研 究 授 業	会場校3年次教員による研究授業	
				協 議	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり 自立と社会参加に向けた指導の充実	

特別支援学校 中堅教諭等資質向上研修

－全体図－

校外研修(10日程度)

<共通研修(4日)>

○教員としてのキャリア形成等

- ・特別支援教育の現状と課題
- ・職場におけるこれからの役割
- ・研修のテーマ設定
- ・キャリアプランニング

○教科指導等

- ・カリキュラム・マネジメントの実現に向けて
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり
- ・授業研究の在り方
- ・指導力の向上に向けて

○生徒指導等

- ・学校における危機管理
- ・不登校対応
- ・いじめ未然防止

○教育課題

- ・特別支援教育におけるICT活用
- ・情報モラル教育の充実に向けて

<選択研修(6日程度)>

- 各受講者のニーズに応じて、県立総合教育センターが実施する研修講座をはじめ、各研修機関等が実施する研修を6日選択し、受講する。

※詳細は、「令和6年度特別支援学校中堅教諭等資質向上研修ガイド」を参照すること。

校内研修(20日程度)

- 研修計画に基づき、校内研修を実施する。
- 校内研修(20日程度)の実施については、研修区分のバランスに留意すること。

【実施方法(例)】

授業研究等	14日
特定課題研究	6日

※詳細は、「令和6年度特別支援学校中堅教諭等資質向上研修ガイド」を参照すること。

※全体の日数については、校外研修10日、校内研修20日を下回らないようにすること。

特別支援学校 中堅教諭等資質向上研修日程及び主な内容

共通研修	回	区分	形態	期日等	主 な 内 容	主な指標
	1	共通研修Ⅰ	集合	4月26日（金）	講 義 特別支援教育の現状と課題	10, 11
					講義・演習・協議 職場におけるこれからの役割	34, 37, 39, 44
					演 習 ・ 協 議 研修の課題設定	44, 45
	2	共通研修Ⅱ	オンライン (双方向)	6月26日（水） (勤務場所)	講 義 ・ 協 議 教育公務員の職務	42, 43
					講 義 ・ 演 習 ICT活用と情報モラル教育の充実	13, 14, 18
	3	共通研修Ⅲ	集合	8月29日（木）	講 義 ・ 協 議 カリキュラム・マネジメントの実現に向けて	17, 19, 21, 38
					講 義 ・ 協 議 自立活動の指導及び授業研究の在り方	18, 19
	4	共通研修Ⅳ	集合	1月15日（水）	実践発表・協議 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて	18, 19
					演 習 ・ 協 議 研修評価とキャリアプラン	44, 45

分類	講座番号	校種	講座名称	日程	
情報教育	II 1301	高特	県立学校情報担当者養成講座	6月13日(木)	
	II 1401	小中	弱視特別支援学級担当講座	① 4月30日(火)～5月17日(金) ② 6月10日(月) ③ 未定	
特別支援教育	新任特別支援学級担当者研修	II 1402	小中	難聴特別支援学級担当講座	① 4月30日(火)～5月17日(金) ② 6月3日(月) ③ 7月24日(水)
		II 1403	小中	知的障害特別支援学級担当講座	① 4月30日(火)～5月17日(金) ② 5月30日(木) ③ 7月26日(金)
		II 1404	小中	肢体不自由特別支援学級担当講座	① 4月30日(火)～5月17日(金) ② 5月17日(金) ③ 7月31日(水)
		II 1405	小中	病弱特別支援学級担当講座	① 4月30日(火)～5月17日(金) ② 5月23日(木) ③ 7月22日(月)
		II 1406	小	(小)自閉症・情緒障害特別支援学級担当講座	① 4月30日(火)～5月17日(金) ② 5月20日(月) ③ 8月2日(金)
		II 1407	中	(中)自閉症・情緒障害特別支援学級担当講座	① 4月30日(火)～5月17日(金) ② 5月27日(月) ③ 8月9日(金)
		通級指導担当者研修	II 1408	小	(小)通級による指導講座
II 1409	中		(中)通級による指導講座	① 5月27日(月)～6月7日(金) ② 11月12日(火)	
II 1410	高特		(高)通級による指導講座	① 5月27日(月)～6月7日(金) ② 2月4日(火)	
リーダー研修	II 1411	小中	(小中)次世代コーディネーター育成講座	① 6月10日(月)～6月21日(金) ② 1月22日(水)	
	II 1412	高	(高)次世代コーディネーター育成講座	① 6月10日(月)～6月21日(金) ② 12月6日(金)	
	II 1413	特	(特)次世代コーディネーター育成講座	① 6月10日(月)～6月21日(金) ② 1月31日(金)	
	II 1414	特	(特)自立活動リーダー育成講座	① 6月14日(金) ② 7月30日(火)	

募集期間 令和6年4月16日(火)～講座実施日の14日前

(ただし、新任特別支援学級担当者研修は、4月16日(火)～4月26日(金)です。)

※ 受講決定がされていない場合は、受講ができません。受講決定の状況は「教職員研修管理システム」のマイメニューで確認してください。

分類	講座番号	校種	講座名称	日程	小	中	高	特	ページ	
校内リーダー	A 危機	ⅢA1101	小中特 学校における危機管理講座－学校事故等への対応を通して－	7月17日(水)	●	●		●	36	
	B 組織	ⅢB1201	高特 教育経営講座A－これからの時代に向けた学校経営－	① 6月3日(月) ② 7月12日(金)					36	
		ⅢB1202	高特 教育経営講座B－企業に学ぶ学校経営－	10月18日(金)					37	
		ⅢB1203	小中高特 学校組織活性化における教員の在り方講座－課題を発見し解決していくミドルリーダーをめざして－	7月24日(水)	●	●	◎	●	37	
専門研修	C 教科指導	ⅢC1101	小特 (小)国語科授業実践講座－「読むこと」の授業づくり－	9月13日(金)	●			●	38	
		ⅢC1102	小特 (小)社会科授業実践講座－「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」の授業づくり－	11月21日(木)	●			●	38	
		ⅢC1103	小特 (小)算数科授業実践講座－「図形」領域に関する系統性を踏まえた指導の充実－	9月3日(火)	●			●	39	
		ⅢC1104	小特 (小)理科授業実践講座－「エネルギー」を柱とする領域の授業づくり－	11月14日(木)	●			●	39	
		ⅢC1105	小特 (小)外国語授業実践講座－「話すこと(やり取り)」の言語活動を通して－	11月25日(月)	●			●	40	
		ⅢC1106	中特 (中)国語科授業実践講座－「読むこと」の授業づくり－	12月5日(木)		●		●	40	
		ⅢC1107	中特 (中)社会科授業実践講座－「地理的分野」の授業づくり－	11月21日(木)		●		●	41	
		ⅢC1108	中特 (中)数学科授業実践講座－「関数」領域の授業づくり－	12月6日(金)		●		●	41	
		ⅢC1109	中特 (中)理科授業実践講座－「エネルギー」を柱とする領域の授業づくり－	11月14日(木)		●		●	42	
		ⅢC1110	中特 (中)英語科授業実践講座－「話すこと(やり取り)」の言語活動を通して－	11月25日(月)		●		●	42	
		ⅢC1111	小中特 (小中)音楽科授業実践講座－「表現」領域の授業づくり－	a 10月24日(木) b 11月12日(火)	●	●		●	43	
		ⅢC1112	小中特 (小中)図画工作科・美術科授業実践講座－表現と鑑賞を関連付けた授業づくり－	10月10日(木)	●	●		●	43	
		ⅢC1113	小中特 (小中)体育科・保健体育科授業実践講座－「ボール運動系」領域の授業づくり－	a 7月17日(水) b 9月4日(水)	●	●		●	44	
		ⅢC1114	小中特 (小中)「特別の教科 道徳」授業実践講座－考える楽しさを創る授業づくり－	a 7月10日(水) b 12月2日(月)	●	●		●	44	
		ⅢC1201	高特 (高)国語科教育講座－生徒が主体的に「読むこと」をめざした授業づくり－	7月12日(金)				●	45	
		ⅢC1202	高特 (高)地理歴史科・公民科教育講座A－「問い」を中心に構成する授業づくり－	9月24日(火)				●	45	
		ⅢC1203	高特 (高)地理歴史科・公民科教育講座B－社会的現象の地理的な見方・考え方を働かせる「地理総合」の授業づくり－	10月4日(金)				●	46	
		ⅢC1204	高特 (高)数学科教育講座－論理的な思考力・批判的な思考力の育成をめざして－	9月30日(月)				●	46	
		ⅢC1205	高特 (高)理科教育講座－探究の過程を踏まえた観察・実験の授業づくり－	8月29日(木)				●	47	
		ⅢC1206	高特 (高)英語科教育講座－外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力を高める授業づくり－	10月25日(金)				●	47	
		ⅢC1207	高特 (高)保健体育科教育講座－生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するために－	10月11日(金)				●	48	
		ⅢC1208	高特 (高)芸術科(音楽)教育講座－主体的・協働的に音楽に関わる態度を養う授業づくり－	7月26日(金)				◇	●	48
		ⅢC1209	高特 (高)芸術科(美術)教育講座－表現の可能性を広げるためのICT活用を取り入れた授業づくり－	8月9日(金)				◇	●	49
		ⅢC1210	高特 (高)芸術科(書道)教育講座－妥当性・信頼性の高い学習評価の在り方－	7月30日(火)				◇	●	49
		ⅢC1211	中高特 (中高)家庭科教育講座A－身近な生活から問題を見だし解決する力を育む授業づくり－	7月31日(水)		●	◇	●	50	
		ⅢC1212	中高特 (中高)家庭科教育講座B－ICT活用指導力の向上をめざす－	8月9日(金)		●	◇	●	50	
		ⅢC1213	高特 (高)情報科教育講座A－「情報Ⅰ」(プログラミング)の授業の充実－	6月27日(木)				●	51	
		ⅢC1214	高特 (高)情報科教育講座B－「情報Ⅰ」(情報デザイン、情報通信ネットワーク)の授業の充実－	7月11日(木)				●	51	
		ⅢC1215	高特 (高)情報科教育講座C－共通教科情報科(データの活用・データサイエンス)の授業の充実－	10月24日(木)			◇	●	52	
		ⅢC1216	高特 (高)情報科教育講座D－プログラミングによるデータ分析－	11月7日(木)			◇	●	52	
		ⅢC1217	高特 (高)農業科・水産科教育講座A－農業の技術革新と高度化に対応した学習の充実に向けて－	8月9日(金)			◇	●	53	
		ⅢC1218	高特 (高)農業科・水産科教育講座B－農業生産工程管理(GAP)の考え方に基づく授業づくり－	10月11日(金)			◇	●	53	
ⅢC1219	高特 (高)工業科教育講座A－安全管理と安全教育の充実に向けて－	10月21日(月)			◇	●	54			
ⅢC1220	高特 (高)工業科教育講座B－体系的・系統的に理解を深めるための実習の展開－	12月上旬予定				●	54			
ⅢC1221	高特 (高)商業科教育講座A－特色ある職業教育に学ぶ－	8月上旬予定			◇	●	55			
ⅢC1222	高特 (高)商業科教育講座B－ビジネス探究科の取組に学ぶ－	10月上旬予定			◇	●	55			
ⅢC1223	高特 (高)看護科教育講座－実践的・体験的な学習活動の充実－	9月13日(金)			◇	●	56			
ⅢC1224	高特 (高)福祉科教育講座－実践的・体験的な学習活動の充実－	9月11日(水)			◇	●	56			
ⅢC1225	高特 (高)生徒の探究的な学びを実現する授業づくり講座－課題を発見し解決していくための資質・能力の育成－	7月30日(火)			◎	●	57			
ⅢC1226	高特 (高)実習教員のための観察・実験講座－効果的な観察・実験に向けて－	10月28日(月)				●	57			

分類	講座番号	校種	講座名称	日程	小	中	高	特	ページ
D 生徒指導・心の教育	ⅢD1501	小中高特	いじめ問題への対応講座A(集合研修)ーいじめのない学級づくりー	7月30日(火)	●	●	◎	●	58
	ⅢD1502	小中高特	いじめ問題への対応講座B(集合研修)ー発達障害の可能性のある児童生徒といじめ問題ー	8月23日(金)	●	●	◎	●	58
	ⅢD1503	小中高特	いじめ問題への対応講座C(VOD研修)ー「いじめ未然防止プログラム」の活用ー ※A、Bとの重複受講不可	11月28日(木)～12月11日(水)	●	●	◎	●	59
	ⅢD1504	小中高特	不登校への対応講座Aー不登校の理解と初期対応ー	6月10日(月)	●	●	◎	●	59
	ⅢD1505	小中高特	不登校への対応講座Bー不登校対応のための学校教育相談ー	11月11日(月)	●	●	◎	●	60
	ⅢD1506	小中高特	自他の命を大切にすることを育む教育講座ー学校における児童生徒の自殺予防ー	8月9日(金)	●	●	◎	●	60
	ⅢD1507	小中高特	児童虐待問題への対応講座ー被虐待児童生徒への理解と対応ー	11月18日(月)	●	●	◎	●	61
E 課題教育	ⅢE1101	小中	(小中)キャリア教育推進講座ー体系的・系統的なキャリア教育の充実に向けてー	10月28日(月)	●	●			62
	ⅢE1201	高	(高)キャリア教育推進講座ー体系的・系統的なキャリア教育の充実に向けてー	10月28日(月)			◎		62
	ⅢE1102	小中高特	人権教育講座ー今日的な人権課題の解決に向けてー	12月9日(月)	●	●	◎	●	63
	ⅢE1103	小中高特	震災に学ぶ防災教育講座ー自らの生命を守るために主体的に行動できる児童生徒の育成ー	7月16日(火)	●	●	◎	●	63
	ⅢE1104	小中高特	演劇で学ぶコミュニケーション能力育成講座ー児童生徒のコミュニケーション能力を育み、表現力を磨くー	a 10月17日(木) b 1月16日(木)	●	●	◎	●	64
F 教育の情報化	ⅢF1301	小中高特	情報モラル教育講座ー「ひょうごGIGAワークブック」の活用ー	11月20日(水)	●	●	◎	●	65
	ⅢF1302	小中高特	教員のためのICT基礎講座ー一斉学習の効果を高めるための教材の提示方法についてー	10月30日(水)	●	●	◎	●	65
	ⅢF1303	小 特	(小)タブレット端末基礎講座ー授業における教員のタブレット端末活用ー	9月11日(水)	●			●	66
	ⅢF1304	中高特	(中高)タブレット端末基礎講座ー授業における教員のタブレット端末活用ー	9月26日(木)		●	◎	●	66
	ⅢF1305	小中高特	Google Workspace基礎講座ーGoogle Workspace(クラウドサービス)を活用した学習場面づくりー	6月20日(木)	●	●	◎	●	67
	ⅢF1306	小中高特	Google Workspace実践講座ー児童生徒の学びを深めるためのGoogle Workspace(クラウドサービス)の活用ー	a 7月17日(水) b 12月5日(木) c 12月10日(火)	●	●	◎	●	67
	ⅢF1307	小中高特	Office365基礎講座ーOffice365(クラウドサービス)を活用した学習場面づくりー	7月3日(水)	●	●	◎	●	68
	ⅢF1308	小中高特	Office365実践講座ー児童生徒の学びを深めるためのOffice365(クラウドサービス)の活用ー	a 8月6日(火) b 11月14日(木) c 11月28日(木)	●	●	◎	●	68
	ⅢF1309	小中高特	表計算ソフト活用講座(VOD研修)ー教育の情報化をめざしてー	1月16日(木)～1月30日(木)	●	●	◎	●	69
	ⅢF1310	小中高特	先端技術体験講座ー3Dプリンタ・ドローン・VRゴーグル・生成AIー	8月29日(木)	●	●	◎	●	69
	ⅢF1311	高	先端技術活用講座ーSTEAM教育の推進(3Dプリンタ)ー	7月5日(金)			◎		70
	ⅢF1312	高	先端技術活用講座ーSTEAM教育の推進(ドローン)ー	7月5日(金)			◎		70
	ⅢF1313	高	先端技術活用講座ーSTEAM教育の推進(VRゴーグル)ー	8月27日(火)			◎		71
	ⅢF1314	高	先端技術活用講座ーSTEAM教育の推進(生成AI)ー	8月27日(火)			◎		71
G 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	ⅢG1401	幼小中高特	障害のある子どもと歩む保護者理解講座ー保護者の視点から考える教職員の役割ー	11月15日(金)	●	●	◎	●	72
	ⅢG1402	幼小中高	基礎的な障害理解と自立活動の指導充実講座ー個に応じた教育課程の編成と自立活動の指導ー	6月19日(水)	●	●	◎		72
	ⅢG1403	幼小中高	インクルーシブ教育システムと合理的配慮の基礎理解講座ー共生社会の形成に向けた子どもの多様なニーズへの対応ー	10月4日(金)	●	●	◎		73
	ⅢG1404	幼小中高特	特別支援教育における効果的なICT活用講座AーICTを活用した主体的な学びを引き出す工夫ー	6月13日(木)	●	●	◎	●	73
	ⅢG1405	幼小中高特	特別支援教育における効果的なICT活用講座Bー子ども自らが学習意欲を高めるICT活用ー	11月22日(金)	●	●	◎	●	74
	ⅢG1406	幼小中高特	気になる行動を考えるステップ講座ー適切な指導支援を行うためにー	10月31日(木)	●	●	◎	●	74
	ⅢG1407	幼小中高	ポジティブな行動支援講座ー望ましい行動を育てる支援方法ー	1月21日(火)	●	●	◎		75
	ⅢG1408	幼小中高特	特別支援教育の視点を取り入れた音楽指導講座ー豊かな音楽活動を実現する授業づくりー	7月24日(水)	●	●	◎	●	75
	ⅢG1409	幼小中高特	特別支援教育の視点を取り入れた図画工作・美術指導講座ー豊かな創造活動を実現する授業づくりー	9月26日(木)	●	●	◎	●	76
	ⅢG1410	幼小中高特	ユニバーサルデザインの視点を生かした集団づくり講座ー一人一人の良さを生かした指導・支援ー	a 8月16日(金) b 10月18日(金) c 1月17日(金)	●	●	◎	●	76
	ⅢG1411	幼小中高特	感覚統合の視点を取り入れた指導・支援講座ー気になる子どもへの身体面からのアプローチー	9月24日(火)	●	●	◎	●	77
	ⅢG1412	幼小中高特	発達の段階に応じた性の課題に関する指導・支援講座ー学校における性教育として求められることー	10月23日(水)	●	●	◎	●	77
	ⅢG1413	幼小中高特	発達障害のある子どもの就労支援講座ー自立と社会参加に向けた指導・支援ー	8月22日(木)	●	●	◎	●	78

- ※ ● 小・中・特別支援学校の中堅教諭等資質向上研修の研修として受講可能な講座
- ※ ◎ 高等学校中堅教諭等資質向上研修の「教育課題研修」として受講可能な講座
- ※ ◇ 高等学校中堅教諭等資質向上研修の「教科指導研修」として必ず受講する講座

※日程欄の
 ・①、②は継続して受講する講座
 ・a, b, cは同一内容の講座(重複受講不可)
 ・期間で示しているのは期間内に視聴するVODの講座

募集期間 令和6年5月7日(火)～講座実施日の14日前

- ※ 募集定員に達した場合は、「教職員研修管理システム」により自動で募集を停止します。
- ※ 受講決定がされていない場合は、受講ができません。受講決定の状況は「教職員研修管理システム」のマイメニューで確認してください。
- ※ 管理職に事前に相談し、受講の承諾を受けてから、「教職員研修管理システム」を通じて申し込んでください。
- ※ 修了認定は講座実施日(複数回実施する講座は最終の実施日)から3～4ヶ月後を目処に行います。

4 講座情報の読み方

校種、対象教科、職種等の欄は、主として受講可能な対象を定めたものです。対象外であっても、校種間連携の推進など各校の必要性に応じて受講可能ですが、事前に講座担当課に連絡して承諾を得てください。

※管理職に事前に相談し、受講の承諾を受けてから、「教職員研修管理システム」を通じて申し込んでください。

〔講座例〕

(4)	講座番号 Ⅲ C1101		(1)	(2)	(3)				
	(小) ○○科授業実践講座 -○○○○○○授業づくり-	対象	幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	○	教員	-
	日程 [1日]	会場							
	令和6年9月13日(金)	県立総合教育センター							
(5)	重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。 20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。							
	ねらい	(1) 国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する授業の在り方を理解する。 (2) 文章の構成や叙述に基づいて、精査・解釈し、自分の考えを形成する学習過程を意識した授業づくりに関して理解する。							
	内容	講義 発表・協議 実習	国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力の育成に向けた「読むこと」領域の指導と評価 言葉による見方・考え方を働かせる授業実践 「説明的な文章」における授業の在り方 ・目的や意図に応じ、中心となる語や文を見付けて、それらを用いて内容をまとめる学習過程の工夫						
	講師	○○大学 ○○ ○○○○							
	備考	【問合せ】 義務教育研修課 0795-42-3102							

(6)

(1) 校種

当該校種に所属しているか、当該校種・教科の教員免許状を所有していることが必要です。

- 【幼】 幼稚園、こども園
 - 【小】 市町組合立小学校、義務教育学校（前期課程）
 - 【中】 市町組合立中学校、義務教育学校（後期課程）
県立中等教育学校（前期課程）
 - 【高】 県立高等学校、市立高等学校
県立中等教育学校（後期課程）
 - 【特】 県立特別支援学校、市立特別支援学校
- ※いずれも神戸市立を除く

(3) 教科

- 【 - 】教科の限定はありません。
- 【教科名】対象教科の教員免許があれば受講可能です。
- 【備考】対象を備考で御確認ください。

(4) 講座番号・日程

講座番号・日程を確認の上、申し込んでください。

(5) 重点指標・ねらい

重点的に扱う兵庫県資質向上指標を示し、指標に定められた資質の向上に向けて焦点化したねらいを記載しています。

(2) 職種

教員、教職員とは次のような職名を指します。

- 【教員】 教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（非常勤の者を除く）
- 【教職員】 校長、副校長、教頭、事務長、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（非常勤の者を除く）、実習助手、学校栄養職員、事務職員

(6) 【問合せ】

講座内容に関する問合せ先です。

※ 受講手続きに関する問合せは、以下に御連絡ください。

企画調査課 TEL 0795-42-3101

5 担当者等研修

1 情報担当者研修

講座番号 II1301		対象						
県立学校情報担当者養成講座		幼	小	中	高	特	職種	教科
—学校教育情報セキュリティ・システム担当者（情報担当者）としての役割—					○	○	教職員	備考参照
日程 [1 日]				会場				
令和6年6月13日（木）				県立総合教育センター				
重点指標	15 各校の情報セキュリティ実施手順等に基づき、校内の情報を適切に管理し、取り扱うことができる。 37 校内における自分の役割を認識し、校務分掌を的確かつ効率的に遂行できる。 44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。							
ねらい	(1) 校内ネットワークの運用・管理の実際や障害対応の方法を習得する。 (2) 教育情報ネットワークの構成と機器の設定方法を習得する。							
内容	講 義 演 習	学校教育情報セキュリティ・システム担当者（情報担当者）の役割 教育情報ネットワークの構成、校内LANの運用・管理とネットワーク障害への対応 ・教育情報ネットワークの全体像と提供サービス ・コマンドプロンプトの活用（設定情報確認、ネットワークの疎通確認） 演 習 コンピュータを校内ネットワークへ接続する方法						
備考	○ 対象者：県立学校の学校教育情報セキュリティ・システム担当者（情報担当者）またはそれに準ずる教職員 ○ 本講座は、事前研修（eラーニング）の受講を前提に実施します。必ず講座実施日の1週間前までに受講してください。 ○ 令和6年度に初めて学校教育情報セキュリティ・システム担当者になった方は受講してください。 【問合せ】 情報教育研修課 0795-42-3104							

2 新任特別支援学級担当者研修

講座番号 II1401 弱視特別支援学級担当講座		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○				教員	備考参照
日程 [3 日]		会場						
① 令和6年4月30日(火)～5月17日(金)		VODによる実施						
② 令和6年6月10日(月)		県立総合教育センター						
③ 未定		県立総合教育センター						
重点指標	11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 12 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
ねらい	(1) 視覚障害についての基礎的知識を習得する。 (2) 障害特性に応じた適切な指導・支援について理解する。							
内容	①	講 義 講 師	自立活動 障害に応じた教育課程の編成 奈良学園大学 准教授 岡野 由美子					
	②	講 義 発 表 演 習・協 議	視覚障害教育の基礎 視覚障害教育の具体的実践 自立活動の指導					
	③	協 議 講 義	障害特性の理解及び適切な指導・支援 視覚障害教育の実践と課題					
備考	○ 対象者：令和6年度に初めて弱視特別支援学級を担当する教員。特別支援学校(視覚障害児童生徒の指導)での勤務経験のある教員は除く。 ○ 3回継続して受講してください。 ○ ③の時に、実践レポートを提出してください。様式等詳細は「教職員研修管理システム」にて連絡します。 【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

担当者等研修

講座番号 II1402 難聴特別支援学級担当講座		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○				教員	備考参照
日程 [3 日]		会場						
① 令和6年4月30日(火)～5月17日(金)		VODによる実施						
② 令和6年6月3日(月)		県立総合教育センター						
③ 令和6年7月24日(水)		県立総合教育センター						
重点指標	11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 12 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
ねらい	(1) 聴覚障害についての基礎的知識を習得する。 (2) 障害特性に応じた適切な指導・支援について理解する。							
内容	①	講 義 講 師	自立活動 障害に応じた教育課程の編成 奈良学園大学 准教授 岡野 由美子					
	②	講 義 発 表 演 習・協 議	聴覚障害教育の基礎 聴覚障害教育の具体的実践 自立活動の指導					
	③	協 議 講 義 講 師	障害特性の理解及び適切な指導・支援 聴覚障害教育の実践と課題 兵庫教育大学大学院 准教授 中島 武史					
備考	○ 対象者：原則、令和6年度に初めて難聴特別支援学級を担当する教員。特別支援学校(聴覚障害児童生徒の指導)での勤務経験のある教員は除く。 ○ 3回継続して受講してください。 ○ ③の時に、実践レポートを提出してください。様式等詳細は「教職員研修管理システム」にて連絡します。 【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

講座番号 II 1403 知的障害特別支援学級担当講座			対象					
			幼	小	中	高	特	職種
日程 [3 日]			会場					
① 令和6年4月30日(火)～5月17日(金)			VODによる実施					
② 令和6年5月30日(木)			県立総合教育センター					
③ 令和6年7月26日(金)			県立総合教育センター					
重点指標	11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 12 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
ねらい	(1) 知的障害についての基礎的知識を習得する。 (2) 障害特性に応じた適切な指導・支援について理解する。							
内容	①	講義	自立活動 障害に応じた教育課程の編成					
		講師	奈良学園大学 准教授 岡野 由美子					
	②	発表 演習・協議	知的障害教育の基礎 知的障害教育の具体的実践 自立活動の指導					
③	協議	障害特性の理解及び適切な指導・支援						
	講義	知的障害教育の実践と課題						
	講師	関西学院大学 教授 菅原 伸康						
備考	○ 対象者：令和6年度に初めて知的障害特別支援学級を担当する教員。但し自閉症・情緒障害特別支援学級担当講座の受講経験がある場合は所属長の判断による。また、過去に当講座を受講した者及び特別支援学校（知的障害児童生徒の指導）での勤務経験がある教員は除く。 ○ 3回継続して受講してください。 ○ ③の時に、実践レポートを提出してください。様式等詳細は「教職員研修管理システム」にて連絡します。 【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

担当者等研修

講座番号 II 1404 肢体不自由特別支援学級担当講座			対象					
			幼	小	中	高	特	職種
日程 [3 日]			会場					
① 令和6年4月30日(火)～5月17日(金)			VODによる実施					
② 令和6年5月17日(金)			県立総合教育センター					
③ 令和6年7月31日(水)			県立総合教育センター					
重点指標	11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 12 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
ねらい	(1) 肢体不自由についての基礎的知識を習得する。 (2) 障害特性に応じた適切な指導・支援について理解する。							
内容	①	講義	自立活動 障害に応じた教育課程の編成					
		講師	奈良学園大学 准教授 岡野 由美子					
	②	発表 演習・協議	肢体不自由教育の基礎 肢体不自由教育の具体的実践 自立活動の指導					
③	協議	障害特性の理解及び適切な指導・支援						
	講義	肢体不自由教育の実践と課題						
	講師	兵庫教育大学大学院 教授 石倉 健二						
備考	○ 対象者：令和6年度に初めて肢体不自由特別支援学級を担当する教員。特別支援学校（肢体不自由児童生徒の指導）での勤務経験のある教員は除く。 ○ 3回継続して受講してください。 ○ ③の時に、実践レポートを提出してください。様式等詳細は「教職員研修管理システム」にて連絡します。 【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

講座番号 II 1405 病弱特別支援学級担当講座			対象						
			幼	小	中	高	特	職種	教科
			○	○				教員	備考参照
日程 [3 日]			会場						
① 令和6年4月30日(火)～5月17日(金)			VODによる実施						
② 令和6年5月23日(木)			県立総合教育センター						
③ 令和6年7月22日(月)			県立総合教育センター						
重点指標	11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 12 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。								
ねらい	(1) 病弱についての基礎的知識を習得する。 (2) 障害特性に応じた適切な指導・支援について理解する。								
内容	①	講義	自立活動 障害に応じた教育課程の編成						
		講師	奈良学園大学 准教授 岡野 由美子						
	②	発表 演習・協議	病弱教育の基礎 病弱教育の具体的実践 自立活動の指導						
③	協議	障害特性の理解及び適切な指導・支援							
	講義	病弱教育の実践と課題							
	講師	大阪教育大学 准教授 平賀 健太郎							
備考	○ 対象者：令和6年度に初めて病弱特別支援学級を担当する教員。特別支援学校（病弱児童生徒の指導）での勤務経験がある教員は除く。 ○ 3回継続して受講してください。 ○ ③の時に、実践レポートを提出してください。様式等詳細は「教職員研修管理システム」にて連絡します。 【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449								

講座番号 II 1406 (小) 自閉症・情緒障害特別支援学級担当講座			対象						
			幼	小	中	高	特	職種	教科
			○					教員	備考参照
日程 [3 日]			会場						
① 令和6年4月30日(火)～5月17日(金)			VODによる実施						
② 令和6年5月20日(月)			県立総合教育センター						
③ 令和6年8月2日(金)			県立総合教育センター						
重点指標	11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 12 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。								
ねらい	(1) 自閉症・情緒障害についての基礎的知識を習得する。 (2) 障害特性に応じた適切な指導・支援について理解する。								
内容	①	講義	自立活動 障害に応じた教育課程の編成						
		講師	奈良学園大学 准教授 岡野 由美子						
	②	発表 演習・協議	自閉症・情緒障害教育の基礎 自閉症・情緒障害教育の具体的実践 自立活動の指導						
③	協議	障害特性の理解及び適切な指導・支援							
	講義	自閉症・情緒障害教育の実践と課題							
	講師	兵庫教育大学大学院 教授 井澤 信三							
備考	○ 対象者：令和6年度に初めて自閉症・情緒障害特別支援学級を担当する教員。但し、知的障害特別支援学級担当講座の受講経験がある場合は所属長の判断による。また、過去に当講座を受講した者及び特別支援学校（知的障害児童生徒の指導）での勤務経験がある教員は除く。 ○ 3回継続して受講してください。 ○ ③の時に、実践レポートを提出してください。様式等詳細は「教職員研修管理システム」にて連絡します。 【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449								

講座番号 II 1407 (中) 自閉症・情緒障害特別支援学級担当講座		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
				○			教員	備考参照
日程 [3 日]		会場						
① 令和6年4月30日(火)～5月17日(金)		VODによる実施						
② 令和6年5月27日(月)		県立総合教育センター						
③ 令和6年8月9日(金)		県立総合教育センター						
重点指標	11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 12 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
ねらい	(1) 自閉症・情緒障害についての基礎的知識を習得する。 (2) 障害特性に応じた適切な指導・支援について理解する。							
内容	①	講義	自立活動 障害に応じた教育課程の編成					
		講師	奈良学園大学 准教授 岡野 由美子					
	②	発表 演習・協議	自閉症・情緒障害教育の基礎 自閉症・情緒障害教育の具体的実践 自立活動の指導					
備考	③	協議 講義	障害特性の理解及び適切な指導・支援 自閉症・情緒障害教育の実践と課題					
		講師	兵庫教育大学大学院 教授 井澤 信三					
備考	○ 対象者：原則、令和6年度に初めて自閉症・情緒障害特別支援学級を担当する教員。但し、知的障害特別支援学級担当講座の受講経験がある場合は所属長の判断による。また、過去に当講座を受講した者及び特別支援学校（知的障害児童生徒の指導）での勤務経験がある教員は除く。 ○ 3回継続して受講してください。 ○ ③の時に、実践レポートを提出してください。様式等詳細は「教職員研修管理システム」にて連絡します。 【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

3 通級指導担当者研修

講座番号 II 1408 (小) 通級による指導講座		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
			○				教員	備考参照
日程 [2 日]		会場						
① 令和6年5月27日(月)～6月7日(金)		VODによる実施						
② 令和6年10月3日(木)		県立総合教育センター						
重点指標	6 幼小中高大の新たな接続・連携に伴う変化に対応し、さらなる充実をめざした取組を行うことができる。 11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 12 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。							
ねらい	(1) 通級による指導に関する基礎的な知識を習得する。 (2) 自立活動の指導の充実に向けて、個々の児童の実態に応じた指導方法について理解する。							
内容	①	講義	通級による指導の基礎					
		発表 講師	通級による指導の具体的実践 国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター 総括研究員 井上 秀和					
備考	②	協議 演習・協議	「通級による指導」における自立活動の実践 小・中・高等学校等の効果的な連携 自立活動の指導					
		講師	関西国際大学 教授 中尾 繁樹					
備考	○ 対象者：通級指導担当者（学校生活支援教員）のうち希望者 ○ 2回継続して受講してください。 【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

講座番号 II 1409 (中) 通級による指導講座			対象						
			幼	小	中	高	特	職種	教科
					○			教員	備考参照
日程 [2 日]			会場						
① 令和6年5月27日(月)～6月7日(金)			VODによる実施						
② 令和6年11月12日(火)			県立総合教育センター						
重点指標	6 幼小中高大の新たな接続・連携に伴う変化に対応し、さらなる充実をめざした取組を行うことができる。 11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 12 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。								
ねらい	(1) 通級による指導に関する基礎的な知識を習得する。 (2) 自立活動の指導の充実に向けて、個々の生徒の実態に応じた指導方法について理解する。								
内容	①	講義 発表	通級による指導の基礎 通級による指導の具体的実践						
		講師	国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター 総括研究員 井上 秀和						
内容	②	講義	「通級による指導」における自立活動の実際 小・中・高等学校等の効果的な連携 自立活動の指導						
		演習・協議 講師	関西国際大学 教授 中尾 繁樹						
備考	○ 対象者：通級指導担当者（学校生活支援教員）のうち希望者 ○ 2回継続して受講してください。 【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449								

担当者等研修

講座番号 II 1410 (高) 通級による指導講座			対象						
			幼	小	中	高	特	職種	教科
						○	○	教員	備考参照
日程 [2 日]			会場						
① 令和6年5月27日(月)～6月7日(金)			VODによる実施						
② 令和7年2月4日(火)			県立総合教育センター						
重点指標	6 幼小中高大の新たな接続・連携に伴う変化に対応し、さらなる充実をめざした取組を行うことができる。 11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 12 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。								
ねらい	(1) 発達障害のある生徒の特性について理解する。 (2) 的確なアセスメントによる目標設定や自立活動の指導・支援の充実に向けた取組について理解する。 (3) 通級による指導の役割及び教職員の理解促進に向けた取組について理解する。								
内容	①	講義 発表	通級による指導の基礎 通級による指導の具体的実践						
		講師	国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター 総括研究員 井上 秀和						
内容	②	講義	通級による指導の役割と教職員の理解促進 校内支援体制の充実に向けて 小・中・高等学校等の効果的な連携 自立活動の指導について						
		演習・協議 講師	三重大学 教授 石川 照子						
備考	○ 対象者：高等学校通級指導担当者及び協力校特別支援学校担当者（各校から必ず1名受講）、高等学校教員及び特別支援学校教育のうち希望者 ○ 2回継続して受講してください。 【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449								

4 リーダー研修

講座番号 II1411 (小中) 次世代コーディネーター育成講座			対象					
			幼	小	中	高	特	職種
			○	○			教員	備考参照
日程 [2 日]			会場					
① 令和6年6月10日(月)～6月21日(金)			VODによる実施					
② 令和7年1月22日(水)			県立総合教育センター					
重点指標	6 幼小中高大の新たな接続・連携に伴う変化に対応し、さらなる充実をめざした取組を行うことができる。 11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 12 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。							
ねらい	(1) 特別支援教育の充実に向けた組織的な校内支援体制の整備と機能について理解を深める。 (2) 発達障害のある児童生徒の特性と困難さを踏まえた学級づくり、授業づくり及び指導上の工夫について理解する。							
内容	①	講義	特別支援教育コーディネーター・エリアコーディネーターの役割と連携の在り方					
		講義	集団の中での個への支援					
		講師	兵庫教育大学大学院 教授 宇野 宏幸 大阪樟蔭女子大学 准教授 田中 善大					
	②	発表	特別支援教育コーディネーターの取組					
		演習・協議	各地域・学校における取組					
備考	○ 各市町組合教育長から推薦された、小学校における特別支援教育コーディネーター等（各市町組合から1名） ○ 各市町組合教育長から推薦された、中学校における特別支援教育コーディネーター等（各市町組合から1名） ○ 原則昨年度の受講者ではない者。 ○ 2回継続して受講してください。 【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

担当者等研修

講座番号 II1412 (高) 次世代コーディネーター育成講座			対象					
			幼	小	中	高	特	職種
						○	教員	備考参照
日程 [2 日]			会場					
① 令和6年6月10日(月)～6月21日(金)			VODによる実施					
② 令和6年12月6日(金)			県立総合教育センター					
重点指標	10 インクルーシブ教育システムの理念を理解し、全ての児童生徒等に分かりやすいユニバーサルな授業づくりや互いに認め支え合う集団づくりができる。 11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 12 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。							
ねらい	(1) 特別支援教育の充実に向けた組織的な校内支援体制の整備と機能について理解する。 (2) 中高連携による切れ目ない支援の充実と、生徒の障害の状態等に応じた指導の工夫について理解する。							
内容	①	講義	特別支援教育コーディネーター・エリアコーディネーターの役割と連携の在り方					
		講義	集団の中での個への支援					
		講師	兵庫教育大学大学院 教授 宇野 宏幸 大阪樟蔭女子大学 准教授 田中 善大					
	②	講義	特別支援教育コーディネーターの役割					
		協議	特別支援教育コーディネーターの実際					
		講師	兵庫教育大学大学院 教授 岡村 章司					
備考	○ 高等学校の特別支援教育コーディネーター等（各高等学校から必ず1名受講してください。原則昨年度の受講者ではない者。） ○ 2回継続して受講してください。 【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

講座番号 II1413 (特) 次世代コーディネーター育成講座		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
						○	教員	備考参照
日程 [2 日]		会場						
① 令和6年6月10日(月)～6月21日(金)		VODによる実施						
② 令和7年1月31日(金)		県立総合教育センター						
重点指標	6 幼小中高大の新たな接続・連携に伴う変化に対応し、さらなる充実をめざした取組を行うことができる。 11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 12 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別的教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。							
ねらい	(1) 特別支援教育コーディネーターとして必要な知識・技能の向上を図る。 (2) 小・中・高等学校等地域の学校・関係機関等の連携に必要な知識・技能の向上を図る。							
内容	①	講義	特別支援教育コーディネーター・エリアコーディネーターの役割と連携の在り方					
		演習・協議	集団の中での個への支援					
		講師	兵庫教育大学大学院 教授 宇野 宏幸 大阪樟蔭女子大学 准教授 田中 善大					
	②	講義	地域支援の具体的実践					
		演習・協議	地域支援の課題の把握と解決に向けて					
		講師	兵庫教育大学大学院 教授 宇野 宏幸					
備考	○ 各校1名管理職の推薦により必ず受講願います。(県内の特別支援学校に勤務している者、昨年度の受講者ではない者、自立活動リーダー育成講座の受講者と重ならない者) 2名以上受講希望のある学校は申込前に問い合せてください。 ○ 2回継続して受講してください。 ○ 第2回研修に向けて事前に実践レポートを提出してください。様式等詳細は「教職員研修管理システム」にて連絡します。 【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

講座番号 II1414 (特) 自立活動リーダー育成講座		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
						○	教員	備考参照
日程 [2 日]		会場						
① 令和6年6月14日(金)		県立総合教育センター						
② 令和6年7月30日(火)		県立総合教育センター						
重点指標	11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
ねらい	(1) 校内における自立活動のリーダーとして必要な知識・技能の向上を図る。 (2) 幼児児童生徒の実態に応じた特別的教育課程とその編成のポイントについて理解する。 (3) 自立活動の指導の充実と個別の指導計画の作成・活用について理解を深める。							
内容	①	講義	特別支援学校における自立活動					
		演習・協議	個に応じた自立活動の指導目標と具体的な指導内容の設定 学習指導要領を踏まえた自立活動の指導の充実					
	②	発表	特別支援学校での自立活動の実践					
		協議	自立活動の指導に関する自身の取組					
		講師	兵庫教育大学大学院 教授 井澤 信三					
備考	○ 各校1名管理職の推薦により必ず受講願います。(県内の特別支援学校に勤務している者、次世代コーディネーター育成講座の受講者と重ならない者) ○ 2回継続して受講してください。 ○ 第2回研修に向けて事前に実践レポートを提出してください。様式等詳細は「教職員研修管理システム」にて連絡します。 【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

6 選択研修（校内リーダー養成研修）

1 危機管理

講座番号 ⅢA1101		対象						
学校における危機管理講座 －学校事故等への対応を通して－		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○			○	教職員	—
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年7月17日（水）				県立総合教育センター				
重点指標	37 校内における自分の役割を認識し、校務分掌を的確かつ効率的に遂行できる。 39 学校の危機管理マニュアルを理解し、事件や事故、トラブルに適切に対応することができる。 43 適切な言動を心がけ、児童生徒や保護者等からの信頼確保に努めている。							
ねらい	(1) 学校安全のための危機管理の在り方について理解する。 (2) 危機管理意識を高めるとともに、学校事故等への適切な対応について理解する。							
内 容	講 義	学校における危機管理と危機対応 －学校事故等の事例から－						
	演 習	学校内外における事故等への対応 ・自校の危機の予測 ・教職員による学校安全のための適切な対応 ・児童生徒が事故や被害にあわないために						
	講 師	尼崎駅前法律事務所 弁護士 曾我 智史						
備 考	【問合せ】 義務教育研修課 0795-42-3102							

選
択
研
修

2 学校組織マネジメント

講座番号 ⅢB1201		対象						
教育経営講座A －これからの時代に向けた学校経営－		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○	○	教員	—
日 程 [2 日]				会 場				
① 令和6年6月3日（月）				県立総合教育センター				
② 令和6年7月12日（金）				県立総合教育センター				
重点指標	34 豊富な知識や経験を基に、若手教員に対し個性や特性に応じて支援するとともに、同僚と協働して学校の課題に取り組むことができる。 36 学校教育目標の達成に向け、主体的、積極的に学校運営に参画することができる。 39 学校の危機管理マニュアルを理解し、事件や事故、トラブルに適切に対応することができる。							
ねらい	(1) これからの時代に向けた学校経営に必要な取組について理解する。 (2) 法規を踏まえた学校経営の在り方について理解する。							
内 容	①	講 義 講義・演習	学校経営の魅力とは これからの時代に向けた学校づくり ・教育法規を踏まえた学校経営					
	②	講 義 講 義 演習・協議	コンプライアンスを意識した学校経営 法規に基づく危機対応 教育法規から学ぶ危機管理					
		講 師	ひめじ城下町法律事務所 弁護士 竹内 彰					
備 考	○ 2回継続して受講してください。 ○ 教育経営講座Bと併せて受講することを推奨します。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

講座番号 ⅢB1202		教育経営講座B —企業に学ぶ学校経営—					対象	
		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○	○	教員	—
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年10月18日(金)				県立総合教育センター				
重点指標	34 豊富な知識や経験を基に、若手教員に対し個性や特性に応じて支援するとともに、同僚と協働して学校の課題に取り組むことができる。							
	36 学校教育目標の達成に向け、主体的、積極的に学校運営に参画することができる。							
	45 日々の実践等を振り返り、主体的に自らの教育活動の工夫・改善に努めている。							
ねらい	(1) 企業の取組を基に、学校運営の在り方について考える。 (2) 自校の強みを生かした魅力・特色ある学校づくりに必要な取組について理解する。							
内 容	講 義	経営の魅力について —企業経営に学ぶ—						
	演習・協議	自校の強みを生かした魅力・特色ある学校づくりに向けて						
	講 師	株式会社 ダイイチ 会長 宮永 英孝						
備 考	○ 株式会社ダイイチは創業144年のそろばん製造販売業者です。伝統的な播州そろばんだけでなく、そろばんの素材を生かした商品開発や海外へのそろばん普及など、常に新しいことに取り組んでいます。							
	○ 教育経営講座Aと併せて受講することを推奨します。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

講座番号 ⅢB1203		学校組織活性化における教員の在り方講座 —課題を発見し解決していくミドルリーダーをめざして—					対象	
		幼	小	中	高	特	職種	教科
			○	○	○	○	教職員	—
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年7月24日(水)				県立総合教育センター				
重点指標	34 豊富な知識や経験を基に、若手教員に対し個性や特性に応じて支援するとともに、同僚と協働して学校の課題に取り組むことができる。							
	36 学校教育目標の達成に向け、主体的、積極的に学校運営に参画することができる。							
	37 校内における自分の役割を認識し、校務分掌を的確かつ効率的に遂行できる。							
ねらい	(1) 学校が抱える課題を主体的に受け止め、解決を図るミドルリーダーの在り方について理解する。 (2) 学校組織を活性化するミドルリーダーの具体的な取組について理解する。							
内 容	講 義	諸課題を主体的に受け止めて解決を図るミドルリーダーをめざして —ミドルリーダーとしての実践力・応用力を高めるために—						
	演習・協議	学校組織を活性化するミドルリーダーの具体的な取組						
	講 師	愛媛大学大学院 教授 露口 健司						
備 考	【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

選択研修（専門研修）

1 教科指導

講座番号 ⅢC1101		(小) 国語科授業実践講座 －「読むこと」の授業づくり－					対象	
							幼	小
			○			○	教員	—
日 程 [1 日]		会 場						
令和6年9月13日（金）		県立総合教育センター						
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
	20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。							
ねらい	(1) 国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する授業の在り方について理解する。							
	(2) 文章の構成や叙述に基づいて、精査・解釈し、自分の考えを形成する学習過程を意識した授業づくりについて理解する。							
内 容	講 義	国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力の育成に向けた「読むこと」の指導と評価						
	発表・協議 演 習	言葉による見方・考え方を働かせる授業実践 「説明的な文章」における授業の在り方 ・目的や意図に応じ、中心となる語や文を見付けて、それらを用いて内容をまとめる学習過程の工夫						
	講 師	兵庫教育大学大学院 教授 吉川 芳則						
備 考	【問合せ】 義務教育研修課 0795-42-3102							

選
択
研
修

講座番号 ⅢC1102		(小) 社会科授業実践講座 －「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」の授業づくり－					対象	
							幼	小
			○			○	教員	—
日 程 [1 日]		会 場						
令和6年11月21日（木）		県立総合教育センター						
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
	20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。							
ねらい	(1) 社会的な見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動の充実をめざした授業の在り方について理解する。							
	(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力を育成する学習活動の充実と学習評価の在り方について理解する。							
内 容	講 義	社会的事象を多面的・多角的に考察する力の育成に向けた指導と評価の充実						
	発表 演 習	社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力の育成をめざした授業実践 －「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」の授業づくり－ 社会的な見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究したり解決したりする活動の充実をめざした授業づくり ・情報を比較・関連付け、分類・整理し、考えを深める指導方法の工夫						
	講 師	兵庫教育大学 副学長 吉水 裕也						
備 考	○ 講義については、（中）社会科授業実践講座と合同で実施します。 【問合せ】 義務教育研修課 0795-42-3102							

講座番号 ⅢC1103		(小) 算数科授業実践講座						
— 「図形」領域に関する系統性を踏まえた指導の充実 —		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
			○			○	教員	—
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年9月3日(火)				県立総合教育センター				
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
	20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。							
ねらい	(1) 数学的に考える資質・能力を育成するための授業の在り方について理解する。 (2) 系統性を踏まえたつまずきへの手立ての在り方について理解する。							
内 容	講 義	一人一人の児童の数学的な見方・考え方を育む授業						
	演 習	系統性を踏まえたつまずきの解消をめざす授業づくり — 図形の構成要素に着目して —						
	講 師	神戸大学大学院 教授 岡部 恭幸						
備 考	【問合せ】 義務教育研修課 0795-42-3102							

講座番号 ⅢC1104		(小) 理科授業実践講座						
— 「エネルギー」を柱とする領域の授業づくり —		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
			○			○	教員	—
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年11月14日(木)				県立総合教育センター				
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
	20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。							
ねらい	(1) 問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する学習活動の充実と学習評価の在り方について理解する。 (2) 日常生活とのつながりを意識させる授業改善について理解する。							
内 容	講 義	主体的に探究する学習活動の工夫 — 科学的に探究する力を育成する学習活動の充実と学習評価の在り方 —						
	演 習	理科の見方・考え方を働かせ、問題を科学的に解決する授業づくり — 「エネルギー」領域を柱として — ・主体的に問題解決に取り組むための導入の工夫 ・観察や実験を通して、問題解決の過程を振り返る学習の手立て						
	講 師	兵庫教育大学大学院 教授 山本 智一						
備 考	○ 講義については、(中)理科授業実践講座と合同で実施します。 【問合せ】 義務教育研修課 0795-42-3102							

講座番号 ⅢC1105		(小) 外国語授業実践講座						
—「話すこと(やり取り)」の言語活動を通して—		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
			○			○	教員	—
日程 [1 日]				会場				
令和6年11月25日(月)				県立総合教育センター				
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
	20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。							
ねらい	(1) コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成に向けた言語活動の工夫について理解する。 (2) 指導と評価の一体化に向けた授業づくりについて理解する。							
内容	講義	コミュニケーションを図る資質・能力の育成に向けて ・指導と評価の一体化に向けた授業づくり ・小中の学びのつながりを意識した指導の工夫						
	発表 演習	児童が主体的に考えや気持ちを伝え合う力を育む授業実践 言語活動の充実に向けた授業づくり ・児童が話したくなる目的や場面、状況の設定						
	講師	関西大学 教授 竹内 理						
備考	○ 講義については、(中) 英語科授業実践講座と合同で実施します。 【問合せ】 義務教育研修課 0795-42-3102							

講座番号 ⅢC1106		(中) 国語科授業実践講座						
—「読むこと」の授業づくり—		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
				○		○	教員	国語
日程 [1 日]				会場				
令和6年12月5日(木)				県立総合教育センター				
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
	20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。							
ねらい	(1) 国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する授業の在り方について理解する。 (2) 文章の構成や叙述に基づいて、精査・解釈し、自分の考えを形成する学習過程を意識した授業づくりについて理解する。							
内容	講義 発表・協議 演習	国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力の育成に向けた「読むこと」の指導と評価 言葉による見方・考え方を働かせる授業実践 「説明的な文章」における授業の在り方 ・目的や意図に応じ、複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、それらを用いて内容をまとめる学習過程の工夫						
	講師	岡山大学 教授 宮本 浩治						
	備考	【問合せ】 義務教育研修課 0795-42-3102						

講座番号 III1107		対象						
(中) 社会科授業実践講座 －「地理的分野」の授業づくり－		幼	小	中	高	特	職種	教科
				○		○	教員	社会
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年11月21日(木)				県立総合教育センター				
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
ねらい	20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。							
	(1) 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動の充実をめざした授業の在り方について理解する。 (2) 社会的事象を多面的・多角的に考察するために必要な資質・能力を育成する学習活動の充実と学習評価の在り方について理解する。							
内 容	講 義	社会的事象を多面的・多角的に考察する力の育成に向けた指導と評価の充実						
	演 習	社会的事象の特色や相互の関連、意味を多面的・多角的に考える力の育成をめざした授業実践 －「地理的分野」の授業づくり－ 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動の充実をめざした授業づくり ・情報を比較・関連付け、分類・整理し、考えを深める指導方法の工夫						
備 考	講 師	兵庫教育大学 副学長 吉水 裕也						
○ 講義については、(小)社会科授業実践講座と合同で実施します。 【問合せ】 義務教育研修課 0795-42-3102								

講座番号 III1108		対象						
(中) 数学科授業実践講座 －「関数」領域の授業づくり－		幼	小	中	高	特	職種	教科
				○		○	教員	数学
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年12月6日(金)				県立総合教育センター				
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
ねらい	20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。							
	(1) 表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現する授業づくりについて理解する。 (2) 数学的に考える資質・能力を育むための指導方法について理解する。							
内 容	講 義	数学的活動を通じた主体的・対話的で深い学び						
	演 習	表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現する力を育む授業づくり						
備 考	講 師	京都女子大学 教授 坂井 武司						
【問合せ】 義務教育研修課 0795-42-3102								

講座番号 III1109		(中) 理科授業実践講座 －「エネルギー」を柱とする領域の授業づくり－						
		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
				○		○	教員	理科
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年11月14日(木)				県立総合教育センター				
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
	20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。							
ねらい	(1) 自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する学習活動の充実と学習評価の在り方について理解する。							
	(2) 日常生活とのつながりを意識させる授業改善について理解する。							
内 容	講 義	主体的に探究する学習活動の工夫 －科学的に探究する力を育成する学習活動の充実と学習評価の在り方－						
	演 習	理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究する授業づくり －「エネルギー」領域を柱として－ ・主体的に探究するための導入の工夫 ・観察や実験を通して、探究の過程を振り返る学習の手立て						
	講 師	兵庫教育大学大学院 教授 山本 智一						
備 考	○ 講義については、(小) 理科授業実践講座と合同で実施します。 【問合せ】 義務教育研修課 0795-42-3102							

講座番号 III1110		(中) 英語科授業実践講座 －「話すこと(やり取り)」の言語活動を通して－						
		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
				○		○	教員	英語
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年11月25日(月)				県立総合教育センター				
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
	20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。							
ねらい	(1) コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成に向けた言語活動の工夫について理解する。							
	(2) 指導と評価の一体化に向けた授業づくりについて理解する。							
内 容	講 義	コミュニケーションを図る資質・能力の育成に向けて ・指導と評価の一体化に向けた授業づくり ・小中の学びのつながりを意識した指導の工夫						
	発 表 演 習	生徒が主体的に伝え合う力を育む授業実践 言語活動の充実に向けた授業づくり ・生徒が話したくなる目的や場面、状況の設定						
	講 師	関西大学 教授 竹内 理						
備 考	○ 講義については、(小) 外国語授業実践講座と合同で実施します。 【問合せ】 義務教育研修課 0795-42-3102							

講座番号 III C1111		(小中) 音楽科授業実践講座						
—「表現」領域の授業づくり—		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
			○	○		○	教員	—
日 程 [1 日]				会 場				
a 令和6年10月24日(木)				県立総合教育センター				
b 令和6年11月12日(火)				県立総合教育センター				
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
ねらい	(1) 生活や社会の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための授業の在り方について理解する。 (2) 音楽的な見方・考え方を働かせた学習活動の在り方について理解する。							
内 容	講 義	生活や社会の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力の育成をめざして —音楽的な見方・考え方を働かせる授業づくり—						
	演 習	知覚したことと感受したことを支えとして、表したい音楽について考えるための指導の工夫						
	講 師	大阪教育大学 准教授 兼平 佳枝						
備 考	○ a、bは同じ内容ですので、いずれか一つを選んで受講してください。 【問合せ】 義務教育研修課 0795-42-3102							

講座番号 III C1112		(小中) 図画工作科・美術科授業実践講座						
—表現と鑑賞を関連付けた授業づくり—		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
			○	○		○	教員	—
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年10月10日(木)				県立総合教育センター				
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。 20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。							
ねらい	(1) 造形的な見方・考え方を深める表現と鑑賞を関連付けた指導方法について理解する。 (2) 対象や事象に働きかけ、児童生徒が自ら主題を生み出す授業づくりについて理解する。							
内 容	講 義	造形的な見方・考え方を働かせる授業づくり						
	発 表	対象や事象に働きかけ、児童生徒が自ら主題を生み出す授業実践						
	演 習	造形的な見方・考え方を深める表現と鑑賞を関連付けた授業づくり —一人一人が豊かに感じたり、表現したりする学習活動の充実に向けて— (小) 児童が自ら材料や場所に働きかける造形遊び (中) 感じ取ったことや考えたこと等を基に表現する活動						
	講 師	鳴門教育大学大学院 教授 山田 芳明						
備 考	【問合せ】 義務教育研修課 0795-42-3102							

講座番号 ⅢC1113		対象						
(小中) 体育科・保健体育科授業実践講座 －「ボール運動系」領域の授業づくり－		幼	小	中	高	特	職種	教科
			○	○		○	教員	—
日 程 [1 日]		会 場						
a 令和6年7月17日(水)		県立総合教育センター						
b 令和6年9月4日(水)		県立総合教育センター						
重点指標	<p>14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。</p> <p>19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。</p> <p>20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。</p>							
ねらい	<p>(1) 生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する基礎を培うことを重視し、体力や技能の程度、年齢や性別及び障害の有無等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有できる授業づくりについて理解する。</p> <p>(2) 自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を育成する指導方法について理解する。</p> <p>(3) 効果的にタブレット端末を活用した「ボール運動系」領域の指導方法について理解する。</p>							
内 容	講 義	豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する授業づくり －課題を見付け、その解決に向けた学習過程－						
	発 表 実習・協議	発達の段階を踏まえ、系統性を意識した「ボール運動系」領域の授業実践 児童生徒が、自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するための授業づくり						
	講 師	兵庫教育大学大学院 教授 筒井 茂喜						
備 考	<p>○ a、bは同じ内容ですので、いずれか一つを選んで受講してください。</p> <p>【問合せ】 義務教育研修課 0795-42-3102</p>							

講座番号 ⅢC1114		対象						
(小中) 「特別の教科 道徳」授業実践講座 －考える楽しさを創る授業づくり－		幼	小	中	高	特	職種	教科
			○	○		○	教員	—
日 程 [1 日]		会 場						
a 令和6年7月10日(水)		県立総合教育センター						
b 令和6年12月2日(月)		県立総合教育センター						
重点指標	<p>8 教科書及び「兵庫版道徳教育副読本」等を用いて、他者や自己との「対話」により、自己の生き方や人間としての生き方についてさらに考えを深める道徳の授業を実践できる。【小・中】</p> <p>19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。</p> <p>20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。</p>							
ねらい	<p>(1) 対話的な学びをめざす「特別の教科 道徳」の授業づくりについて理解する。</p> <p>(2) 「特別の教科 道徳」の授業改善につながる評価の在り方について理解する。</p>							
内 容	講 義	考える楽しさを創る「特別の教科 道徳」の授業をめざして －対話的な学びを通して児童生徒が感銘を受けるとは－						
	発 表 協 議 演 習	考える楽しさを創る「特別の教科 道徳」の授業実践 「特別の教科 道徳」における授業改善につながる評価の在り方						
	講 師	兵庫教育大学大学院 教授 谷田 増幸						
備 考	<p>○ a、bは同じ内容ですので、いずれか一つを選んで受講してください。</p> <p>【問合せ】 義務教育研修課 0795-42-3102</p>							

講座番号 ⅢC1201		（高）国語科教育講座						
一生徒が主体的に「読むこと」をめざした授業づくり		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○	○	教員	国語
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年7月12日（金）				県立総合教育センター				
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
	21 児童生徒や地域の実態に応じた教材を開発するなど、効果的な教科カリキュラムを編成することができる。							
ねらい	(1) 学習指導要領で求められている「読むこと」の授業づくりについて理解する。 (2) 生徒が主体的に古典を読み深めるための言語活動の工夫について理解する。							
内 容	講 義	「読むこと」の授業を問い直す －いま求められている「読むこと」の授業とは－ 生徒が主体的に古典を読み深めるための授業づくり ・言語活動の充実						
	演習・協議							
	講 師	岡山大学 教授 宮本 浩治						
備 考	○ 高校教員のうち、5年次相当研修対象者は、本講座を必ず受講してください。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

講座番号 ⅢC1202		（高）地理歴史科・公民科教育講座A						
－「問い」を中心に構成する授業づくり－		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○	○	教員	地歴・公民
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年9月24日（火）				県立総合教育センター				
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
	21 児童生徒や地域の実態に応じた教材を開発するなど、効果的な教科カリキュラムを編成することができる。							
ねらい	(1) 「問い」を設定し、その解決に向けて構想する授業づくりについて理解する。 (2) 社会的な見方・考え方を働かせ、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連等を考察する方法について理解する。							
内 容	講 義	「問い」を中心に構成する学習の展開 －「問い」を生かした授業づくりの理論と方法－ 探究的な授業を考える －「問い」を中心に構造化した授業づくり－						
	演習・協議							
	講 師	兵庫教育大学 名誉教授 原田 智仁						
備 考	○ 高校教員のうち、5年次相当研修対象者は、本講座または(高)地理歴史科・公民科教育講座Bのいずれかを必ず受講してください。(高)地理歴史科・公民科教育講座A・Bの両方を受けることも可能です。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

講座番号 ⅢC1203		(高)地理歴史科・公民科教育講座B —社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせる「地理総合」の授業づくり—						
		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○	○	教員	地歴・公民
日程 [1 日]				会場				
令和6年10月4日(金)				県立総合教育センター				
重点指標	14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
ねらい	(1) 学習指導要領における「地理総合」の目標や内容を踏まえた指導方法について理解する。 (2) 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせる授業づくりの視点について理解する。							
内容	講義	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせる授業づくり ・「地理総合」の授業におけるGISの効果的な活用						
	演習・協議	「地理総合」における思考力、判断力、表現力等の育成						
	講師	奈良大学 教授 木村 圭司						
備考	○ 高校教員のうち、5年次相当研修対象者は、本講座または(高)地理歴史科・公民科教育講座Aのいずれかを必ず受講してください。(高)地理歴史科・公民科教育講座A・Bの両方を受講することも可能です。 ○ 初めて「地理総合」「地理探究」の授業を担当する方には、特に受講を推奨します。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

講座番号 ⅢC1204		(高)数学科教育講座 —論理的な思考力・批判的な思考力の育成をめざして—						
		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○	○	教員	数学
日程 [1 日]				会場				
令和6年9月30日(月)				県立総合教育センター				
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。 20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。							
ねらい	(1) 数学的な思考力・判断力・表現力等を育成する授業づくりの視点と、その評価の在り方について理解する。 (2) 指導と評価の一体化に向けた授業づくりについて理解する。							
内容	講義	数学科における論理的な思考力・批判的な思考力の育成に向けて						
	演習・協議	論理的な思考力・批判的な思考力の育成に向けた指導と評価の一体化						
	講師	筑波大学大学院 教授 清水 美憲						
備考	○ 高校教員のうち、5年次相当研修対象者は、本講座を必ず受講してください。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

講座番号 III C1205		（高）理科教育講座						
－探究の過程を踏まえた観察、実験の授業づくり－		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○	○	教員	理科
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年8月29日（木）				県立総合教育センター				
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
	21 児童生徒や地域の実態に応じた教材を開発するなど、効果的な教科カリキュラムを編成することができる。							
ねらい	(1) 科学的に探究するために必要な資質・能力の育成に向けた授業の在り方について理解する。 (2) 探究の過程を踏まえた観察、実験の授業づくりの視点について理解する。							
内 容	講 義	科学的に探究するために必要な資質・能力の育成						
	演習・協議	探究の過程を踏まえた授業づくり ・観察、実験を中心とした授業プランの作成						
	講 師	京都教育大学 名誉教授 村上 忠幸						
備 考	○ 高校教員のうち、5年次相当研修対象者は、本講座を必ず受講してください。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

講座番号 III C1206		（高）英語科教育講座						
－外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力を高める授業づくり－		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○	○	教員	英語
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年10月25日（金）				県立総合教育センター				
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
	20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。							
ねらい	(1) 外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力を育成する授業の在り方について理解する。 (2) 生徒のコミュニケーションを図る資質・能力の育成に向けた指導方法について理解する。							
内 容	講 義	外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力の育成						
	演習・協議	－統合的な言語活動を通して－ 情報や考えなどを適切に表現するための統合的な言語活動の充実						
	講 師	関西大学大学院 教授 竹内 理						
備 考	○ 高校教員のうち、5年次相当研修対象者は、本講座を必ず受講してください。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

講座番号 ⅢC1207		対象						
(高) 保健体育科教育講座 －生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するために－		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○	○	教員	保体
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年10月11日(金)				県立総合教育センター				
重点指標	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
	20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。							
	21 児童生徒や地域の実態に応じた教材を開発するなど、効果的な教科カリキュラムを編成することができる。							
ねらい	(1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた保健体育科の授業の在り方について理解する。 (2) 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための授業づくりについて理解する。							
内 容	講 義	学習指導要領の趣旨を踏まえた保健体育科の授業のポイント						
	演 習	計画的、継続的に運動やスポーツを実践する資質・能力を育成する授業づくり ・主体的に体力の向上を図る態度の育成 ・発達の段階を踏まえた指導 ・安全に配慮した指導						
備 考	○ 高校教員のうち、5年次相当研修対象者は、本講座を必ず受講してください。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

講座番号 ⅢC1208		対象						
(高) 芸術科（音楽）教育講座 －主体的・協働的に音楽に関わる態度を養う授業づくり－		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○	○	教員	芸術(音楽)
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年7月26日(金)				県立総合教育センター				
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
	21 児童生徒や地域の実態に応じた教材を開発するなど、効果的な教科カリキュラムを編成することができる。							
ねらい	(1) 音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽と関わる力を育成する音楽の指導方法について理解する。 (2) 学習意欲を高め、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む授業づくりの工夫について理解する。							
内 容	講 義	生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と関わる力を育成する音楽の指導方法						
	演習・協議	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組む態度を養う音楽科授業づくりの工夫						
	講 師	元大阪音楽大学 教授 園田 葉子						
備 考	○ 高校教員のうち、2年次研修、3年次研修、5年次相当研修及び中堅教諭等資質向上研修対象者は、本講座を必ず受講してください。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

講座番号 III1209		対象						
（高）芸術科（美術）教育講座 －表現の可能性を広げるためのICT活用を取り入れた授業づくり－		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○	○	教員	芸術（美術）
日程 [1 日]				会場				
令和6年8月9日（金）				県立総合教育センター				
重点指標	14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
ねらい	(1) 芸術科（美術）の指導における様々な場面に応じた効果的なICTの活用について理解する。 (2) 生徒一人一人の創造的に表現する力を育成する美術教育の在り方について理解する。							
内容	講義	生徒一人一人の創造的に表現する力を育成する美術教育について						
	発表	－ICTを活用した授業場面における表現方法の工夫－						
	演習・協議	授業におけるICT活用の実践事例について						
	講師	生徒が創造的に表現するためのICTの特性を生かした指導方法						
講師	大阪教育大学 准教授 渡邊 美香							
備考	○ 高校教員のうち、2年次研修、3年次研修、5年次相当研修及び中堅教諭等資質向上研修対象者は、本講座を必ず受講してください。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

講座番号 III1210		対象						
（高）芸術科（書道）教育講座 －妥当性・信頼性の高い学習評価の在り方－		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○	○	教員	芸術（書道）
日程 [1 日]				会場				
令和6年7月30日（火）				県立総合教育センター				
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。 20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。							
ねらい	(1) 創造的な活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせる授業づくりについて理解する。 (2) 指導と評価の一体化に向けた授業づくりについて理解する。							
内容	講義	書道の創造的な活動における指導と評価の一体化						
	演習・協議	妥当性・信頼性の高い学習評価のための工夫						
		－創造的な活動における適切な評価をめざして－						
講師	神戸松蔭女子学院大学 教授 小出水 博							
備考	○ 高校教員のうち、2年次研修、3年次研修、5年次相当研修及び中堅教諭等資質向上研修対象者は、本講座を必ず受講してください。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

講座番号 ⅢC1211		(中高)家庭科教育講座A －身近な生活から問題を見いだし解決する力を育む授業づくり－		対象					
				幼	小	中	高	特	職種
				○	○	○	○	教員	家庭
日程 [1 日]				会場					
令和6年7月31日(水)				県立総合教育センター					
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。 20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。								
ねらい	(1) 主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する授業の在り方について理解する。 (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだし解決する力を育む授業の在り方について理解する。								
内容	講義	主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力の育成に向けて							
	演習・協議	－持続可能な社会の構築につながる課題解決学習を通して－ 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだし解決する力を育む授業づくり							
備考	講師	茨城大学 教授 石島 恵美子							
備考	○ 高校教員のうち、2年次研修、3年次研修、5年次相当研修及び中堅教諭等資質向上研修対象者は、本講座を必ず受講してください。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103								

選択研修

講座番号 ⅢC1212		(中高)家庭科教育講座B －ICT活用指導力の向上をめざす－		対象					
				幼	小	中	高	特	職種
				○	○	○	○	教員	家庭
日程 [1 日]				会場					
令和6年8月9日(金)				県立総合教育センター					
重点指標	14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。								
ねらい	(1) 家庭科の指導における様々な場面に応じた効果的なICTの活用について理解する。 (2) 個別最適な学びや協働的な学びを実現するための1人1台端末の活用について理解する。								
内容	講義	家庭科における個別最適な学びや協働的な学びを実現するためのICTの活用							
	発表 演習・協議	家庭科の学習場面に応じた効果的なICTの活用 1人1台端末を用いた家庭科の授業実践							
備考	○ 高校教員のうち、高等学校中堅教諭等資質向上研修対象者は、本講座を必ず受講してください。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103								

講座番号 III C1213		対象						
(高) 情報科教育講座 A －「情報 I」(プログラミング)の授業の充実－		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○	○	教職員	備考参照
日程 [1 日]				会場				
令和 6 年 6 月 27 日 (木)				県立総合教育センター				
重点指標	13 Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。							
ねらい	(1) アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータ等を活用する方法を習得する。 (2) 事象についてモデル化されたものをシミュレーションを通し、考察し改善する方法について理解する。							
内容	演習	プログラムの考え方や読み解き方 ・アルゴリズムの表現 ・制御構造 ・配列、関数、WebAPIを用いたプログラム						
	演習	シミュレーションによる問題解決 ・モデルを数式で表現し、プログラミングを行う						
備考	○ 対象者：情報科教員または「情報 I」の代替科目を担当する教職員 ○ (高) 情報科教育講座 B、D と併せて受講することを推奨します。 ○ 本講座は、事前研修 (eラーニング) の受講を前提に実施します。必ず講座実施日の 1 週間前までに受講してください。 【問合せ】 情報教育研修課 0795-42-3104							

講座番号 III C1214		対象						
(高) 情報科教育講座 B －「情報 I」(情報デザイン、情報通信ネットワーク)の授業の充実－		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○	○	教職員	備考参照
日程 [1 日]				会場				
令和 6 年 7 月 11 日 (木)				県立総合教育センター				
重点指標	13 Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。							
ねらい	(1) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法について理解する。 (2) 情報通信ネットワークの仕組みや情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解する。							
内容	演習	情報デザイン ・情報をデザインすることの意味 ・デザインの一連の流れ (プロトタイプの作成)						
	演習	情報通信ネットワークの仕組みと情報セキュリティ ・実機を使ったネットワーク構築 ・パケット通信の流れ ・通信の暗号化 (暗号化の仕組み、無線LANの暗号化技術)						
備考	○ 対象者：情報科教員または「情報 I」の代替科目を担当する教職員 ○ (高) 情報科教育講座 A と併せて受講することを推奨します。 ○ 本講座は、事前研修 (eラーニング) の受講を前提に実施します。必ず講座実施日の 1 週間前までに受講してください。 【問合せ】 情報教育研修課 0795-42-3104							

講座番号 ⅢC1215		(高) 情報科教育講座 C					
- 共通教科情報科 (データの活用・データサイエンス) の授業の充実 -		対象					
		幼	小	中	高	特	職種
					○	○	教職員 備考参照
日 程 [1 日]				会 場			
令和 6 年10月24日 (木)				県立総合教育センター			
重点指標	13 Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。						
ねらい	(1) データを収集、整理、分析する一連のデータ処理の流れについて理解する。 (2) 問題の発見・解決にデータを活用する方法について理解する。						
内 容	講 義	共通教科「情報」におけるデータの活用・データサイエンス - 記述統計、推測統計を用いた分析 -					
	演 習	データの収集・整理 ・オープンデータの整形					
	演 習	データを活用した問題解決 (PPDAC)					
備 考	○ 対象者：情報科教員または「情報 I」の代替科目を担当する教職員 ○ 高校教員のうち、5 年次相当研修及び中堅教諭等資質向上研修対象者は、本講座を必ず受講してください。 ○ 本講座は、事前研修 (eラーニング) の受講を前提に実施します。必ず講座実施日の 1 週間前までに受講してください。 【問合せ】 情報教育研修課 0795-42-3104						

講座番号 ⅢC1216		(高) 情報科教育講座 D					
- プログラミングによるデータ分析 -		対象					
		幼	小	中	高	特	職種
					○	○	教職員 備考参照
日 程 [1 日]				会 場			
令和 6 年11月 7 日 (木)				県立総合教育センター			
重点指標	13 Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。						
ねらい	(1) プログラミングを活用し、データを処理し可視化することで、傾向や特性を理解する方法を習得する。 (2) 問題に応じてプログラミングで回帰、分類等の分析を行い、不確実な事象について予測する方法について理解する。						
内 容	演 習	プログラミングで行うデータの整形 ・Python等で分析に必要なデータの整形					
	演 習	問題解決のためのプログラミング ・回帰分析 ・データの分類 等					
備 考	○ 対象者：情報科教員または「情報 I」の代替科目を担当する教職員 ○ 高校教員のうち、2 年次研修及び中堅教諭等資質向上研修対象者は、本講座を必ず受講してください。 ○ 本講座は、事前研修 (eラーニング) の受講を前提に実施します。必ず講座実施日の 1 週間前までに受講してください。 【問合せ】 情報教育研修課 0795-42-3104						

講座番号 ⅢC1217 (高) 農業科・水産科教育講座A －農業の技術革新と高度化に対応した学習の充実に向けて－		対象					
		幼	小	中	高	特	職種
日程 [1 日]		会場					
令和6年8月9日(金)		県立農林水産技術総合センター、 県立農業大学校					
重点指標	17 学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 39 学校の危機管理マニュアルを理解し、事件や事故、トラブルに適切に対応することができる。						
ねらい	(1) 農業の技術革新と高度化に対応した授業の在り方について理解する。 (2) 農業教育に求められる実技指導力に必要な知識・技術について理解する。						
内容	講義 演習・協議	農業の技術革新と高度化に対応した学習の充実 農業教育に求められる実技指導力の向上 ・実技指導に関する知識・技術の習得					
	講師	県立農林水産技術総合センター専門技術員					
備考	○ 対象者：農業科・水産科を担当する教員及び実習助手 ○ 高校教員のうち、3年次研修、5年次相当研修及び中堅教諭等資質向上研修対象者は、本講座を必ず受講してください。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103						

講座番号 ⅢC1218 (高) 農業科・水産科教育講座B －農業生産工程管理（GAP）の考え方に基づく授業づくり－		対象					
		幼	小	中	高	特	職種
日程 [1 日]		会場					
令和6年10月11日(金)		株式会社兵庫ネクストファーム					
重点指標	17 学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 21 児童生徒や地域の実態に応じた教材を開発するなど、効果的な教科カリキュラムを編成することができる。						
ねらい	(1) 農業生産工程管理（GAP）の考え方について理解する。 (2) 農業生産工程管理（GAP）に関する学習展開の方法について理解する。						
内容	講義 演習・協議	GAPの実践事例から学ぶ ・農業生産過程におけるGAPの考え方 ・次世代園芸施設導入事例 GAPの授業実践 ・農業科教育に求められるGAPに関する学習展開					
	講師	株式会社兵庫ネクストファーム 取締役 中村 朋記					
備考	○ 対象者：農業科・水産科を担当する教員及び実習助手 ○ 高校教員のうち、2年次研修及び中堅教諭等資質向上研修対象者は、本講座を必ず受講してください。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103						

講座番号 ⅢC1219		(高) 工業科教育講座 A						
		—安全管理と安全教育の充実に向けて—						
		対 象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○	○	教職員	工業
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年10月21日(月)				県立総合教育センター				
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 21 児童生徒や地域の実態に応じた教材を開発するなど、効果的な教科カリキュラムを編成することができる。 44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。							
ねらい	(1) 工業科の特性に応じた安全管理について理解する。 (2) 安全教育の手法を習得する。							
内 容	講義・演習	安全管理と安全教育について —学校安全計画と安全教育の在り方—						
	演 習	安全管理に基づく安全教育						
備 考	○ 対象者：工業科を担当する教員及び実習助手 ○ 高校教員のうち、5年次相当研修及び中堅教諭等資質向上研修対象者は、本講座を必ず受講してください。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

講座番号 ⅢC1220		(高) 工業科教育講座 B						
		—体系的・系統的に理解を深めるための実習の展開—						
		対 象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○	○	教職員	工業
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年12月上旬予定				県立兵庫工業高等学校				
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 21 児童生徒や地域の実態に応じた教材を開発するなど、効果的な教科カリキュラムを編成することができる。 44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。							
ねらい	(1) 「実習」を指導するために必要な知識について理解する。 (2) 「実習」を指導するために必要な技術について理解する。							
内 容	講 義	「実習」におけるものづくり —ものづくりの基礎的知識と技術—						
	実 習	体系的・系統的に理解を深めるための実習の展開						
備 考	○ 対象者：工業科を担当する教員及び実習助手 ○ 日程については、「教職員研修管理システム」で確認してください。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

講座番号 ⅢC1221		(高) 商業科教育講座A ー特色ある職業教育に学ぶー		対象				
				幼	小	中	高	特
					○	○	教員	商業
日程 [1 日]		会 場						
令和6年8月上旬予定		県立神戸商業高等学校						
重点指標	17 学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
ねらい	(1) 商業教育に求められる専門分野の指導について理解する。 (2) 学習指導要領で求められるマーケティング分野・マネジメント分野の指導の在り方について理解する。 (3) 学習指導要領で求められる会計分野やビジネス情報分野の指導の在り方について理解する。							
内 容	講義・演習 実 習 講義・演習	マーケティング分野・マネジメント分野における指導の充実 ビジネス情報分野における指導の充実 ・プログラミングを活用した実践的・体験的な学習活動 会計分野における指導の充実						
備 考	○ 高校教員のうち、2年次研修、5年次相当研修及び中堅教諭等資質向上研修対象者は、本講座を必ず受講してください。 ○ 日程については、「教職員研修管理システム」で確認してください。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

講座番号 ⅢC1222		(高) 商業科教育講座B ービジネス探究科の取組に学ぶー		対象				
				幼	小	中	高	特
					○	○	教員	商業
日程 [1 日]		会 場						
令和6年10月上旬予定		県立小野高等学校						
重点指標	17 学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
ねらい	(1) 商業教育に求められる専門分野の指導について理解する。 (2) 学習指導要領で求められる課題研究の指導の在り方について理解する。 (3) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりについて理解する。							
内 容	演習・協議 公開授業 協議・演習	課題研究や総合的な探究の時間の充実をめざして ・各校における取組に学ぶ ビジネス探究科における課題研究 各校における課題研究や総合的な探究の時間の充実に向けて						
備 考	○ 高校教員のうち、3年次研修及び中堅教諭等資質向上研修対象者は、本講座を必ず受講してください。 ○ 日程については、「教職員研修管理システム」で確認してください。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

講座番号 ⅢC1223		(高) 看護科教育講座 －実践的・体験的な学習活動の充実－				対象		
						幼	小	中
					○	○	教員	看護
日程 [1 日]					会場			
令和6年9月13日(金)					県立総合教育センター			
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
	20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。							
ねらい	(1) 看護科における指導と評価の工夫について理解する。							
	(2) 実践的・体験的な学習活動における妥当性・信頼性の高い学習評価の在り方について理解する。							
内容	講義	実践的・体験的な学習活動における指導と評価の一体化						
	演習・協議	実践的・体験的な学習活動における妥当性・信頼性の高い評価方法の工夫						
	講師	愛媛大学医学部附属病院 助教 内藤 知佐子						
備考	○ 高校教員のうち、2年次研修、3年次研修、5年次相当研修及び中堅教諭等資質向上研修対象者は、本講座を必ず受講してください。							
	【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

講座番号 ⅢC1224		(高) 福祉科教育講座 －実践的・体験的な学習活動の充実－				対象		
						幼	小	中
					○	○	教員	福祉
日程 [1 日]					会場			
令和6年9月11日(水)					県立総合教育センター			
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
	21 児童生徒や地域の実態に応じた教材を開発するなど、効果的な教科カリキュラムを編成することができる。							
ねらい	(1) 「介護過程」における実践的な能力と態度の育成に向けた授業の在り方について理解する。							
	(2) 「介護過程」の授業を充実させるための実践的・体験的な学習活動の工夫について理解する。							
内容	講義	「介護過程」における実践的な能力と態度の育成						
	演習・協議	「介護過程」の授業の充実に向けた実践的・体験的な学習活動の工夫						
	講師	大阪人間科学大学 教授 武田 卓也						
備考	○ 高校教員のうち、2年次研修、3年次研修、5年次相当研修及び中堅教諭等資質向上研修対象者は、本講座を必ず受講してください。							
	【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

講座番号 ⅢC1225 (高) 生徒の探究的な学びを実現する授業づくり講座 －課題を発見し解決していくための資質・能力の育成－		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○	○	教員	—
日程 [1 日]				会場				
令和6年7月30日(火)				県立総合教育センター				
重点指標	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
	21 児童生徒や地域の実態に応じた教材を開発するなど、効果的な教科カリキュラムを編成することができる。							
ねらい	(1) 新しい時代に求められる資質・能力を育むための探究的な学習の在り方について理解する。 (2) 質の高い探究的な学習活動にするための指導方法について理解する。							
内容	講義	新しい時代に求められる資質・能力を育むための探究的な学習 －問いづくりを中心に－						
	演習・協議	探究的な学習をデザインする －質の高い探究的な学習活動にするために－						
	講師	大阪大学 教授 佐藤 浩章						
備考	【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

講座番号 ⅢC1226 (高) 実習教員のための観察・実験講座 －効果的な観察・実験に向けて－		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○	○	実習助手	—
日程 [1 日]				会場				
令和6年10月28日(月)				県立総合教育センター				
重点指標	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
	39 学校の危機管理マニュアルを理解し、事件や事故、トラブルに適切に対応することができる。							
	44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。							
ねらい	(1) 観察・実験に関する基本的な知識を習得する。 (2) 観察・実験を効果的に行う工夫について理解する。							
内容	講義	観察・実験に関する基本的な知識について						
	演習	観察・実験を効果的に行う工夫について						
備考	【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

2 生徒指導・心の教育

講座番号 ⅢD1501 いじめ問題への対応講座A（集合研修） －いじめのない学級づくり－		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日程 [1 日]		会場						
令和6年7月30日（火）		県立総合教育センター						
重点指標	25 いじめ、不登校等の教育課題の緊急性や重要性を理解し、他の教職員や関係機関と連携しながらその予防・解決に取り組むことができる。 26 学校教育目標の実現に向け、学級経営案やホームルーム計画の立案・実行・改善ができ、児童生徒が安心して過ごせる学級づくりに取り組むことができる。							
ねらい	(1) いじめの現状や、児童生徒の内面の理解に基づく指導の在り方について理解する。 (2) いじめを未然に防止するための学級づくりの視点を身に付ける。							
内容	講義・演習	学級集団を意識したいじめ問題の理解と対応						
	講義・演習	・いじめ問題の現状への理解 ・心理学から考えるいじめのない学級づくりの視点 いじめ未然防止のための児童生徒の関係づくり ・学級づくりを意識した「いじめ未然防止プログラム」の体験と活用						
	講師	兵庫教育大学大学院 教授 秋光 恵子						
備考	○ 「いじめ問題への対応講座」A、B、Cのいずれか一つを選んで受講してください。 ○ 「いじめ問題への対応講座」A、Bについては、両方を受講することは可能です。 【問合せ】 心の教育推進課 0795-42-6556							

選択研修

講座番号 ⅢD1502 いじめ問題への対応講座B（集合研修） －発達障害の可能性のある児童生徒といじめ問題－		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日程 [1 日]		会場						
令和6年8月23日（金）		県立総合教育センター						
重点指標	25 いじめ、不登校等の教育課題の緊急性や重要性を理解し、他の教職員や関係機関と連携しながらその予防・解決に取り組むことができる。 26 学校教育目標の実現に向け、学級経営案やホームルーム計画の立案・実行・改善ができ、児童生徒が安心して過ごせる学級づくりに取り組むことができる。							
ねらい	(1) いじめの現状や、児童生徒の内面の理解に基づく指導の在り方について理解する。 (2) 発達障害の可能性のある児童生徒のいじめを未然に防止するための視点を身に付ける。							
内容	講義・演習	発達障害の可能性のある児童生徒のいじめ問題の理解と対応						
	講義・演習	・いじめ問題の現状への理解 ・学齢期におけるいじめと発達障害の可能性のある児童生徒の関わり いじめ未然防止のための児童生徒の関係づくり ・互いに認め支え合う集団づくりに生かせる「いじめ未然防止プログラム」の体験						
	講師	兵庫教育大学大学院 教授 井澤 信三						
備考	○ 「いじめ問題への対応講座」A、B、Cのいずれか一つを選んで受講してください。 ○ 「いじめ問題への対応講座」A、Bについては、両方を受講することは可能です。 【問合せ】 心の教育推進課 0795-42-6556							

講座番号 ⅢD1503 いじめ問題への対応講座C (VOD研修) －「いじめ未然防止プログラム」の活用－		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日程 [1 日]		会場						
令和6年11月28日(木)～令和6年12月11日(水)		VOD・レポート課題による実施						
重点指標	25 いじめ、不登校等の教育課題の緊急性や重要性を理解し、他の教職員や関係機関と連携しながらその予防・解決に取り組むことができる。 26 学校教育目標の実現に向け、学級経営案やホームルーム計画の立案・実行・改善ができ、児童生徒が安心して過ごせる学級づくりに取り組むことができる。							
ねらい	(1) いじめの現状や、児童生徒の内面の理解に基づく指導の在り方について理解する。 (2) 自校での活用を意識した、いじめを未然に防止するための視点を身に付ける。							
内容	講義・演習	学級集団を意識したいじめ問題の理解と対応						
	講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題の現状への理解 心理学から考えるいじめのない学級づくりの視点 						
	講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> 発達障害の可能性のある児童生徒のいじめ問題の理解と対応 学齢期におけるいじめと発達障害の可能性のある児童生徒の関わり 						
	講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> 自校におけるいじめ未然防止のための児童生徒の関係づくり 自校での「いじめ未然防止プログラム」の活用計画の作成 						
	講師	兵庫教育大学大学院 教授 秋光 恵子、教授 井澤 信三						
備考	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめ問題への対応講座」A、B、Cのいずれか一つを選んで受講してください。 動画視聴後、レポート課題を提出してください。詳細は「教職員研修管理システム」の実施要項でお知らせします。 本講座は視聴状況と課題提出状況により修了認定を行います。 							
	【問合せ】 心の教育推進課 0795-42-6556							

選択研修

講座番号 ⅢD1504 不登校への対応講座A －不登校の理解と初期対応－		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日程 [1 日]		会場						
令和6年6月10日(月)		県立総合教育センター						
重点指標	25 いじめ、不登校等の教育課題の緊急性や重要性を理解し、他の教職員や関係機関と連携しながらその予防・解決に取り組むことができる。 27 児童生徒との適切な距離を保ちながら、生活背景や内面の理解に努め、カウンセリングマインドをもって、児童生徒と接することができる。							
ねらい	(1) 不登校児童生徒の内面の理解に生かせる視点について理解する。 (2) 不登校傾向の児童生徒やその保護者に寄り添い、適切に対応できる力を身に付ける。							
内容	講義・演習	不登校児童生徒の内面の理解に生かせる視点						
	講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> 多面的な視点による不登校児童生徒や保護者への支援 						
	講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> 不登校傾向にある児童生徒や保護者に寄り添った支援 教育相談の視点を生かした不登校初期の児童生徒や保護者との関わり 						
	講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> 不登校の早期対応のための校内ケース会議の在り方 						
	講師	兵庫教育大学大学院 教授 遠藤 裕乃						
備考	【問合せ】 心の教育推進課 0795-42-6556							

講座番号 ⅢD1505		不登校への対応講座B				対象		
—不登校対応のための学校教育相談—		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日程 [1 日]					会場			
令和6年11月11日(月)					県立総合教育センター			
重点指標	25 いじめ、不登校等の教育課題の緊急性や重要性を理解し、他の教職員や関係機関と連携しながらその予防・解決に取り組むことができる。							
	27 児童生徒との適切な距離を保ちながら、生活背景や内面の理解に努め、カウンセリングマインドをもって、児童生徒と接することができる。							
ねらい	(1) 不登校や社会的ひきこもりの状態にある児童生徒の心理面について理解する。 (2) 不登校状態にある児童生徒やその保護者に寄り添い、適切に対応できる力を身に付ける。							
内容	講義・演習	不登校から見える学校の現状と課題						
	講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒と保護者に対する理解と支援 ・不登校児童生徒への教育相談の立場からの関わり 						
	講 師	不登校状態にある児童生徒や保護者に寄り添った支援						
		<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談の視点を生かした不登校児童生徒や保護者との関わり ・不登校対応のための校内ケース会議の在り方 						
備考	【問合せ】 心の教育推進課 0795-42-6556							

講座番号 ⅢD1506		自他の命を大切にすることを育む教育講座				対象		
—学校における児童生徒の自殺予防—		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日程 [1 日]					会場			
令和6年8月9日(金)					県立総合教育センター			
重点指標	23 自他の生命を尊重し、多様性を認め、様々な人権課題を解決しようとする実践的な行動力を育成することができる。							
	25 いじめ、不登校等の教育課題の緊急性や重要性を理解し、他の教職員や関係機関と連携しながらその予防・解決に取り組むことができる。							
ねらい	(1) 自殺予防に関する基礎的な知識や、危機を抱えた児童生徒への対応の在り方について理解する。 (2) 自殺予防教育の意義や必要性、活用の在り方について理解する。							
内容	講義・演習	児童生徒の命を守るための予防教育						
	講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の自殺の現状と特徴 ・「未来を生きぬく力」を育む自殺予防教育 						
	講 義	児童生徒の命を守るための危機介入						
	講 師	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺の危険が高まった児童生徒への気付きと関わり ・自殺が起きてしまったときの対応と心のケア 						
		「自殺予防に生かせる教育プログラム」の活用						
備考	○ 「自殺予防に生かせる教育プログラム」は、中・高校生を対象としたプログラムですが、小学校教員・特別支援学校教員も受講することができます。							
	【問合せ】 心の教育推進課 0795-42-6556							

講座番号 ⅢD1507		児童虐待問題への対応講座 －被虐待児童生徒への理解と対応－				対象							
						幼	小	中	高	特	職種	教科	
							○	○	○	○	○	教職員	—
日程 [1 日]						会場							
令和6年11月18日(月)						県立総合教育センター							
重点指標	25 いじめ、不登校等の教育課題の緊急性や重要性を理解し、他の教職員や関係機関と連携しながらその予防・解決に取り組むことができる。 35 課題解決に向け、校内の共通理解を図り、家庭・地域・関係機関等と連携して取り組むことができる。												
ねらい	(1) 児童虐待の実態や背景、これらの影響による様々な心の問題等について理解する。 (2) スクールソーシャルワーカーと協働して児童虐待に対応する機関等と連携し、適切に対応する力を身に付ける。												
内容	講義	児童虐待の問題と子どもの心理 ・児童虐待問題の基礎的理解と現状 ・虐待を受けた児童生徒の心理的影響											
	講義・演習	学校における児童虐待問題への対応 ・被虐待児童生徒や保護者への関わり方 ・ジェノグラム・エコマップを活用した関係機関等との連携											
	講師	神戸親和大学 教授 大島 剛 太子町教育委員会 スクールソーシャルワーカー 三浦 知子											
備考	【問合せ】 心の教育推進課 0795-42-6556												

3 課題教育

講座番号 ⅢE1101 (小中) キャリア教育推進講座 －体系的・系統的なキャリア教育の充実に向けて－		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
			○	○			教員	—
日程 [1 日]		会場						
令和6年10月28日(月)		県立総合教育センター						
重点指標	6 幼小中高大の新たな接続・連携に伴う変化に対応し、さらなる充実をめざした取組を行うことができる。 28 社会的・職業的自立の基盤となる能力や態度の育成等を通して、児童生徒のキャリア発達を促すことができる。 29 児童生徒が自らのよさや可能性を認識し、多様な他者と協働する力を身に付けられるよう指導することができる。							
ねらい	(1) 社会的自立に向けたキャリア形成と自己実現のための体系的・系統的なキャリア教育の在り方について理解する。 (2) 特別活動を要としてキャリア発達を促す指導の工夫について理解する。							
内容	講義	体系的・系統的なキャリア教育の充実に向けて －学びをつなぐキャリア教育の意義－						
	演習・協議	特別活動を要としたキャリア教育 ・特別活動を要としたカリキュラム ・兵庫版「キャリア・パスポート」を活用した学びの接続						
	講師	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 東北福祉大学 教授 長田 徹						
備考	○ 講義及び演習・協議の一部については、(高) キャリア教育推進講座と合同で実施します。 【問合せ】 義務教育研修課 0795-42-3102							

選択研修

講座番号 ⅢE1201 (高) キャリア教育推進講座 －体系的・系統的なキャリア教育の充実に向けて－		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○		教員	—
日程 [1 日]		会場						
令和6年10月28日(月)		県立総合教育センター						
重点指標	6 幼小中高大の新たな接続・連携に伴う変化に対応し、さらなる充実をめざした取組を行うことができる。 28 社会的・職業的自立の基盤となる能力や態度の育成等を通して、児童生徒のキャリア発達を促すことができる。 29 児童生徒が自らのよさや可能性を認識し、多様な他者と協働する力を身に付けられるよう指導することができる。							
ねらい	(1) 児童・生徒のキャリア発達を目指すキャリア教育の本質について理解する。 (2) キャリアノートや兵庫版「キャリア・パスポート」の効果的な活用法について理解する。							
内容	講義	体系的・系統的なキャリア教育の充実に向けて －学びをつなぐキャリア教育の意義－						
	演習・協議	キャリア発達を促す取組を考える ・キャリアノートや兵庫版「キャリア・パスポート」の効果的な活用						
	講師	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 東北福祉大学 教授 長田 徹						
備考	○ 講義及び演習・協議の一部については、(小中) キャリア教育推進講座と合同で実施します。 【問合せ】 高校教育研修課 0795-42-3103							

講座番号 ⅢE1102		人権教育講座					対象	
—今日の人権課題の解決に向けて—		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教員	—
日程 [1 日]		会場						
令和6年12月9日(月)		県立総合教育センター						
重点指標	17 学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。 23 自他の生命を尊重し、多様性を認め、様々な人権課題を解決しようとする実践的な行動力を育成することができる。 25 いじめ、不登校等の教育課題の緊急性や重要性を理解し、他の教職員や関係機関と連携しながらその予防・解決に取り組むことができる。							
ねらい	(1) 多様な価値観や今日の人権課題の理解促進に向けた指導方法の工夫・改善について理解する。 (2) 学校や地域の実態に応じた人権課題の解決と改善について理解する。							
内容	講義	共生社会実現に向けて主体的に取り組む実践力を育成するために —多様な価値観や今日の人権課題の理解促進に向けて—						
	発表	今日の人権課題に対応した教育実践						
	演習	今日の人権課題の解決に向けて ・学校や地域の実態に応じた指導方法の工夫・改善						
備考	【問合せ】 義務教育研修課 0795-42-3102							

講座番号 ⅢE1103		震災に学ぶ防災教育講座					対象	
—自らの生命を守るために主体的に行動できる児童生徒の育成—		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日程 [1 日]		会場						
令和6年7月16日(火)		県立総合教育センター						
重点指標	5 阪神・淡路大震災の記憶が風化することを防ぐとともに、その経験と教訓を生かし、主体的に判断して実践する力、助け合いやボランティア精神等共生の心を育む「兵庫の防災教育」を推進することができる。 39 学校の危機管理マニュアルを理解し、事件や事故、トラブルに適切に対応することができる。							
ねらい	(1) 阪神・淡路大震災の経験や教訓を踏まえた「兵庫の防災教育」の意義について理解する。 (2) 各学校における防災教育・防災（避難）訓練等の効果的な指導の工夫や改善方法について理解する。							
内容	講義・演習	地域の災害特性等を踏まえた防災教育 ・ハザードマップから災害特性等を理解する ・児童生徒が身に付ける知識や技能について考える						
	演習	学校組織の実践力を高める避難訓練 —地域、専門機関等との連携を通して—						
	演習	児童生徒が災害から自らの生命を守るため主体的に判断して実践する力の育成 ・副読本等の効果的な活用						
備考	【問合せ】 義務教育研修課 0795-42-3102							

講座番号 ⅢE1104 演劇で学ぶコミュニケーション能力育成講座 ー児童生徒のコミュニケーション能力を育み、表現力を磨くー		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日程 [1 日]				会場				
a 令和6年10月17日(木)				芸術文化観光専門職大学				
b 令和7年1月16日(木)				県立総合教育センター				
重点指標	17 学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。 19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。 26 学校教育目標の実現に向け、学級経営案やホームルーム計画の立案・実行・改善ができ、児童生徒が安心して過ごせる学級づくりに取り組むことができる。							
ねらい	(1) 児童生徒に身に付けさせたいコミュニケーション能力・表現力について理解する。 (2) 演劇的手法を用いたコミュニケーション教育の在り方について理解する。							
内容	演習	演劇的手法を用いたコミュニケーション能力向上ワークショップ						
	講義	演劇で学ぶコミュニケーション						
備考	演習	演劇的手法の視点を生かした学級集団づくり						
	講師	芸術文化観光専門職大学 学長 平田 オリザ						
備考	○ a、bは同じ内容ですので、いずれか一つを選んで受講してください。 【問合せ】 義務教育研修課 0795-42-3102							

4 教育の情報化

講座番号 ⅢF1301		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
情報モラル教育講座 —「ひょうごGIGAワークブック」の活用—			○	○	○	○	教職員	—
		日程 [1 日]		会場				
令和6年11月20日(水)		県立総合教育センター						
重点指標	13 Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。 39 学校の危機管理マニュアルを理解し、事件や事故、トラブルに適切に対応することができる。 44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。							
ねらい	(1) 情報モラル教育を実施する上で必要な知識や技能を習得する。 (2) 体系的な情報モラル教育の推進について理解を深める。							
内容	講義	情報社会に主体的に参画する態度を育む指導 ・情報モラル教育に関する現状と課題						
	演習	「ひょうごGIGAワークブック」を活用した授業づくり						
	演習	各学校における情報モラル教育年間指導計画(案)の作成						
備考	○ 本講座は、事前研修（eラーニング）の受講を前提に実施します。必ず講座実施日の1週間前までに受講してください。 【問合せ】 情報教育研修課 0795-42-3104							

講座番号 ⅢF1302		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
教員のためのICT基礎講座 —一斉学習の効果を高めるための教材の提示方法について—			○	○	○	○	教職員	—
		日程 [1 日]		会場				
令和6年10月30日(水)		県立総合教育センター						
重点指標	14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。 44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。							
ねらい	(1) ICT機器の特性や操作方法を習得する。 (2) 一斉学習の場面における効果的なICTの活用について理解する。							
内容	講義・演習	ICT機器(実物投影機・大型提示装置等)の特性 ・一斉学習における教材の提示						
	演習	学習効果を高めるための教員によるICTの活用 ・教材の作成と活用						
備考	○ 本講座は、事前研修（eラーニング）の受講を前提に実施します。必ず講座実施日の1週間前までに受講してください。 【問合せ】 情報教育研修課 0795-42-3104							

講座番号 ⅢF1303		(小) タブレット端末基礎講座						対象	
—授業における教員のタブレット端末活用—		幼	小	中	高	特	職種	教科	
			○			○	教職員	—	
日 程 [1 日]				会 場					
令和6年9月11日(水)				県立総合教育センター					
重点指標	14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。 44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。								
ねらい	(1) タブレット端末の特性や操作方法を習得する。 (2) 一斉学習の場面における効果的なタブレット端末の活用について理解する。								
内 容	講義・演習	情報社会に主体的に参画する態度を育む指導							
	演 習	・文字入力、カメラ・マイク機能 等 一斉学習の場面におけるアプリケーションの活用							
	演 習	・授業支援 等 タブレット端末を活用した授業展開 ・タブレット端末を活用した学習場面づくり							
備 考	○ 本講座は、事前研修（eラーニング）の受講を前提に実施します。必ず講座実施日の1週間前までに受講してください。 【問合せ】 情報教育研修課 0795-42-3104								

選択研修

講座番号 ⅢF1304		(中高) タブレット端末基礎講座						対象	
—授業における教員のタブレット端末活用—		幼	小	中	高	特	職種	教科	
				○	○	○	教職員	—	
日 程 [1 日]				会 場					
令和6年9月26日(木)				県立総合教育センター					
重点指標	14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。 44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。								
ねらい	(1) タブレット端末の特性や操作方法を習得する。 (2) 一斉学習の場面における効果的なタブレット端末の活用について理解する。								
内 容	講義・演習	タブレット端末の基本操作と効果的な活用							
	演 習	一斉学習の場面におけるアプリケーションの活用							
	演 習	・授業支援 等 タブレット端末を活用した各教科の授業 ・タブレット端末を活用した学習場面づくり							
備 考	○ 本講座は、事前研修（eラーニング）の受講を前提に実施します。必ず講座実施日の1週間前までに受講してください。 【問合せ】 情報教育研修課 0795-42-3104								

講座番号 ⅢF1305		Google Workspace基礎講座						
—Google Workspace(クラウドサービス)を活用した学習場面づくり—		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
			○	○	○	○	教職員	—
日程 [1 日]				会場				
令和6年6月20日(木)				県立総合教育センター				
重点指標	14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。 44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。							
ねらい	(1) Google Workspaceの基本的な使い方を習得する。 (2) 授業における効果的なGoogle Workspaceの活用について理解する。							
内容	講義・演習 演習 演習	クラウドサービスの授業での活用 Google Workspaceの各アプリケーションの基本的な使い方 Google Workspaceを活用した学習場面づくり ・授業の中での効果的なアプリケーションの活用						
備考	○ 本講座は、事前研修(eラーニング)の受講を前提に実施します。必ず講座実施日の1週間前までに受講してください。 ○ Google Workspace実践講座と併せて受講することを推奨します。 【問合せ】 情報教育研修課 0795-42-3104							

講座番号 ⅢF1306		Google Workspace実践講座						
—児童生徒の学びを深めるためのGoogle Workspace(クラウドサービス)の活用—		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
			○	○	○	○	教職員	—
日程 [1 日]				会場				
a	令和6年7月17日(水)			県立総合教育センター				
b	令和6年12月5日(木)			県立総合教育センター				
c	令和6年12月10日(火)			県立総合教育センター				
重点指標	13 Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。 14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。 44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。							
ねらい	(1) 授業の様々な場面での効果的なGoogle Workspaceの活用方法を習得する。 (2) 児童生徒の学びを深める効果的なGoogle Workspaceの活用について理解する。							
内容	講義・演習 発表 演習	Google Workspaceの各アプリケーションの効果的な使い方 児童生徒によるGoogle Workspaceの授業での活用 単元を通じた児童生徒の学びを深める活用 ・アプリケーション連携						
備考	○ 本講座は、事前研修(eラーニング)の受講を前提に実施します。必ず講座実施日の1週間前までに受講してください。 【問合せ】 情報教育研修課 0795-42-3104							

講座番号 ⅢF1307		Office365基礎講座						
-Office365(クラウドサービス)を活用した学習場面づくり-		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年7月3日(水)				県立総合教育センター				
重点指標	14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。 44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。							
ねらい	(1) Office365の基本的な使い方を習得する。 (2) 授業における効果的なOffice365の活用について理解する。							
内 容	講義・演習 演 習 演 習	クラウドサービスの授業での活用 Office365の各アプリケーションの使い方 Office365を活用した学習場面づくり ・授業の中での効果的なアプリケーションの活用						
備 考	○ 本講座は、事前研修(eラーニング)の受講を前提に実施します。必ず講座実施日の1週間前までに受講してください。 ○ Office365実践講座と併せて受講することを推奨します。 【問合せ】 情報教育研修課 0795-42-3104							

講座番号 ⅢF1308		Office365実践講座						
-児童生徒の学びを深めるためのOffice365(クラウドサービス)の活用-		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日 程 [1 日]				会 場				
a 令和6年8月6日(火)				県立総合教育センター				
b 令和6年11月14日(木)				県立総合教育センター				
c 令和6年11月28日(木)				県立総合教育センター				
重点指標	13 Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。 14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。 44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。							
ねらい	(1) 授業の様々な場面での効果的なOffice365の活用方法を習得する。 (2) 児童生徒の学びを深める効果的なOffice365の活用について理解する。							
内 容	講義・演習 発 表 演 習	Office365の各アプリケーションの効果的な使い方 児童生徒によるOffice365の授業での活用 単元を通じた児童生徒の学びを深める活用 ・アプリケーション連携						
備 考	○ 本講座は、事前研修(eラーニング)の受講を前提に実施します。必ず講座実施日の1週間前までに受講してください。 【問合せ】 情報教育研修課 0795-42-3104							

講座番号 ⅢF1309		対象						
表計算ソフト活用講座 (VOD研修) — 教育の情報化をめざして —		幼	小	中	高	特	職種	教科
			○	○	○	○	○	教職員
日程 [1 日]		会場						
令和 7 年 1 月 16 日 (木) ～ 令和 7 年 1 月 30 日 (木)		VOD・課題提出による実施						
重点指標	<p>32 「教職員の勤務時間適正化推進プラン」に基づき、児童生徒と向き合う時間の確保と、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、計画的に仕事を進めることができる。</p> <p>37 校内における自分の役割を認識し、校務分掌を的確かつ効率的に遂行できる。</p> <p>44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。</p>							
ねらい	<p>(1) 表計算ソフトの関数や機能を習得する。</p> <p>(2) 授業や校務に役立つ表計算ソフトの活用法を習得する。</p>							
内容	演習	<p>情報社会に主体的に参画する態度を育む指導</p> <p>成績データを集計するための関数の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COUNTIF関数を活用した個別データカウント ・VLOOKUP関数を活用したデータ表示 等 <p>演習</p> <p>授業や校務に役立つ機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフの作成と表現 ・クロス集計 (ピボットテーブル) の基本操作と活用 等 						
備考	<p>○ 動画視聴後、課題を提出してください。</p> <p>○ 本講座は視聴状況と課題提出状況により修了認定を行います。</p> <p>【問合せ】 情報教育研修課 0795-42-3104</p>							

講座番号 ⅢF1310		対象						
先端技術体験講座 — 3Dプリンタ・ドローン・VRゴーグル・生成AI —		幼	小	中	高	特	職種	教科
			○	○	○	○	○	教職員
日程 [1 日]		会場						
令和 6 年 8 月 29 日 (木)		県立総合教育センター						
重点指標	<p>14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。</p> <p>44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。</p>							
ねらい	<p>(1) 学校に導入されてくる先端技術について理解する。</p> <p>(2) 学校における先端技術の活用について理解する。</p>							
内容	講義	<p>情報社会に主体的に参画する態度を育む指導</p> <p>先端技術の実機体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3Dプリンタ ・ドローン ・VRゴーグル ・生成AI <p>演習・協議</p> <p>授業等における先端技術の活用</p>						
備考	<p>○ 本講座は、事前研修 (eラーニング) の受講を前提に実施します。必ず講座実施日の1週間前までに受講してください。</p> <p>○ 先端技術活用講座と併せて受講することはできません。</p> <p>○ 対象者：授業において先端技術の活用を考えている学校の教職員</p> <p>【問合せ】 情報教育研修課 0795-42-3104</p>							

講座番号 ⅢF1311		対象						
先端技術活用講座 －STEAM教育の推進（3Dプリンタ）－		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○		教職員	備考参照
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年7月5日（金）				県立総合教育センター				
重点指標	13 Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。 14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。 44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。							
ねらい	(1) 3Dプリンタの活用方法について理解する。 (2) STEAM教育における先端技術の活用について理解する。							
内 容	講 義	授業における先端技術の活用						
	演 習	・3Dデータ編集ソフトの操作方法 ・3DCADの操作方法 ・3Dプリンタの操作方法						
	演習・協議	STEAM教育における先端技術の活用						
備 考	○ 本講座は、事前研修（eラーニング）の受講を前提に実施します。必ず講座実施日の1週間前までに受講してください。 ○ 使用する機器の都合上、受講者は10名までとさせていただきます。 ○ 対象者：STEAM探究科設置校及びSTEAM教育を推進しようとする学校等において、3Dプリンタの活用を考えている学校の教職員 ○ 講義及び演習・協議については、先端技術活用講座（ドローン）と合同で実施します。 ○ 先端技術体験講座と併せて受講することはできません。 【問合せ】 情報教育研修課 0795-42-3104							

講座番号 ⅢF1312		対象						
先端技術活用講座 －STEAM教育の推進（ドローン）－		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○		教職員	備考参照
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年7月5日（金）				県立総合教育センター				
重点指標	13 Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。 14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。 44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。							
ねらい	(1) ドローンの活用方法について理解する。 (2) STEAM教育における先端技術の活用について理解する。							
内 容	講 義	情報社会に主体的に参画する態度を育む指導						
	演 習	ドローンの活用						
	演習・協議	・ドローンの操作方法 ・ドローンプログラミング						
		STEAM教育における先端技術の活用						
備 考	○ 本講座は、事前研修（eラーニング）の受講を前提に実施します。必ず講座実施日の1週間前までに受講してください。 ○ 使用する機器の都合上、受講者は6名までとさせていただきます。 ○ 対象者：STEAM探究科設置校及びSTEAM教育を推進しようとする学校等において、ドローンの活用を考えている学校の教職員 ○ 講義及び演習・協議については、先端技術活用講座（3Dプリンタ）と合同で実施します。 ○ 先端技術体験講座と併せて受講することはできません。 【問合せ】 情報教育研修課 0795-42-3104							

講座番号 ⅢF1313		先端技術活用講座						
—STEAM教育の推進（VRゴーグル）—		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○		教職員	備考参照
日程 [1 日]				会場				
令和6年8月27日（火）				県立総合教育センター				
重点指標	13 Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。 14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。 44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。							
ねらい	(1) VRゴーグルの活用方法について理解する。 (2) STEAM教育における先端技術の活用について理解する。							
内容	講義 演習 演習・協議	情報社会に主体的に参画する態度を育む指導 VRゴーグルの活用 ・VRゴーグルの操作方法 ・仮想空間の作成 STEAM教育における先端技術の活用						
備考	○ 本講座は、事前研修（eラーニング）の受講を前提に実施します。必ず講座実施日の1週間前までに受講してください。 ○ 使用する機器の都合上、受講者は10名までとさせていただきます。 ○ 対象者：STEAM探究科設置校及びSTEAM教育を推進しようとする学校等において、VRゴーグルの活用を考えている学校の教職員 ○ 講義及び演習・協議については、先端技術活用講座（生成AI）と合同で実施します。 ○ 先端技術体験講座と併せて受講することはできません。 【問合せ】 情報教育研修課 0795-42-3104							

講座番号 ⅢF1314		先端技術活用講座						
—STEAM教育の推進（生成AI）—		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
					○		教職員	備考参照
日程 [1 日]				会場				
令和6年8月27日（火）				県立総合教育センター				
重点指標	13 Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。 14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。 44 自らの適性や役割に応じた研究・研修に努め、職務や教科等の専門的知識や技能の向上を図ることができる。							
ねらい	(1) 生成AIの操作方法を習得する。 (2) 校務や授業における生成AIの活用について理解する。							
内容	演習 演習・協議	生成AIの活用 ・各種対話型生成AIの違い ・校務や授業での活用 STEAM教育における先端技術の活用						
備考	○ 本講座は、事前研修（eラーニング）の受講を前提に実施します。必ず講座実施日の1週間前までに受講してください。 ○ 使用する端末の都合上、受講者は24名までとさせていただきます。 ○ 対象者：STEAM探究科設置校及びSTEAM教育を推進しようとする学校の教職員 ○ 講義及び演習・協議については、先端技術活用講座（VRゴーグル）と合同で実施します。 ○ 先端技術体験講座と併せて受講することはできません。 【問合せ】 情報教育研修課 0795-42-3104							

5 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応

講座番号 ⅢG1401		対象						
障害のある子どもと歩む保護者理解講座 －保護者の視点から考える教職員の役割－		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日程 [1 日]		会場						
令和6年11月15日(金)		県立総合教育センター						
重点指標	10 インクルーシブ教育システムの理念を理解し、全ての児童生徒等に分かりやすいユニバーサルな授業づくりや互いに認め支え合う集団づくりができる。 11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 43 適切な言動を心がけ、児童生徒や保護者等からの信頼確保に努めている。							
ねらい	(1) 共生社会の実現に向けた教職員の役割について理解する。 (2) 学校と家庭との連携・協働に向け、当事者や保護者、支援者の立場や思いについて理解する。							
内容	講義	共生社会の実現に向けた保護者の願いと教職員に期待すること ・障害のある子どもの誕生から現在、未来への保護者の思い ・保護者の思いに寄り添うために ・学校や地域、社会とのよりよい関わりに向けた学校・教職員の役割						
	演習・協議	面談等を通じた保護者理解の実際						
	講師	兵庫県手をつなぐ育成会 副理事長 下村 直美						
備考	【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

選択研修

講座番号 ⅢG1402		対象						
基礎的な障害理解と自立活動の指導充実講座 －個に応じた教育課程の編成と自立活動の指導－		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日程 [1 日]		会場						
令和6年6月19日(水)		県立総合教育センター						
重点指標	11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 12 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。 19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
ねらい	(1) 児童生徒の実態に応じた特別の教育課程とその編成ポイントについて理解する。 (2) 自立活動の指導の充実に向けた個別の指導計画の作成・活用について理解する。							
内容	講義	障害特性の理解と個に応じた指導の工夫						
	講義	個に応じた教育課程の編成と自立活動の指導						
	演習・協議	個に応じた指導の工夫 ・主体的・対話的で深い学びの実現と自立活動の充実 ・自立活動の指導に関する教材、教具						
備考	○ 特別支援学校の教員は受講できません。 【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

講座番号 ⅢG1403		対象						
インクルーシブ教育システムと合理的配慮の基礎理解講座 —共生社会の形成に向けた子どもの多様なニーズへの対応—		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日程 [1 日]				会場				
令和6年10月4日(金)				県立総合教育センター				
重点指標	10 インクルーシブ教育システムの理念を理解し、全ての児童生徒等に分かりやすいユニバーサルな授業づくりや互いに認め支え合う集団づくりができる。 11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 17 学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。							
ねらい	(1) インクルーシブ教育システムの推進に向けた学校・学級づくりと具体的な支援について理解する。 (2) 児童生徒の実態に応じた合理的配慮について理解する。							
内容	講義	「共に学び共に育つ」インクルーシブ教育システムの構築をめざして —合理的配慮に基づく支援の在り方の工夫—						
	演習・協議	自校におけるインクルーシブ教育と合理的配慮の現状と課題						
	講師	香川大学 教授 坂井 聡						
備考	○ 特別支援学校の教員は受講できません。 ○ 実践レポートを提出してください。様式等詳細は「教職員研修管理システム」にて連絡します。 【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

講座番号 ⅢG1404		対象						
特別支援教育における効果的なICT活用講座 A —ICTを活用した主体的な学びを引き出す工夫—		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日程 [1 日]				会場				
令和6年6月13日(木)				県立総合教育センター				
重点指標	11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 13 Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。 14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。							
ねらい	(1) 特別支援教育におけるICTの効果的な活用について理解する。 (2) 学ぶ楽しさを実現するためのICTを活用した指導方法を理解する。							
内容	講義	幼児児童生徒の自発的・主体的な学びを引き出す効果的なICT活用 ・特別支援教育における効果的なICT活用と環境整備の工夫 ・学ぶ楽しさを実現する、ICTを活用したわかる授業づくり						
	演習	学ぶ楽しさを実感できる教員のICTの活用						
	講師	兵庫教育大学大学院 准教授 小川 修史						
備考	【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

講座番号 ⅢG1405		対象						
特別支援教育における効果的なICT活用講座B —子ども自らが学習意欲を高めるICT活用—		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年11月22日(金)				県立総合教育センター				
重点指標	11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 13 Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。 14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。							
ねらい	(1) 特別支援教育におけるICTの効果的な活用や使用上の留意点、教材コンテンツの活用について理解する。 (2) 幼児児童生徒が学ぶ楽しさを実現するための、ICTを活用したわかる授業づくりの工夫について理解する。							
内 容	講 義	学ぶ楽しさを実現するためのICT活用						
	演 習 協 議	学ぶ楽しさの実現や生活の質を高める児童生徒のICT活用 自校または自身のICT活用実践事例						
	講 師	国立特別支援教育総合研究所 特任研究員 青木 高光						
備 考	○ 実践レポートを提出してください。様式等詳細は「教職員研修管理システム」にて連絡します。 【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

講座番号 ⅢG1406		対象						
気になる行動を考えるステップ講座 —適切な指導支援を行うために—		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年10月31日(木)				県立総合教育センター				
重点指標	11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
ねらい	(1) 応用行動分析学の考え方をを用いて、行動が起こる仕組みについて理解する。 (2) 行動のメカニズムを知り、適切な対応方法について理解する。							
内 容	講 義	気になる行動から読み解く子どもへの指導・支援と適切な対応 ・応用行動分析学から学ぶ子どもの観察・支援の在り方 ・機能的アセスメント						
	演習・協議	学校現場での活用に向けて ・機能的アセスメントを用いた事例検討						
	講 師	岐阜大学 教授 平澤 紀子						
備 考	【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

講座番号 III G1407		ポジティブな行動支援講座 —望ましい行動を育てる支援方法—						
		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日 程 [1 日]				会 場				
令和 7 年 1 月 21 日 (火)				県立総合教育センター				
重点指標	10 インクルーシブ教育システムの理念を理解し、全ての児童生徒等に分かりやすいユニバーサルな授業づくりや互いに認め支え合う集団づくりができる。 11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 35 課題解決に向け、校内の共通理解を図り、家庭・地域・関係機関等と連携して取り組むことができる。							
ねらい	(1) ポジティブな行動支援の仕組みを知る。 (2) 肯定的、教育的、予防的な支援方法について理解する。							
内 容	講 義	障害のある幼児児童生徒だけでなく、全ての子どもに対して行うポジティブな指導・支援 ・学級（学校）全体で取り組むポジティブな行動支援とは ・継続的に取り組むための仕組み ・全体支援と個別支援で全ての子どもを支援するために ポジティブな指導支援を学校で実践するために ・行動支援計画シートの作成						
	演習・協議							
	講 師	近畿大学 准教授 大対 香奈子						
備 考	○ 特別支援学校の教員は受講できません。 【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

講座番号 III G1408		特別支援教育の視点を取り入れた音楽指導講座 —豊かな音楽活動を実現する授業づくり—						
		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教員	—
日 程 [1 日]				会 場				
令和 6 年 7 月 24 日 (水)				県立総合教育センター				
重点指標	10 インクルーシブ教育システムの理念を理解し、全ての児童生徒に分かりやすいユニバーサルな授業づくりや互いに認め支え合う集団づくりができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
ねらい	(1) 音楽による多様性や包摂性の体感を通してインクルーシブ教育システムの理念について理解する。 (2) 児童生徒が主体的に参加する音楽活動について理解する。							
内 容	講 義	特別支援教育の視点を取り入れた音楽指導 ・全ての子どもが参加できる音楽活動						
	演習・協議	音楽ワークショップ 特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり ・全ての子どもが参加できる音楽の授業づくり						
	講 師	ヴァイオリニスト 生涯学習開発財団認定ワークショップデザイナー 南條 由起						
備 考	【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

講座番号 ⅢG1409		対象						
特別支援教育の視点を取り入れた図画工作・美術指導講座 —豊かな創造活動を実現する授業づくり—		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教員	—
日程 [1 日]				会場				
令和6年9月26日(木)				県立総合教育センター				
重点指標	10 インクルーシブ教育システムの理念を理解し、全ての児童生徒に分かりやすいユニバーサルな授業づくりや互いに認め支え合う集団づくりができる。							
	18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。							
	19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。							
ねらい	(1) 図画工作、美術を通じてつくりだす喜びを味わうことができる授業づくりについて理解する。 (2) 児童生徒が主体的に参加する図画工作、美術の活動について理解する。							
内容	講義	特別支援教育の視点を取り入れた図画工作、美術指導						
	演習・協議	図画工作、美術ワークショップ 特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり ・全ての子どもが参加できる図画工作、美術の授業づくり						
	講師	神戸芸術工科大学 特任教授 大槻 和浩						
備考	【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

講座番号 ⅢG1410		対象						
ユニバーサルデザインの視点を生かした集団づくり講座 —一人一人の良さを生かした指導・支援—		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日程 [1 日]				会場				
a 令和6年8月16日(金)				県立総合教育センター				
b 令和6年10月18日(金)				県立総合教育センター				
c 令和7年1月17日(金)				県立総合教育センター				
重点指標	10 インクルーシブ教育システムの理念を理解し、全ての児童生徒等に分かりやすいユニバーサルな授業づくりや互いに認め支え合う集団づくりができる。							
	11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。							
	26 学校教育目標の実現に向け、学級経営案やホームルーム計画の立案・実行・改善ができ、児童生徒が安心して過ごせる学級づくりに取り組むことができる。							
ねらい	(1) 全ての子どもが過ごしやすい集団づくりについて理解する。 (2) 個に応じた支援と、集団への適切な指導・支援について理解する。							
内容	講義	ユニバーサルデザインの視点を生かした集団づくり ・一人一人の児童生徒が安心して学ぶことができる場づくり ・障害のある児童生徒の理解と適切な指導・支援						
	演習・協議	特別な支援を必要とする児童生徒への配慮 ・個に応じた指導と集団への指導						
	講師	桃山学院教育大学 教授 松久 眞実						
備考	○ a、b、cは同じ内容ですので、いずれか一つを選んで受講してください。 【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

講座番号 ⅢG1411 感覚統合の視点を取り入れた指導・支援講座 一気になる子どもへの身体面からのアプローチ		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日程 [1 日]				会場				
令和6年9月24日(火)				県立総合教育センター				
重点指標	10 インクルーシブ教育システムの理念を理解し、全ての児童生徒等に分かりやすいユニバーサルな授業づくりや互いに認め支え合う集団づくりができる。 11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。							
ねらい	(1) 発達に課題のある幼児児童生徒の不器用さやその背景について理解する。 (2) DCD（発達性協調運動障害）に関する基礎的な知識を習得し、具体的な指導・支援について理解する。							
内容	講義	発達に課題のある幼児児童生徒への感覚統合の視点からのアプローチ ・感覚統合の視点を取り入れた適切で効果的な指導・支援 ・感覚運動遊びや身体模倣などから見る子どもの発達や感情のセルフコントロール						
	講義・演習	感覚統合の視点による行動分析と支援 ・子どもの気になる行動を感覚統合の視点で考える						
	講師	姫路大学 教授 小河 晶子						
備考	【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

講座番号 ⅢG1412 発達の段階に応じた性の課題に関する指導・支援講座 一学校における性教育として求められること一		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日程 [1 日]				会場				
令和6年10月23日(水)				県立総合教育センター				
重点指標	11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 23 自他の生命を尊重し、多様性を認め、様々な人権課題を解決しようとする実践的な行動力を育成することができる。 35 課題解決に向け、校内の共通理解を図り、家庭・地域・関係機関等と連携して取り組むことができる。							
ねらい	(1) 障害のある児童生徒の発達の段階に応じた適切な性教育について理解する。 (2) 性の課題を含めた問題行動に対する適切な指導・支援について理解する。							
内容	講義	障害のある児童生徒の生活を豊かにする性教育 ・障害のある子どもの心と身体の学習 ・障害のある子どもの発達段階に応じた性教育						
	演習・協議	性教育と性の課題に関する取組 ・自校の実践について						
	講師	日本福祉大学 教授 伊藤 修毅						
備考	○ 実践レポートを提出してください。様式等詳細は「教職員研修管理システム」にて連絡します。 【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

講座番号 III G1413		発達障害のある子どもの就労支援講座 －自立と社会参加に向けた指導・支援－						
		対象						
		幼	小	中	高	特	職種	教科
		○	○	○	○	○	教職員	—
日 程 [1 日]				会 場				
令和6年8月22日(木)				県立総合教育センター				
重点指標	10 インクルーシブ教育システムの理念を理解し、全ての児童生徒等に分かりやすいユニバーサルな授業づくりや互いに認め支え合う集団づくりができる。							
	28 社会的・職業的自立の基盤となる能力や態度の育成等を通して、児童生徒のキャリア発達を促すことができる。							
	35 課題解決に向け、校内の共通理解を図り、家庭・地域・関係機関等と連携して取り組むことができる。							
ねらい	(1) 発達障害のある子どもの就労に向けた現状と課題について理解する。 (2) 自立と社会参加を見据え、幼児児童生徒のライフサイクルを見通した系統的な支援について理解する。							
内 容	講 義	発達障害のある子どもの自立と社会参加に向けた指導・支援 ・発達障害のある子どもの就労に関する現状と課題 ・発達障害のある子どもの自立と社会参加に向けた指導・支援						
	演習・協議	社会的・職業的自立に向けた学校段階での取組の充実に向けて －就労に際して求められる能力と、自立活動の内容の接点から考える－						
	講 師	国立特別支援教育総合研究所発達障害教育推進センター 主任研究員 榎本 容子						
備 考	【問合せ】 特別支援教育研修課 0795-42-3449							

eラーニングを活用した研修は、教職員が職場等のPCから、インターネットを利用して受講する研修です。

集合研修の事前研修として実施する場合と、**動画視聴（VOD）による研修**として実施する場合の2種類があります。

eラーニングサイトのログインID、パスワードは「教職員研修管理システム」のマイページで確認できます。

県立総合教育センターのWebサイトからeラーニングサイトにアクセスし、IDとパスワードを入力してログインしてください。

ログイン後、該当する講座を選択してください。受講可能期間が限られていますので注意してください。

1 集合研修の事前研修

次の講座では、eラーニングを活用した事前研修を実施します。教材は原則として講座実施日の3週間前に掲載しますので、**講座実施日の1週間前までに受講してください。**

ⅡF1301 県立学校情報担当者養成講座	ⅢF1305 Google Workspace基礎講座
ⅢC1213 (高)情報科教育講座A	ⅢF1306 Google Workspace実践講座
ⅢC1214 (高)情報科教育講座B	ⅢF1307 Office365基礎講座
ⅢC1215 (高)情報科教育講座C	ⅢF1308 Office365実践講座
ⅢC1216 (高)情報科教育講座D	ⅢF1310 先端技術体験講座
ⅢF1301 情報モラル教育講座	ⅢF1311 先端技術活用講座(3Dプリンタ)
ⅢF1302 教員のためのICT基礎講座	ⅢF1312 先端技術活用講座(ドローン)
ⅢF1303 (小)タブレット端末基礎講座	ⅢF1313 先端技術活用講座(VR・Google)
ⅢF1304 (中高)タブレット端末基礎講座	ⅢF1314 先端技術活用講座(生成AI)

2 動画視聴（VOD）による研修

次の講座は、動画視聴（VOD）による研修として実施します。

視聴期間（2週間）をしおりの該当ページや実施要項で確認してください。受講期間内に視聴し課題レポートや振り返りシートを作成し、管理職決裁の上、提出してください。

※課題レポートの記述内容によっては、研修の修了を認定されない場合があります。

ⅢD1503 いじめ問題への対応講座C（VOD研修）
ⅢF1309 表計算ソフト活用講座（VOD研修）

使用方法がわからない場合は、企画調査課まで問い合わせてください。

問合せ先

県立総合教育センター 企画調査課

TEL 0795-42-3101

1 受講申込期間

- (1) 担当者等研修受講申込期間 令和6年4月16日(火) ～ 講座実施日の14日前
(ただし、新任特別支援学級担当者研修は、4月16日(火)～4月26日(金))

- (2) 選択研修受講申込期間 令和6年5月7日(火) ～ 講座実施日の14日前

※募集期間であっても、募集定員に達した場合は、申込みができません。

※募集状況については教職員研修管理システムで確認してください。

2 受講手続きの流れ

詳しい操作については、教職員研修管理システムのマニュアルを参照してください。

0 初回ログイン

- ① 県立総合教育センターWebサイトの教職員研修管理システムのバナーをクリックしてください。
- ② ログインIDと初期パスワードを入力し、本人確認後、パスワードを変更してください。
※年度当初はパスワードが初期化されています。変更の際、パスワードを控えておいてください。
- ③ 個人の年度更新に関する情報を入力してください。

1 ログイン

- ログインIDとパスワードを入力してください。

2 受講申込

- ① 自分のニーズに合った講座を検索等の機能を使って見付けます。
- ② 実施要項を読み、受講研修講座を管理職と相談し、許可が下りればシステムで申し込んでください。
※「申込」ボタンを選択し、「実行する」ボタンを押してください。
- ③ 申し込んだ旨を、必ず管理職に報告してください。
※報告をすることで、管理職の承認がよりスムーズになります。

3 管理職の承認

- ① 管理職は、管理職権限のIDとパスワードでログインしてください。
- ② マイメニューの「申込状況を確認(集計数)」で、申出のあった教職員の申請を承認してください。

4 申込状況の確認

- ① 画面上部に表示されているマイメニューの「申込状況を確認」ボタンから確認できます。
- ② ステータスが「受講確定」になっていれば申込みは完了です。
※受講確定は申込みがあった日から、2～3週間を目処に行います。
※上記期間を過ぎても受講確定にならない場合は、管理職を通じて研修担当課に問い合わせてください。

5 講座受講

- マイメニューの「二次元コードを表示」ボタンから、二次元コードを表示させて受付を行います。
※自分の端末で画面表示させるかあらかじめ印刷したものを提示してください。
※eラーニング用の受講IDとパスワードも、この画面に表示されています。該当講座を受講する場合に使用してください。

6 欠席、遅刻、早退する場合

- 管理職は、研修担当課に電話連絡をした上で、システムに欠席理由等を入力します。
※急な欠席等でも、管理職から研修担当課に連絡をしてもらってください。

7 修了認定の確認

- 研修講座受講後、修了状況の確認ができます。
※修了認定は、実施日(複数回実施する講座は最終の実施日)から3～4ヶ月後を目処に行います。
※年次研修の修了認定は、年度末に行います。

1 選択研修の修了認定について

- ・ 集合研修については、受講時間が修了基準を満たしていない場合、修了不認定となります。
- ・ オンライン研修については、課題レポートの記述内容によっては、修了不認定となります。
- ・ 修了認定状況は、「教職員研修管理システム」マイメニューの〈研修履歴を確認〉で御確認ください。

2 私有自動車による来所

- ・ 交通法規を遵守し安全運転を心がけてください。
- ・ 受講者は必ず西通用門から出入りしてください。
- ・ 県立総合教育センター周辺は児童生徒の通学路となっています。入所時、退所時は特に注意して運転してください。
- ・ 会場が県立総合教育センター以外の場合は、私有自動車の駐車が困難な場合があります。実施要項等をよく読み、記載内容に従ってください。

3 欠席・遅刻・早退の手続き

- ・ 担当者等研修・選択研修を欠席・遅刻・早退する場合は、管理職から（市町組合立学校は市町組合教育委員会を通じて）講座担当課に電話連絡の上、「教職員研修管理システム」により欠席、遅刻、早退及びその理由を入力してください。
- ・ 年次研修を欠席・遅刻・早退する場合の手続きについては、講座担当課から別途通知します。
- ・ 欠席、早退等の手続において、急な変更により食事等の変更の対応ができない場合については、食費など当初の予定どおりの負担をお願いすることになりますので、御了承願います。

4 その他

（1）携行品等

- ・ 研修に必要な資料等は実施要項でお知らせします。「教職員研修管理システム」で確認してください。

※県立総合教育センターでは省資源、省エネルギーを推進しています。季節や体調に合わせて調整ができる服装で参加してください。

（2）食事

- ・ 昼食は必ず所内の食堂を利用してください。食事代金660円を受付時に徴収します。
- ・ 特別な事情（食事療法等）で食事に配慮が必要な場合は、実施要項に従って講座担当課まで申し出てください。前日及び研修当日の変更には対応できませんので御了承願います。
- ・ 会場が県立総合教育センター以外の場合は、各自で用意してください。

10 特別警報発表等非常時の対応について

- 研修実施日の午前6時に、特別警報（大雨、暴風、暴風雪、大雪等）や特別警報に位置付けられる津波警報等が、兵庫県内に発表されている場合は研修を中止します。
※特別警報および特別警報に位置付ける警報等については、気象庁の特別警報に関するWebサイトを御覧ください。
- 研修実施日の午前6時に、警報（大雨、洪水、暴風、津波、大雪等）が研修会場所在地又は在勤地に発表されている場合の受講については、所属長の指示に従ってください。
- その他、感染症（インフルエンザ等）の流行や公共交通機関の計画運休等、非常事態が発生したときも、所属長の指示に従ってください。
- 所属長の指示により、受講を取り止めることとなった場合、講座担当課に連絡するとともに欠席等の手続きを行ってください。

11 サポート研修

1 サポート研修の内容

校内研修や市町組合教育委員会等の研修を支援するため、県立総合教育センター職員が研修会場に出向いて、研修を行います。

講座番号 IVD01 カリキュラム・マネジメント研修		申込可能組織		対象校種			
		教委・研究会	学校	小	中	高	特
		○	○	○	○	○	○
関連指標	17 学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。 21 児童生徒や地域の実態に応じた教材を開発するなど、効果的な教科カリキュラムを編成することができる。 36 学校教育目標の達成に向け、主体的、積極的に学校運営に参画することができる。						
内容	教育活動の充実に向けたカリキュラム・マネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム・マネジメントの意義や考え方 ・育成をめざす資質・能力に基づく教育活動の在り方 ・全ての教職員が関わるPDCAサイクル 等 						
問合せ	義務教育研修課		0795-42-3102				
	高校教育研修課		0795-42-3103				

講座番号 IVD02 (小中)授業力向上研修		申込可能組織		対象校種			
		教委・研究会	学校	小	中	高	特
		○	○	○	○		○
関連指標	14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。 20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。 22 全国学力・学習状況調査結果等自校の課題を分析し、組織的・体系的な学力向上の取組ができる。						
内容	確かな学力を育む授業づくりに向けて <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり ・学習評価の充実 ・学校全体で取り組む授業改善 —全国学力・学習状況調査を活用等を通して— ・授業におけるICTの効果的な活用 等 						
問合せ	義務教育研修課		0795-42-3102				

講座番号 IVD03 (高)授業力向上研修		申込可能組織		対象校種			
		教委・研究会	学校	小	中	高	特
		○	○			○	○
関連指標	14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 19 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。 20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。						
内容	授業力の向上をめざして <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり ・教科の特質に応じた授業改善の工夫 ・学習評価の充実 ・授業におけるICTの効果的な活用 等 						
問合せ	高校教育研修課		0795-42-3103				

講座番号 IVD04 （小中）「特別の教科 道徳」授業力向上研修		申込可能組織		対象校種			
		教委・研究会	学校	小	中	高	特
		○	○	○	○	○	○
関連指標	8 教科書及び「兵庫版道徳教育副読本」等を用いて、他者や自己との「対話」により、自己の生き方や人間としての生き方についてさらに考えを深める道徳の授業を实践できる。【小・中】 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。 20 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。						
内容	考える楽しさを創る授業づくり ・ 対話的で深い学びをめざす「特別の教科 道徳」の授業づくり ・ 「特別の教科 道徳」における評価の在り方 等						
問合せ	義務教育研修課 0795-42-3102						

講座番号 IVD05 キャリア教育推進研修		申込可能組織		対象校種			
		教委・研究会	学校	小	中	高	特
		○	○	○	○	○	○
関連指標	6 幼小中高大の新たな接続・連携に伴う変化に対応し、さらなる充実をめざした取組を行うことができる。 28 社会的・職業的自立の基盤となる能力や態度の育成等を通して、児童生徒のキャリア発達を促すことができる。 29 児童生徒が自らのよさや可能性を認識し、多様な他者と協働する力を身に付けられるよう指導することができる。						
内容	体系的・系統的なキャリア教育の推進 ・ キャリア教育の意義 ・ 特別活動を要としたキャリア教育の展開 ・ 兵庫版「キャリア・パスポート」でつなぐキャリア教育 等						
問合せ	義務教育研修課 0795-42-3102 高校教育研修課 0795-42-3103						

講座番号 IVD06 情報モラル研修		申込可能組織		対象校種			
		教委・研究会	学校	小	中	高	特
		○	○	○	○	○	○
関連指標	13 Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。 25 いじめ、不登校等の教育課題の緊急性や重要性を理解し、他の教職員や関係機関と連携しながらその予防・解決に取り組むことができる。						
内容	生徒指導のための情報モラル ・ 子どもたちが利用するインターネットの世界 ・ 問題発生時の対応 等 情報モラルの育成と指導方法 ・ 学校における著作権 ・ 情報モラル指導用コンテンツ（ひょうごGIGAワークブック）の活用 等						
問合せ	情報教育研修課 0795-42-3104						

講座番号 IVD07 情報セキュリティ研修		申込可能組織		対象校種			
		教委・研究会	学校	小	中	高	特
		○	○	○	○	○	○
関連指標	15 各校の情報セキュリティ実施手順等に基づき、校内の情報を適切に管理し、取り扱うことができる。 39 学校の危機管理マニュアルを理解し、事件や事故、トラブルに適切に対応することができる。						
内容	学校における情報セキュリティ対策 ・ 情報セキュリティの現状 ・ 情報セキュリティ対策のポイント ・ 問題発生時の対応 ・ 学校における情報セキュリティ実施手順 ・ 情報発信（Web・SMS等）における著作権 等						
問合せ	情報教育研修課 0795-42-3104						

講座番号 IVD08 ICT活用研修		申込可能組織		対象校種			
		教委・研究会	学校	小	中	高	特
		○	○	○	○	○	○
関連指標	13 Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。 14 授業や校務の様々な場面で、効果的にICTを活用することができる。						
内容	ICT機器の効果的な活用 ・ タブレット端末、電子黒板等の活用方法 ・ 教材作成や校務のためのアプリケーションソフトの活用方法 ・ Web会議システムや動画を用いた授業づくり ・ 先端技術（3Dプリンタ、ドローン、VRゴーグル、生成AI）を活用した授業 等						
問合せ	情報教育研修課 0795-42-3104						

講座番号 IVD09 プログラミング教育研修		申込可能組織		対象校種			
		教委・研究会	学校	小	中	高	特
		○	○	○	○	○	○
関連指標	13 Society5.0時代を生きていく児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための指導を行うことができる。 18 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。						
内容	小学校におけるプログラミング教育 ・ プログラミング的思考を育む授業づくり ・ 各種プログラミングツールの活用 等 中学校技術・家庭科（技術分野）におけるプログラミング教育 ・ 「プログラムによる計測・制御」の授業づくり ・ 「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツ」の授業づくり 等 高等学校におけるプログラミング教育 ・ 「情報Ⅰ（代替科目含む）」の授業で行うアルゴリズムの表現 ・ 「情報Ⅰ（代替科目含む）」の授業で行うモデル化とシミュレーション 等						
問合せ	情報教育研修課 0795-42-3104						

講座番号 IVD10 特別支援教育理解推進研修		申込可能組織		対象校種			
		教委・研究会	学校	小	中	高	特
		○	○	○	○	○	○
関連指標	10 インクルーシブ教育システムの理念を理解し、全ての児童生徒等に分かりやすいユニバーサルな授業づくりや互いに認め支え合う集団づくりができる。 11 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒等の特性等を理解し、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。 12 保護者や関係機関と連携を図りながら、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、児童生徒等の教育的ニーズに応じた指導・支援を行うことができる。						
内容	特別支援教育の充実をめざして ・ 一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実 ・ ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善 ・ 特別支援学級における連続的な学びのための縦横連携の在り方 ・ 支援を必要とする生徒に対する合理的配慮について ・ 個に応じた教育課程の編成と自立活動の指導 等						
問合せ	特別支援教育研修課 0795-42-3449						

講座番号 IVD11 自殺予防に生かせる教育研修		申込可能組織		対象校種			
		教委・研究会	学校	小	中	高	特
		○	○	○	○	○	○
関連指標	23 自他の生命を尊重し、多様性を認め、様々な人権課題を解決しようとする実践的な行動力を育成することができる。 25 いじめ、不登校等の教育課題の緊急性や重要性を理解し、他の教職員や関係機関と連携しながらその予防・解決に取り組むことができる。						
内容	児童生徒に対する自殺予防教育の意義と必要性 ・ 「自殺予防に生かせる教育プログラム」のねらいと活用方法 悩みを抱えた児童生徒への支援の在り方 ・ 悩みを抱えた児童生徒への寄り添い ・ カウンセリングマインドを生かした教育相談 等						
問合せ	心の教育推進課 0795-42-6556						

講座番号 IVD12 いじめ未然防止に向けた教育研修		申込可能組織		対象校種			
		教委・研究会	学校	小	中	高	特
		○	○	○	○	○	○
関連指標	25 いじめ、不登校等の教育課題の緊急性や重要性を理解し、他の教職員や関係機関と連携しながらその予防・解決に取り組むことができる。 26 学校教育目標の実現に向け、学級経営案やホームルーム計画の立案・実行・改善ができ、児童生徒が安心して過ごせる学級づくりに取り組むことができる。						
内容	いじめ問題への対応の在り方 ・ 「いじめ未然防止プログラム」のねらいと活用方法 児童生徒理解と仲間づくり ・ グループワーク等による仲間づくり ・ カウンセリングマインドを生かした教育相談 等						
問合せ	心の教育推進課 0795-42-6556						

講座番号 IVD13 CoCoLo-34・Jを活用した学級づくり研修		申込可能組織		対象校種			
		教委・研究会	学校	小	中	高	特
		○	○	○	○	○	○
関連指標	25 いじめ、不登校等の教育課題の緊急性や重要性を理解し、他の教職員や関係機関と連携しながらその予防・解決に取り組むことができる。 26 学校教育目標の実現に向け、学級経営案やホームルーム計画の立案・実行・改善ができ、児童生徒が安心して過ごせる学級づくりに取り組むことができる。						
内容	互いを認め合える集団づくりのための指導の在り方 ・ 生徒指導上の諸課題への理解 ・ CoCoLo-34 (CoCoLo-J) を生かした自校での取組 ・ 学級運営に関わる校内の共通理解 等 ※本研修は事前に「CoCoLo-34」または「CoCoLo-J」の実施が必要となります。						
問合せ	心の教育推進課 0795-42-6556						

2 サポート研修の申込方法等

(1) 申込みのできる機関

- ① 市町組合立学校、県立学校、教科研究会等の教育研究団体
- ② 市町組合教育委員会、市町教育センター等の教育機関

(2) 申込方法

①	研修実施予定の1か月前までに、県立総合教育センター 研修担当課に電話をし、日程、場所、内容について打ち合わせてください。
---	--

②	<p>・ 日程、場所、内容が決まったら、企画調査課に「サポート研修依頼書」（89ページ様式1）を電子メールにて提出してください。</p> <p>a 市町組合立学校（市立高等学校定時制を除く） 所属長 → 市町組合教育委員会 → 県立総合教育センター <small>※電子メールのCCに教育事務所を入れて送付する。</small></p> <p>b 市町組合教育委員会、教育センター等 所属長 → 県立総合教育センター <small>※電子メールのCCに教育事務所を入れて送付する。</small></p> <p>c 県立学校（市立高等学校定時制を含む） 所属長 → 県立総合教育センター</p> <p>※様式は県立総合教育センターのWebサイトからダウンロードしてください。 ※教科研究会等の教育研究団体の依頼書の提出については、打合せ時にお問い合わせください。 ※教育研究団体の長が校長でない場合は、団体代表者の所属長を通じて申し込んでください。</p>
---	---

(3) 留意点

- ① 県立総合教育センター職員の出張旅費は、当総合教育センターで負担します。
- ② サポート研修に参加する受講者の旅費及び研修に関する経費は、申込機関の負担となります。
- ③ サポート研修を実施する日程は、原則として令和6年5月中旬～令和7年2月末日まで（土日休日等を除く）です。
- ④ 日程や内容によっては、希望に添えないことがあります。（初めて申し込む機関が優先されます。）
- ⑤ サポート研修の実施は申込機関ごとに原則1講座につき1回です。
- ⑥ 終了後1か月以内に、「サポート研修報告書」（89ページ様式2）を県立総合教育センターへ電子メールにて提出してください。

問 合 せ 先	県立総合教育センター 企画調査課
	TEL 0795-42-3101
	e-mail k-support@hyogo-c.ed.jp
様式ダウンロード先	https://www.hyogo-c.ed.jp/~kenshu/

1 自由研修

教職員（選択研修の受講対象でない教職員）、社会教育関係機関の職員等は、教育課題を解決するために、選択研修を受講できます。

- (1) 申込手続
- ・希望される方は、研修内容を事前に電話等で企画調査課まで問い合わせてください。
 - ・選択研修実施日の14日前までに自由研修依頼書（様式3）を、メールで提出してください。
- ※受付開始時期については、改めて通知します。
 ※施設等の条件により、希望に添えないことがあります。

(2) 欠席等の手続

欠席又は日時を変更する場合、代表者は講座担当課に連絡してください。

義務教育研修課	0795-42-3102
高校教育研修課	0795-42-3103
情報教育研修課	0795-42-3104
特別支援教育研修課	0795-42-3449
心の教育推進課	0795-42-6556

2 マイプラン研修

教職員、社会教育関係機関の職員等は、個人または学校等の教育課題に関する研修・研究を行う会場として県立総合教育センターを利用することができます。指導主事からの指導助言を希望される場合は御相談ください。

- (1) 申込手続
- ・事前に電話等で企画調査課と日程等の調整を行ってください。
 - ・実施日の14日前までにマイプラン研修依頼書（様式4）を、メールで提出してください。

(2) 中止等の手続

中止または日時を変更する場合、代表者は企画調査課に連絡してください。

企画調査課	0795-42-3101
-------	--------------

県立総合教育センター長 様

機関名

機関代表者

職・名前

サポート研修 依頼書

下記のとおり、サポート研修の実施を依頼します。

研修番号	サポート研修名	時 分 ～ 時 分
重点指標番号 <small>※関連指標のうち、重点的に 学びたいものを記入</small>		
開催研修名		
研修希望日時	令和 年 月 日 ()	時 分 ～ 時 分
研修会場	郵便番号	
	住所	
	会場(学校)名	TEL FAX
受講予定数	管理職	教諭
	義護教諭	栄養教諭
	臨時講師	その他
研修内容(講座担当者と事前に相談してください)		
担当者連絡先	名前	TEL
	所属	FAX
	メール	
備考		

・県立学校は、依頼書を電子メールにて県立総合教育センター企画調査課宛てに直接送付してください。

・市町組合立小・中学校は、87ページを参照してください。

提出先アドレス k-support@hyogo-c.ed.jp

県立総合教育センター長 様

機関名

機関代表者

職・名前

サポート研修 報告書

下記のとおり、報告します。

研修番号	サポート研修名	時 分 ～ 時 分
重点指標番号		
開催研修名		
研修日時	令和 年 月 日 ()	時 分 ～ 時 分
研修会場	郵便番号	
	住所	
	会場(学校)名	TEL FAX
受講者数	管理職	教諭
	義護教諭	栄養教諭
	臨時講師	その他
県立総合教育センター担当者 職・名前		
研修内容の重点指標と関連付けて、評価(成果)を記入してください。		
担当者連絡先	名前	TEL
	所属	FAX
	メール	
備考		

・報告書は、電子メールにて県立総合教育センター企画調査課宛てに直接送付してください。

・研修終了後、1か月以内に提出してください。

提出先アドレス k-support@hyogo-c.ed.jp

県立総合教育センター長 様

機 関 名
機関代表者
職・名前

自由研修依頼書

下記のとおり、貴所において自由研修の実施を依頼します。

記

講座名等			
研修希望日時	令和 年 月 日 ()	時 分 ~	時 分
連絡先住所	郵便番号 (-)	TEL	
		FAX	
研修主催団体名			
受講者(連絡担当者)に○印を付けてください			
職名	名前	職名	名前

・依頼書は下記の経路で提出してください。

代表者 → 県立総合教育センター企画調査課

【提出先アドレス】

k-support@hyogo-c.ed.jp

県立総合教育センター長 様

機 関 名
機関代表者
職・名前

マイプラン研修依頼書

下記のとおり、貴所においてマイプラン研修の実施を依頼します。

記

テーマ等			
研修希望日時	令和 年 月 日 ()	時 分 ~	時 分
連絡先住所	郵便番号 (-)	TEL	
		FAX	
研修主催団体名			
受講者(連絡担当者)に○印を付けてください			
職名	名前	職名	名前

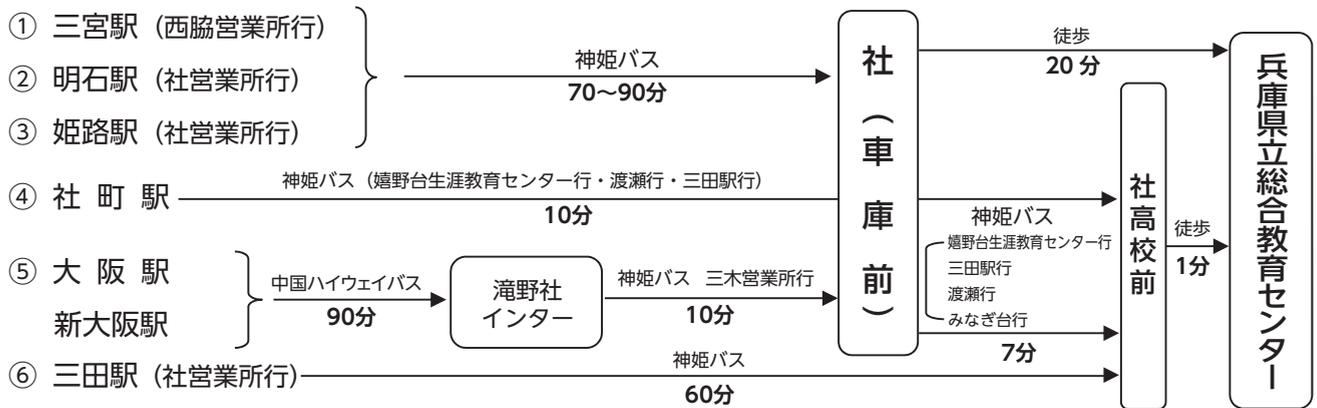
・依頼書は下記の経路で提出してください。

代表者 → 県立総合教育センター企画調査課

【提出先アドレス】

k-support@hyogo-c.ed.jp

主な交通機関



兵庫県立総合教育センター

<https://www.hyogo-c.ed.jp/~kenshu/>

〒673-1421 加東市山国 2006 番地の 107

TEL(0795)42-3100(代) FAX(0795)42-5393